

府営住宅向日台団地住戸改善工事（5号棟）

建築工事

A1/51	特記仕様書1
A2/51	” 2
A3/51	仮設解体特記
A4/51	配置図
A5/51	改善工事概要書1
A6/51	” 2
A7/51	配置図、付近見取図
A8/51	仕上表、面積表
A9/51	概要書
A10/51	面積表
A11/51	平面図
A12/51	立面図
A13/51	屋根伏図、断面図
A14/51	矩計図1
A15/51	” 2
A16/51	平面詳細図（改修後2戸1改善部）
A17/51	” （改善前）
A18/51	” （撤去図）
A19/51	コンクリート撤去図、ブロック割図
A20/51	展開図（2戸1改善部）NO.1
A21/51	” （ ” ）NO.2
A22/51	建具表（2戸1改善部）
A23/51	伏図、詳細図
A24/51	平面詳細図（増築改善部）
A25/51	展開図（増築改善部）
A26/51	防水図

A27/51	木工事断面詳細図
A28/51	雜詳細図1
A29/51	” 2
A30/51	建具伏図及リスト、各伏図（増築部）
A31/51	既存改修図、建具リスト他
A32/51	杭基礎伏図、基礎梁リスト
A33/51	基礎・壁板組立図
A34/51	床板・屋根板組立図
A35/51	壁板配筋図1
A36/51	” 2
A37/51	” 3
A38/51	床板配筋図1
A39/51	” 2
A40/51	屋根板配筋図1
A41/51	” 2
A42/51	各部詳細納まり図1
A43/51	” 2
A44/51	” 3
A45/51	” 4
A46/51	” 5
A47/51	” 6
A48/51	” 7
A49/51	” 8
A50/51	” 9
A51/51	” 10

電気設備工事

E1/24	特記仕様書
E2/24	配置図、付近見取図
E3/24	凡例、住戸盤結線図
E4/24	1～4F平面詳細図
E5/24	5F ”
E6/24	1～4F住戸平面図
E7/24	5F ”
E8/24	撤去図（1～5F住戸平面）
E9/24	住戸詳細図
E10/24	平面図、系統図
E11/24	盤結線図
E12/24	1F平面図
E13/24	2～5F平面図
E14/24	電気設備工事系統図
E15/24	テレビ共聴設備工事系統図
E16/24	1F平面図
E17/24	2～5F平面図
E18/24	R階平面図
E19/24	撤去図（系統図）
E20/24	” （1F）
E21/24	” （2～4F）
E22/24	” （5F）
E23/24	住戸用自火報
E24/24	”

給排水衛生設備工事

W1/13	特記仕様書（1）
W2/13	” （2）
W3/13	配置図、付近見取図
W4/13	系統図（改修図）
W5/13	1階平面図（改修図）
W6/13	2～5階平面図（改修図）
W7/13	基準階住戸平面詳細図（改修図）
W8/13	1階住戸平面詳細図（改修図）
W9/13	増築改善平面図、給排水
W10/13	” ” ガス
W11/13	系統図（現状及び撤去図）
W12/13	1～5階平面図（現状及び撤去図）
W13/13	基準階住戸平面詳細図（現状及び撤去図）

1 事前調査と準備工事

- イ 改善工事をする建物について建築物の調査及び建築物の内容、設備等を確認すること。
- ロ 改善工事をする建物の周辺の埋設配管類(ガス水道、排水管、電話管等)及び架空線等を確認すること。
- 提出文書 (1) 電気絶縁抵抗測定表(動力、幹線等) (9) 既設埋設の表層土、圧着土の厚さ等の調査表
 (2) TV端子電界強度測定表(45ヶ所) (10) 既設埋設の調査表
 (3) 足洗場排水つまり調査書(2ヶ所)
 (4) 汚水管、排水管つまり調査書
 (5) 自転車置場、物置等スレート破損ヶ所調査書
 (6) 各住戸境バルコニー隔板破損ヶ所調査書(15ヶ所)
 (7) 防火扉、ボンス空扉等の調査書
 (8) 階段室空破損ヶ所調査書(16ヶ所)
- ハ 隣官庁等への届出 及び 連絡調整等の対策を講ずること。
- (1) 交通に関する事 ———— 向日町警察署
 (2) 火災予防に関する事 ———— 向日市消防署
 (3) 地下埋設、地上(架空)施設に関する事 ———— 大阪ガス、西濃ガス、関西電力、向日林業局
 (4) 附近住民の同意に関する事 ———— 向日台団地連合自治会

2 仮囲い工事

- イ 仮 囲 い 工事現場周囲に(方-鉄板H=1.8m、パイプ軸組)を設置し歩行者の安全を計ること(図面No.4参照)。
植樹の根は認められ、工事終了後すみやかに現状復旧のこと。
- ロ 門 出入口はシートにて完全にふさぐこと。(特に下側すき間のない様に)。
非扉口1ヶ所設けること(1.0x1.0)。
- ハ 作業足場 2号棟改善建物周囲に足場(鋼製杆組本足場 H=14m)を設置し全面に防護シートを張ること。
(図面No.4参照)
- ニ 現場警務所。工事現場内に設置すること。

- ・ 屋外用トイレ(くみ取式)、手洗用水栓を設置すること。
- ・ カート本入口に汚水本管保護の為、入鉄板養生をすること。
- ホ 工事用車輛 団地内道路の通行に当っては向日町警察署の許可が必要であり、その工事用車輛は通行許可書をとること。
- (1) 工事用車輛通行経路 ———— (図面No.4参照)
- (2) 工事用車輛駐車場 ———— 工事現場内 に駐車すること、他への駐停車は一切禁止。
- (3) 看板配置位置 ———— 工事現場進入方向(2ヶ所)、団地内徐行運転(2ヶ所)、動力呼び出し(1ヶ所)、工事名称(1ヶ所)、計6枚の看板を設置すること(図面No.4参照)
- (4) 交通整理員配置計画 ———— (図面No.4参照)

- △ 車行通行 工事用車輛は道路を走行、並走車は通行を遵守し、速度制限、道幅狭化、法令違反の無い事、又 徐行、一旦停止等守ること。
工事中の道路その他の破損、汚損は、たむらひに現状復旧すること。

- ハ 其 他 (1) 夜間安全灯を設置すること(図面No.4参照)
ケイ光灯(5ヶ所)を仮囲い内外に向けて設置すること。
(2) 2号棟の住棟入居者が残した品物及び残材は自転車置場に展示保管すること。
(3) 前側芝生他、樹木が傷んだ場合復旧すること。

3 撤去作業

- イ 内部製作、設備機器、金属建具等は、前もって撤去処分して、コンクリートと混ぜないこと。又 持ち出しはシートによる事とし、投げ捨ては禁止する。

- ロ 機械作無騒音等防止、所以外で騒音のない工法、方法をとること。

4 作業時間

- 騒音に伴う作業時間 午前8時から午後5時とする。休日は作業禁止。厳守

5 交通整理 清掃等

- イ カードマン(1名)を常駐し、出入口を合内団地内外道路の交通整理等すること。(図面No.4参照)
- ロ カラ搬入、枝材搬入時にはカードマンを増員配置すること。
- ハ 道路上の砂塵防止をすること共に、工事現場周囲の団地道路の散水、清掃を毎日実施すること。
- ニ 警備、清掃等については、常に歩行者の安全確保と近隣住民の安全を計り苦情の少ないよう工事を行なうこと。
- ホ 附近住民からの苦情等については、誠意をもって早急に解決すること。

6 解体工事に伴い発生する廃棄物の処理について

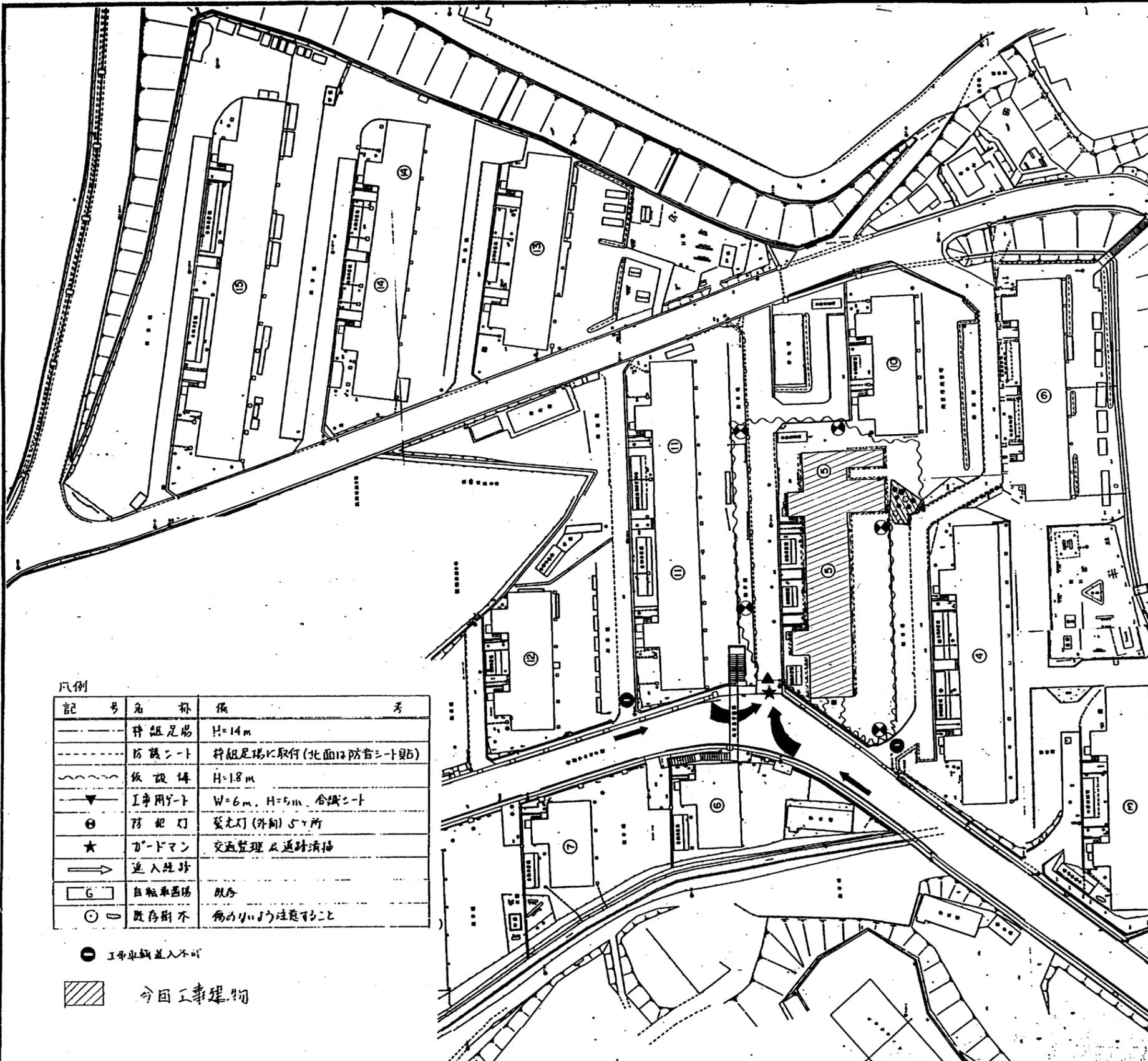
- 解体工事に伴い発生する産業廃棄物の処理については、廃棄物処理法関係に違反することのない様厳正に処理すること。又 廃棄物の処理計画書を提出すること。

7 其 他

- イ 共用用水栓の使用については、団地自治会 の許可を得ること。
- ロ 廊下灯等の共用用水栓の使用名義については、団地自治会 の指示に従うこと。
- ハ 建物廊下に取付けてある既設、消火器は保管のうえ完成後、原価を戻すこと。
- ニ 既設玄関ドア 撤去に当っては、錠を取りはずし、本来の扉の鍵がそろっていない錠を別途保管し引替すること。
- ホ 撤去する便所、浴室、押入等の扉のうち再利用可能なものは保管し、既設利用の扉は補充用に使用する。

公営住宅 27年度 設計図			
課長	主任	係長	調査
豊	隆	博	博

府営住宅 27年度設計図		号 棟 型			
団地名	向日台 5号棟	1F部			
工事区分	建築工事	種別			A3/51
図名	仮設解体特記	課長	主任	係長	調査
設計	京都市土木建築部住宅課	年月日			
トレス	年月日				



【工事現場における標識について】

① 工事名称標識板(大きさ任意)

工事名称(仮称)については、正式名称になった時抹消する。
 申請主 東京都
 施工 (業者名)

② 協力依頼標識板(大きさ900×1,800程度)

お願い
 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日 〇〇〇〇〇〇
 工事を施工致します。工事中は
 貴様に何かと御迷惑をお掛け
 することがあるかと存じますが
 ご了承と御力を頂ければ
 幸いです。何卒よろしくお願い
 致します。御礼申し上げます。

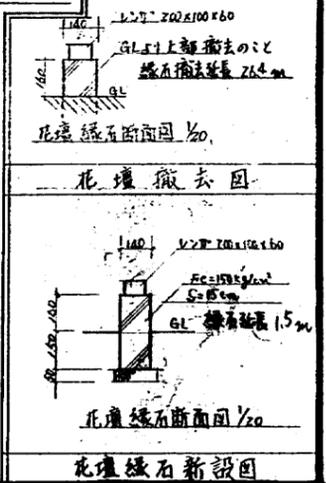
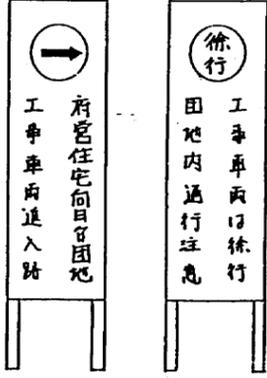
平成 年 月 日
 東京都
 (施工業者)

③ 府監督員現場事務所標識(大きさ400×600程度)

東京都土木建築部
 住宅環境部事務所

— 花壇撤去部分を示す。
 ○ — 植栽 φ150, H=6,000(撤去)
 ● — φ100, H=2,000()
 (その他植木の撤去のとき)

④ 工事現場進入方向及徘徊通行注意看板



凡例

記号	名称	備考
——	枠組足場	H=14m
----	防護シート	枠組足場に取付(北面は防音シート貼)
~~~~	仮設構	H=1.8m
▼	工事用ゲート	W=6m, H=5m, 合板シート
⊙	防犯灯	壁取灯(外側)5ヶ所
★	ガードマン	交通整理及通路清掃
→	進入経路	
□	自転車置場	既存
○	既存樹木	傷の無いよう注意すること

● 工事車両進入不可  
 ▨ 今回工事建物

府営住宅 2年度設計図		5号棟 型	
団地名	向日台5号棟	1/600	4/51
工事区分	建築工事		
図名	配置図		
設計	東京都土木建築部住宅課	課長	主幹
トレース			

建築概要

工事名称 府営住宅 向日台団地 住戸改善工事(5号棟)

工事場所 向日市向日町北山

既設建築物の概要 中層耐火構造(RC造)5階建 1棟 45戸 (ZP1改善及び増築改善)

工事概要 本工事は現在住居環境に照らし上記5号棟の各戸バランダー境仕切板を撤去し廊下E作りにして2戸(各2UK)と1戸(5K)に改善する改善工事であり住戸面積の拡大と併せて台所・浴室・洗面所等の設備向上し合える工事である。又増築改善(15戸分)も各戸のバランダー一部撤去しその部分を連続し、建築するものである。

工事範囲 (ZP1部分)

外部

- 北廊下
  - 壁・天井 アクリルシン吹付仕上(在来壁・新設壁・サッシュ入替部・洋タタミは剥離ヶ所部分のみは剥離は係員指示に従って下地補修の工、又吹付前にシーラーを4mm下地処理の工。)
  - 多摺 SOP仕上
- バランダー
  - 物干金物新設(各戸4ヶ所、アルミ製)
  - 手摺 既設手摺を切断してバランダー廊下に連続、鉄部は SOP仕上
  - 戸境 石膏板 SOP仕上
  - 天井・壁 アクリルシン吹付シーラーを4mm下地処理の工
  - クーラー配管用スリーブ、硬質塩ビ管(75φ)四面ツバ付キャップを(各戸2ヶ所)新設
  - 戸境パーティションの鉄部、の剥離、漆を錆びを補修の上 SOP塗り
  - 中継ドレーンの撤去に伴い、排水溝の勾配をモルタルにて変更
- 屋根
  - 屋上天蓋 錆落しの工 SOP仕上
  - 設橋屋上配管、TV機設、鉄部 SOP仕上
- 外部建具
  - 玄関銅製扉新設(周面コキック 10% x 10%)
  - 台所銅製扉新設(周面コキック 10% x 10%)
  - 水道メーターBOX扉銅製新設(周面コキック 10% x 10%)
  - 廊下側(北側)窓は BLアルミサッシュ新設(周面コキック 10% x 10%)、引違いアルミサッシュには可動細戸、その他は固定細戸装着、一部既設補修の上戸車を取替の工
  - バランダー側廊下窓は BLアルミサッシュ新設(周面コキック 10% x 10%)
  - バランダー側掃出し窓は既設のものを補修の上、戸車を取替
  - 浴室ステンレス製浴室窓新設(BL-K)(周面コキック 10% x 10%)
- 階段室
  - 壁 アクリルシン吹付(シーラーを4mm下地処理の工)
  - 天井 アクリルシン吹付(シーラーを4mm下地処理の工)
  - 手摺 SOP仕上、鋼製扉 SOP仕上
  - タストコナリ取替、各階シート口取替の工を元処理モルタル刮毛引
  - 設備配管のBOX類 SOP仕上
  - 郵便受 既設のものを取り替、10Fを7F階段に取替(残り)は配管の上に表示
- 種別扉
  - 壁種 既設のものを補修の上 SOP仕上
  - 住戸中央部壁種は新設 SOP仕上(ルーフドレン既設より連続の工)
- 屋外工事
  - 自転車置場 既設のものを撤去し補修

e. 雑工事・室名札 在来のものを撤去の上新設(各戸1ヶ所)

- 集合郵便受 在来のものを補修の上 SOP仕上(半数撤去処分)
- 連絡板 在来のものを撤去の上新設(1棟2ヶ所)
- 最上階換気パイプ 在来のものを補修
- バランダー、風呂、台所 etc パイプ撤去後モルタル埋め(防火対策上確実に施工の工)

内部

- 撤去工事
  - 既設水電メーターBOX(30ヶ所)、台所窓、玄関扉、換気扇シャッター(30ヶ所)を転空、浴室窓(半数)を4mm厚のコンクリート壁、両仕切、ブロック種、床組撤去
  - 既設設備配管類撤去(総編図による)
  - 浴室(半数)・便所(半数)の床アスファルト防水層撤去(下地モルタル)
  - 壁仕上モルタル撤去
  - 図示するパーティションはバランダー手摺切断部分撤去処分
  - 既設の珪スラスター塗撤去
  - 台所・和室の帖・和室側梁の珪スラスターを4mm厚下化粧木撤去(既設物置ドア、便所ドア、襖 etc 半数撤去のものは補修用に予備を残す工。)
  - 既設台所玄関の帖、各室の天井ボード撤去(下地野縁等)
- 玄関
  - 床 踏込部分は防水モルタルコテ埋工新設、踏込部分以外は床組新設、床下根柢(フローリング)を12%新設
  - 1階玄関踏込部分は土間スラス新設
  - 巾木 木製(杉) SOP塗新設
  - 壁 既設合板、モルタル塗撤去の上モルタル塗ビニルクロス貼、新設木軸部分はラワン合板を5%以上ビニルクロス貼、和室側梁型は珪スラスター、深化粧木撤去の上モルタル塗ビニルクロス貼、北面梁型はモルタル撤去の上モルタル塗ビニルクロス貼、物置・便所側 既設化粧合板撤去の上ラワン合板を5%以上ビニルクロス貼
  - 天井 既設ボード撤去の上天井下地新設の上化粧石膏ボードを9%貼(各階共)最上階は珪スラスターを5%貼
  - 上樑 新設 0.5 (松材)
  - 建具 フラッシュUP 新設
  - 廻縁 新設(杉) SOP 箱縁新設(杉) SOP
  - 下駄箱置場 新設
- 台所
  - 床 既設撤去の上床組新設、天然木根柢(フローリング)を12%、踏込部分は防水モルタルコテ埋工新設、1階床スラス新設の上踏込部分防水モルタルコテ埋工新設、スラス6mm 75キ
  - 巾木 既設撤去の上木製(杉) SOP塗新設
  - 上樑 新設 0.5
  - 壁 既設珪スラスター塗、モルタル塗撤去の上モルタルコテ埋工ビニルクロス貼、北側壁は珪スラスター(珪スラスターボード)を28%接着の上ビニルクロス貼、新設木軸部分は石綿セメント板を6%の上ビニルクロス貼、流司台バック壁はモルタル下地の上タイル貼仕上(柱型タイル仕上)、梁型はモルタル珪スラスター撤去の上モルタル塗ビニルクロス貼、和室側梁型下面化粧木は撤去の上モルタル塗ビニルクロス貼
  - 敷居、鴨居新設(敷居 松、鴨居 杉) SOP
  - 天井 既設ボード(下地等)撤去の上天井下地新設化粧石膏ボードを9%貼
  - 廻縁(杉)新設 SOP
  - 見切縁(杉)新設(洗面所)
  - 流司台コンロ台 既設撤去の上新設、バックガード スラス新設、箱縁 新設(杉) SOP
  - 扉・欄干切欄 既設撤去の上新設
  - 換気扇取付枠 新設 SOP
  - 湯沸器取付枠 流司台バック壁面に新設
  - 床下長板II 1階(1ヶ所)に新設
  - 建具 フスマ2枚新設
  - 電話用穴勝手口 袖壁に新設 VP130キ付
  - カーテンレール l=1400 天井吊 シェルル
  - カーテンレール ステンレス鋼丸(l=900)

公営住宅 2年度設計図		向日台 団地	
課長	主任	係長	調査

府営住宅 2年度設計図		5号棟		型	
団地名	向日台(ZP1部)	1F部			
工事区分	建築	階尺			A5/51
図名	改善工事図書 1	図尺			
設計	京都府土木建築部住宅課	課長	主任	係長	調査
年	月	日			
年	月	日			

4. 洋 室
- ・床 既設撤去の上床組新設し、ウレタンコート70アール @12% 新設
  - ・巾木 新設 SOP (杉)
  - ・壁 新設木脚軸組は、ウレタン @5% 上上ビニールクロス貼、既設コンクリート壁は、スラスター塗、珪藻土塗撤去の上珪藻土塗りビニールクロス貼、北側壁は、スタッド接着の上上ビニールクロス貼、深窓は、スラスター塗撤去の上珪藻土塗りビニールクロス貼、和室側深窓下端化粧木は撤去の上珪藻土塗りビニールクロス貼
  - ・天井 既設ボード撤去の上、天井下地新設、化粧石膏ボード @9% 貼、最上階は、クラスター @100% 充填
  - ・廻縁 新設 (杉) SOP、額縁 新設 (杉) SOP、敷居新設 (松) SOP、鴨居新設 (杉) SOP、タテ板 (杉) SOP、襖 (杉) SOP
  - ・床下点検口 1階に (1ヶ所) 新設 (既製品 460x460)
  - ・建具 フラッシュ戸 (1枚) 新設
  - ・カテナール ステンレスタイル (2ヶ所) 新設 ・物入 フラッシュ戸 (1枚) 新設 枠は釣元 (松)、他は杉

5. 洗濯脱衣室
- ・床 既設撤去の上床組新設し、ウレタン @12% 上上長尺ビニール @2% 貼
  - ・上樞 新設 (松) 60x70 SOP
  - ・巾木 新設 (杉) SOP
  - ・壁 新設木脚軸組は、ウレタン @5% 上上ビニールクロス貼、既設コンクリート壁の上上珪藻土塗りビニールクロス貼、深窓は、スラスター塗撤去の上珪藻土塗りビニールクロス貼、深下端化粧木は撤去の上珪藻土塗りビニールクロス貼
  - ・天井 天井下地新設の上化粧石膏ボード @9% 貼 (最上階は、クラスター @100% 充填)
  - ・洗濯機パン 新設 (1台)
  - ・カテナール ステンレスシングル (1ヶ所) l=800
  - ・廻縁 新設 (杉) SOP、浴室扉 (松) SOP
  - ・洗面ユニット 新設 (1台) 設備 ・タオル掛 新設 (ステンレス) l=300
  - ・化粧セツト (鏡、化粧棚、電灯) 新設 (1台) 設備、化粧セツト取付 受木新設 (軸組内)

6. 浴 室
- ・床 既設防水層撤去の上上下地コンクリートスラスター補修 (穴埋め等)
  - ・天井 既設天井撤去
  - ・ユニットバス 新設 (BL製品) Aタイプ 1116 ・排水 VP50 E 接続の上洗面床下まで伸工 (建築)
  - ・蓋 バランス蓋新設 設備 ・浴槽 新設 (FRP) 設備
  - ・バランス釜加圧 新設 (外部廊下側に設置) ・釜枠 PC 枠 (既製品)
  - ・出入口扉は 四六天換

7. 便 所
- ・床 既設撤去の上床組新設し、ウレタン @12% 上上長尺ビニール @2%
  - ・巾木 新設 (杉) SOP
  - ・壁 既設コンクリート壁は、梁型部分スラスター塗撤去の上珪藻土塗りビニールクロス貼、新設木脚部分は、ウレタン @5% 上上ビニールクロス貼、R/C 部分 @120% 上上珪藻土塗りビニールクロス貼
  - ・天井 既設撤去の上天井下地新設の上フレキシブルボード @4% EP 塗、最上階は、クラスター @100% 充填
  - ・廻縁 新設 (杉) SOP ・ドア取付受木新設 (軸組内) SOP
  - ・タオル掛 l=400 新設 (ステンレス) ・アルミフラッシュ扉新設 枠は釣元、浴槽は (松)、他は杉

8. バラコケ下
- ・床 既設床の上軽骨材の工長尺幅ビニール @2% 貼 (軽骨材平均 @40%)
  - ・壁 新設軽量型鋼軸組新設の上、外側は、コンクリート床、アクリル樹脂吹付、内側は、下地新設の上石膏ボード @6% 上上ビニールクロス貼、柱、壁 R/C 部分は珪藻土撤去の上珪藻土塗りビニールクロス貼、既設 R/C 手摺は珪藻土撤去の上外側に、カッター の上撤去工事
  - ・巾木 1/2巾木 H=60
  - ・樞 新設 (松) SOP
  - ・廻縁 新設 (杉) SOP
  - ・天井 既設天井下地補修の上、アクリル樹脂吹付 ・水切 (外部) 新設、アルミ製

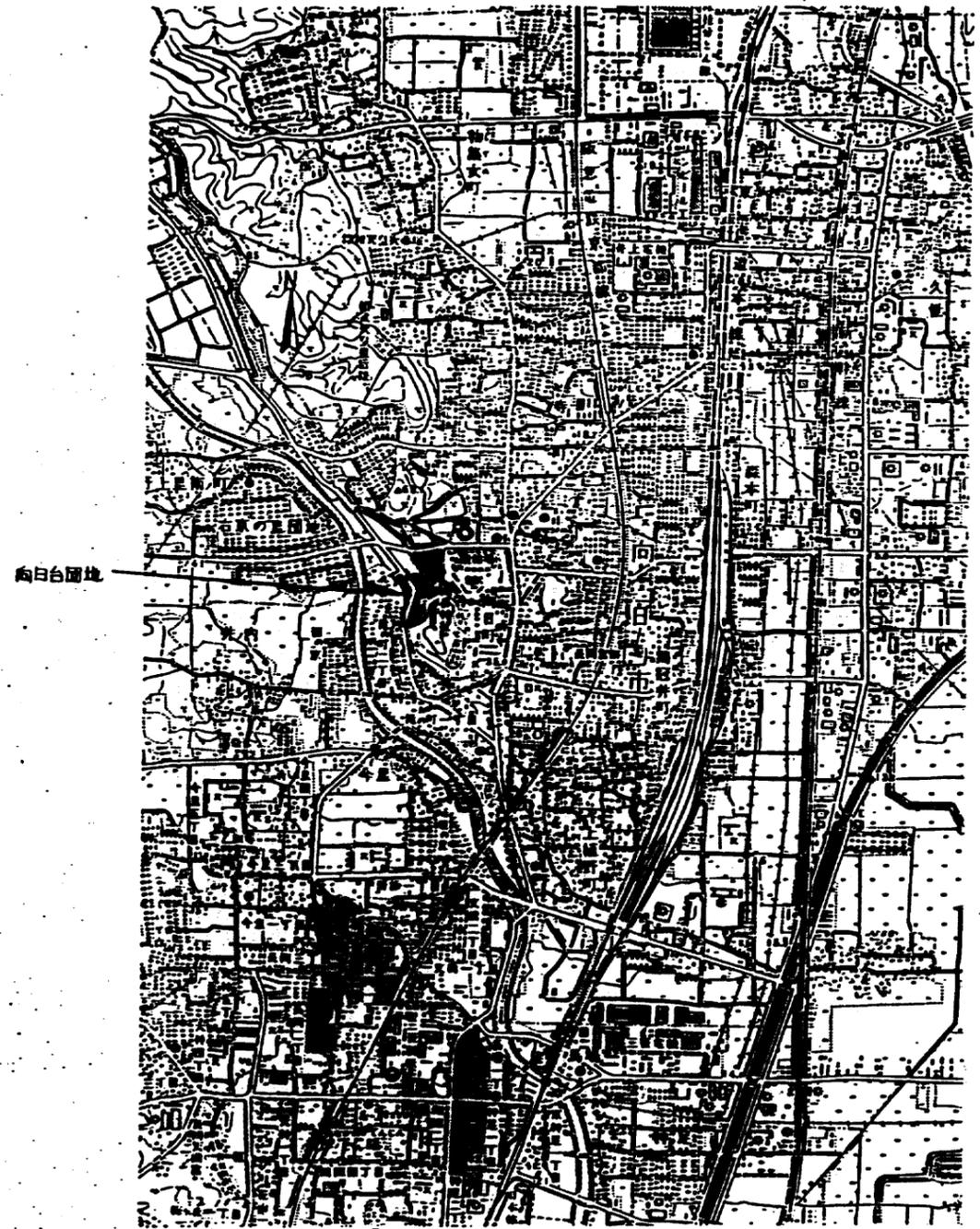
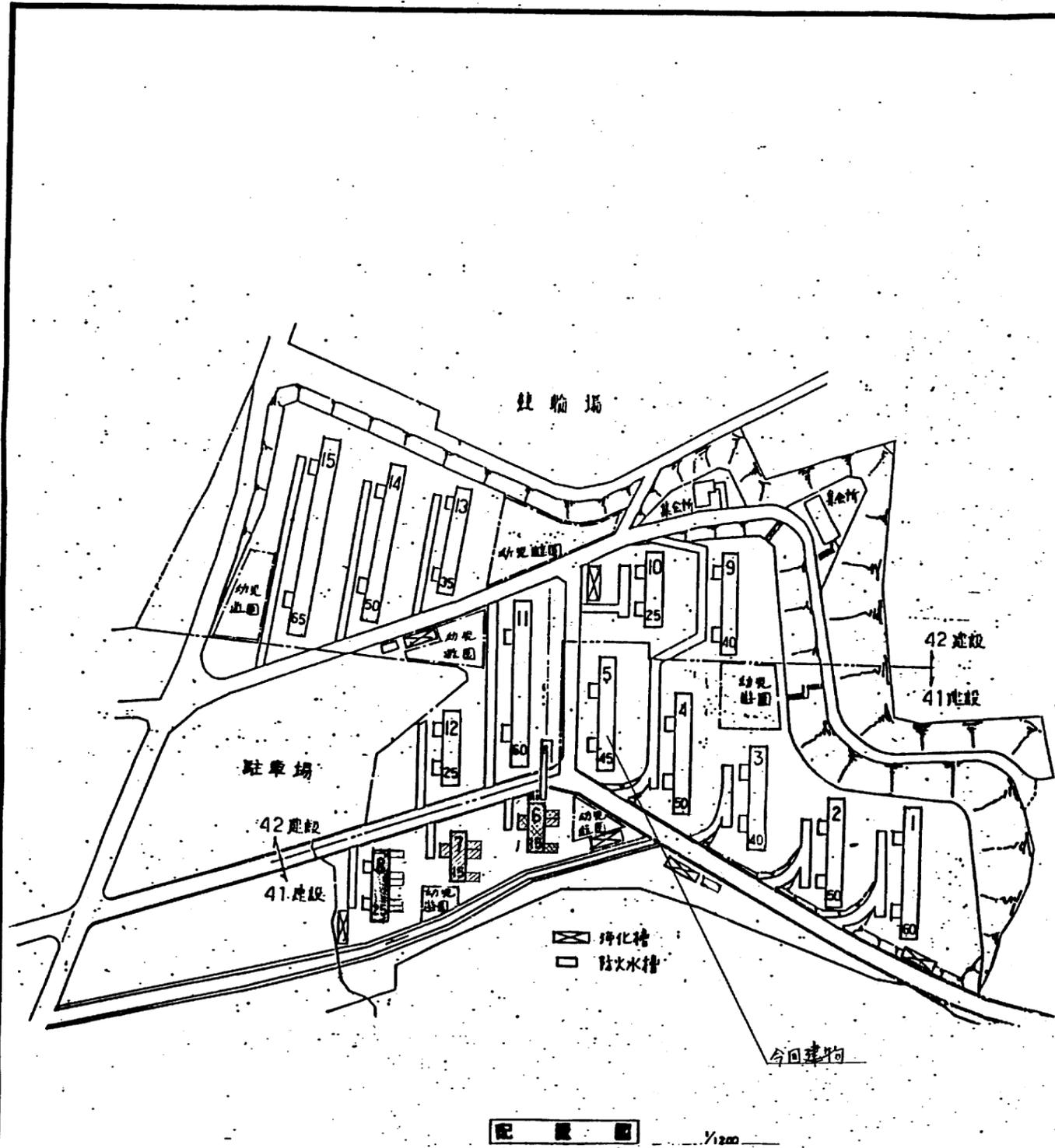
9. 物 置
- ・床 床組新設の上ウレタン @12% SOP 仕上
  - ・巾木 雑化板新設 (杉) SOP
  - ・壁 既設壁下地補修の上 EP 塗、一部珪藻土塗 EP 塗
  - ・天井 既設天井下地補修の上 EP 塗
  - ・廻縁 既設廻縁補修の上 EP 塗
  - ・建具 既設フラッシュ戸補修の上 SOP 仕上
10. 既設便所
- ・床 既設タイル補修
  - ・壁 既設壁補修の上 EP 塗
  - ・天井 既設天井下地補修の上 EP 塗
  - ・廻縁 既設廻縁補修の上 EP 塗

11. 既設和室
- ・床 既設下地 @5% 貼補修し床下り部分は根太を補修すること、和室 (2) 一部床組新設の上ウレタン @12% 貼
  - ・壁 既設壁下地補修の上 EP 塗、スラスター穴埋めを確実にすること、既設壁 @5% 下地部分は、下地調整の上上ビニールクロス貼
  - ・天井 既設天井の上ウレタン @4% 上上ビニールクロス貼
  - ・畳等 敷居、廻縁 既設のみ、一部新設、和室 (1) (2) 畳等 (杉)、敷居 (松)、鴨居 (杉)
  - ・建具 引違襖新設 (1枚)、片開襖新設 (1枚)
  - ・クローゼット用扉 新設 (各戸2ヶ所) 75cm ・クローゼット用受木 新設 (各戸4本)
  - ・カテナール ステンレス製タイル l=1800 (3ヶ所)
  - ・畳の表替 既設襖貼替 ・畳下 @5% 指見 @4

12. その他
- ・撤去メーサ BOX 既設物置開口部、サッシ入替する部分及びコンクリート壁撤去部分はコンクリートスラスター (B種) を施工すること、又鉄筋は縦横共 D10、D13 E 使用、定着は、異形サシ筋アンカーに接続すること。
  - ・1階床 既設撤去の上、土間土をならした上、砂利を敷き、溶接金網を敷いて土間コンクリートを打設後、床組を新設 (改善は北半分のみ)
  - ・既設木脚見え部分には補修の上 SOP 塗、在来釘穴等は、パテ詰めを確実にすること。
  - ・各室 E 取付工事及び取付下地の廻縁の埋め込みを確実にすること。
  - ・設備上の補修 係員指示の如く補修する。(電気配線に伴う穴埋め等)
  - ・設備パイプ類 SOP 塗
  - ・押入破損の補修 係員指示の如く補修する。
  - ・既設換気扇 (10、4)
  - ・1階コンクリート土間に水抜き取付

京都市土木建築部住宅課	向日台 団地
課長 王 幹	係長 調査
監 査	認 可

団地名	向日台 (2戸1号)	1F 階	型	A6/1
工事区分	建築	階 尺		15/1
図名	改善工事概算書 2	課長	主任	係長
設計	京都市土木建築部住宅課	調査	設計	
トレース	年 月 日			



公営住宅 2 年度設計図			
京都府土木建築部住宅課	向日台 団地		
課長	主任	係長	調査

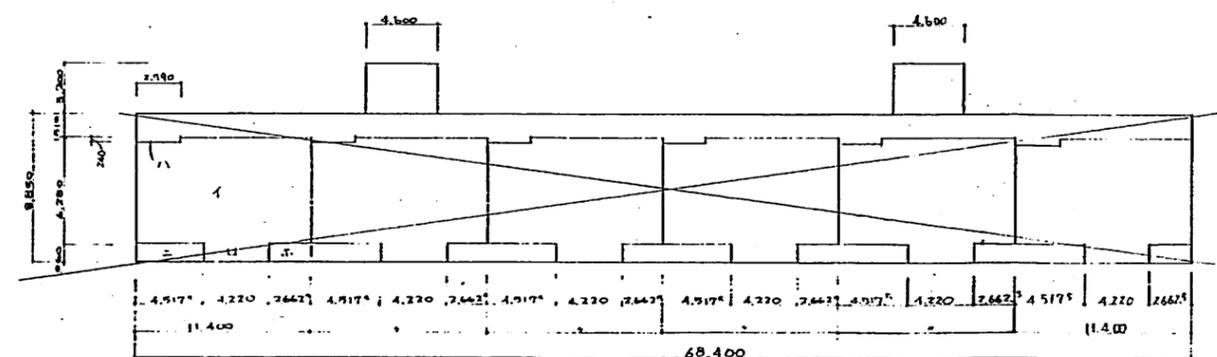
府営住宅 2 年度設計図		5号棟		型
設計者	向日台	1954	設計	A-7/51
工事監督	佐藤 正			
調査	佐藤 正	設計		
設計	京都府土木建築部住宅課	課長	佐藤 正	
スケッチ	昭和 年 月 日			
トレス	昭和 年 月 日			

外部仕上

階段室	鋼管戸 SOP窓 床 既設の上、巾 既設の上、音断 9x4 補修 壁 天井、床 既設の上、音断 9x4 補修 扉 既設の上、音断 9x4 補修 手摺 SOP窓	計画 階下床板丸型 1階 階上板 600x500 47-1215 5711
廊下	床 既設の上、音断 9x4 補修 巾 既設の上、音断 9x4 補修 壁 既設の上、音断 9x4 補修 天井 既設の上、音断 9x4 補修 扉 既設の上、音断 9x4 補修 手摺 SOP窓	
バルコニー	床 既設の上、音断 9x4 補修 巾 既設の上、音断 9x4 補修 壁 既設の上、音断 9x4 補修 天井 既設の上、音断 9x4 補修 扉 既設の上、音断 9x4 補修 手摺 SOP窓	

内部仕上

室名	床	巾	木	壁 (博壁)	天井 (一般階)	天井 (最上階)	備考
玄関	踏込 防氷モルタル押上 ラワン合板@5.5%のヒビニクロス貼	木製 O.S.V	H=60	モルタル押上ヒビニクロス貼 ラワン合板@5.5%のヒビニクロス貼	化粧プラスチック@9%貼	断熱材@50 敷込 化粧プラスチック@9%貼	
洋間	ラワン合板@12%のヒビニクロス貼 踏込 防氷モルタル押上 ラワン合板@12%のヒビニクロス貼	木製 O.S.V	H=60	モルタル押上ヒビニクロス貼 ラワン合板@5.5%のヒビニクロス貼	化粧プラスチック@9%貼	断熱材@50 敷込 化粧プラスチック@9%貼	カーテンル W x 1.200 x 2 スリレス 床 既設の上、音断 9x4 補修
炊事室	踏込 防氷モルタル押上 ラワン合板@12%のヒビニクロス貼	木製 S.O.P	H=60	モルタル押上ヒビニクロス貼 ラワン合板@5.5%のヒビニクロス貼	化粧プラスチック@9%貼	断熱材@50 敷込 化粧プラスチック@9%貼	床 既設の上、音断 9x4 補修 洗面台 L=1100 コロ台 L=600 木物棚 L型 2階 L=900 換気機 ZF-1 通気口 (4個) 巾 1.200
洗面室	踏込 防氷モルタル押上 ラワン合板@12%のヒビニクロス貼	木製 S.O.P	H=60	モルタル押上ヒビニクロス貼 ラワン合板@5.5%のヒビニクロス貼	化粧プラスチック@9%貼	断熱材@50 敷込 化粧プラスチック@9%貼	洗面台 L=900 換気機 ZF-1 通気口 (4個) 巾 1.200
新設便所	踏込 防氷モルタル押上 ラワン合板@12%のヒビニクロス貼	木製 S.O.P	H=60	モルタル押上ヒビニクロス貼 ラワン合板@5.5%のヒビニクロス貼	化粧プラスチック@9%貼	断熱材@50 敷込 化粧プラスチック@9%貼	洗面台 L=900 換気機 ZF-1 通気口 (4個) 巾 1.200
浴室	ユニットバス			ユニットバス	ユニットバス	ユニットバス	ユニットバス BL A717*1116 型、バス排水 VP50 洗面現上 くまびき排水配管工事、浴槽 (既備)、洗面台 (既備)
メーターBOX	モルタル押上 (9x7)			モルタル押上 既設モルタルの上 EP塗	モルタル押上	モルタル押上	
物置	ラワン合板@12%のヒビニクロス貼 (9x7)	雑巾摺 S.O.P		モルタル押上 既設モルタルの上 EP塗	既設ボードの上 EP塗	モルタル押上	トレンチ
既設便所	既設の上、音断 9x4 補修			既設モルタルの上 EP塗 換気機 既設 (0.8 角タイプ)	有孔コンクリート@4 EP塗	既設の上、音断 9x4 補修	トレンチ
ベランダ前下	モルタル押上 既設モルタルの上 EP塗	ソノ中木	H=60	モルタル押上ヒビニクロス貼 既設コンクリート@4 EP塗	既設の上、音断 9x4 補修	モルタル押上	外壁 コニエボード@20
和室 (1)	畳 (既設) ベニヤ合板@6%のヒビニクロス貼	畳寄 (既設)		既設コンクリート@4 EP塗 既設合板@6%のヒビニクロス貼	既設の上、音断 9x4 補修	既設の上、音断 9x4 補修	スリレス
和室 (2)	畳 (既設) "	畳寄 (既設)		既設コンクリート@4 EP塗 既設合板@6%のヒビニクロス貼	既設の上、音断 9x4 補修	既設の上、音断 9x4 補修	
和室 (3)	畳 (既設) "	畳寄 (既設)		既設コンクリート@4 EP塗 既設合板@6%のヒビニクロス貼	既設の上、音断 9x4 補修	既設の上、音断 9x4 補修	
和室 (4)	畳 (既設) "	畳寄 (既設)		既設コンクリート@4 EP塗 既設合板@6%のヒビニクロス貼	既設の上、音断 9x4 補修	既設の上、音断 9x4 補修	
改修押入	ラワン合板@5.5	雑巾摺		ラワン合板@5.5	既設の上	既設の上	
既設押入	既設の上			既設の上	既設の上	既設の上	
物入	既設の上			既設の上	既設の上	既設の上	



公営住宅 2 年度設計図  
京都市土木建築部住宅課 向日台 団地  
課長 主任 係長 調査  
[Seal] [Seal] [Seal] [Seal]

1. 住戸専用面積

改修前	57.2 ± 6.28	= 35.0
改修後	11.4 × 6.28 + 4.22 × 1.06 - 2.7 × 0.24	= 75.40

2. 共用部分

押入	(2.4 × 0.7 + 0.2 × 0.7) × 1.5	= 10.00
物置	1.2 × 1.0 × 1.2	= 1.44
合計		11.44

居室 洋間 (3.2 × 0.60) × 2.7 × 2.3 = 12.88

和室 (2.4 × 0.6 × 4 + 0.7 × 0.7) × 2 = 60.22

洗面 (2.4 × 2.7 + 0.7 × 1.4) × 2 = 20.22

合計 116.72

116.72 × 9% = 10.46 < 14.97

基礎面積	延床面積	公営住宅面積	合計
居室 2261.00	452.34	2261.00	2261.00
廊下 536.50	107.30	536.50	536.50
階段室 147.20	29.44	147.20	147.20
合計	624.24	2945.40	3021.64

府営住宅 2 年度設計図

団地名	向日台 5 号棟	11/3/9	設計
工事区分	洋築工事	設計	
図名	住上表、面積表	設計	
設計	京都市土木建築部住宅課	課長 主任 係長 調査	
トレス	年 月 日		

別棟型 AB/51

外部仕上表

(増築改善部)

	階	壁	屋根	庇	バルコニー	植	塗装
下地	合板型枠の処理物付付	PC版刷毛引	PC版型枠	PC版	PC版型枠の定置面		
仕上	コンクリート系地(打放し) 木コンクリート系地	厚・砂壁吹付打放し 一部耐震耐火断熱処理工事	防水部 防水処理	厚庇庇下側面露出 砂壁吹付打放し	注: PC版基礎地 防水部 防水 処理の断熱処理工事 断熱材: PC版基礎地 下地: 砂壁吹付打放し (1階以下側面PC版基礎地)	注: 鋼鉄筋70-11mm バルコニー 中地トレン 断熱材: 厚庇庇下側面露出 (厚さ: 100mm 100UP断熱材 厚庇庇トレンとUP断熱材 あり)	鉄部 特記以外SOPあり
備考	耐震強化 断熱処理 150mm (110mm) 庇下長尺口 500 既製品	注: BL型ユニット 一部 BL型ユニット同等品	ルフトレン 断熱処理中地 示し差庇下側面(別送)		注: BL型ユニット (断熱 110mm 工型0.70) 厚庇庇下側面露出 S.A.P. ルフトレン 断熱処理中地 断熱材: PC版 厚庇庇トレン 400x100		

防水仕上表

(省工法)

階	防水仕上
屋根	板全面 1 ジムスワリ付汁②25 板一面防水部工部 1 アスベスト防水シール 下部 1 バックアップシート 2 建築用ウレタンシーリング材
バルコニー	板一面防水部工部 1 アスベスト防水シール 2 グラスシール 3 防水部トレン/厚さ 下部 1 バックアップシート 2 建築用ウレタンシーリング材 手摺部工部: 建築用ウレタンシーリング材
外壁露出部	バックアップ材の工建築用ウレタンシーリング材
外壁露出部	屋根一面 建築用ウレタンシーリング材 壁一面 1 ショックシート材 2 バックアップシート 3 建築用ウレタンシーリング材 壁一面 建築用ウレタンシーリング材 壁一面バルコニー工部 1 ショックシート材 2 建築用ウレタンシーリング材 1 下部 建築用ウレタンシーリング材
工部付	防水部工部 建築用ウレタンシーリング材

内装仕上表

	庇	巾下	壁	天井			塗装	備考
				一般部	工部部	露出部		
和室③	夕張敷 ②15 木下板 ②20 敷板 ②15 一部 木下板取付 ②15	夕張敷	ビニルクロス貼 一部断熱材取付 ②29 一部石目 ②4mm	ビニルクロス貼 一部断熱材取付 石目 ②3mm 一部石目 ②4mm	ビニルクロス貼 一部断熱材取付 石目 ②3mm 一部石目 ②4mm	露出部	木部	クナルーウ(W) 990x247 80°上下 付付品 H=30%
工部付	木下板取付 ②12 15mm厚取付 500°	木下板 H=60	ビニルクロス貼 一部木下板取付工事 一部断熱材取付工事 ②29	ビニルクロス貼 石目 ②3mm 一部石目 ②4mm	工部	露出部	木部SOP	洗濯機用防水バリア (800x640) 壁 厚さ 475 洗面化粧ユニット (取付工事)
浴室	BL型浴室ユニット (150mm厚 浴槽付設置工事)			BL型 1116.型 475°				

外装仕上表

PC版  
壁厚 150mm  
庇厚 120mm  
EXP.Jの仕上  
厚庇 外壁内壁: 鋼板(厚さ)  
ステンレス(厚さ)

註記

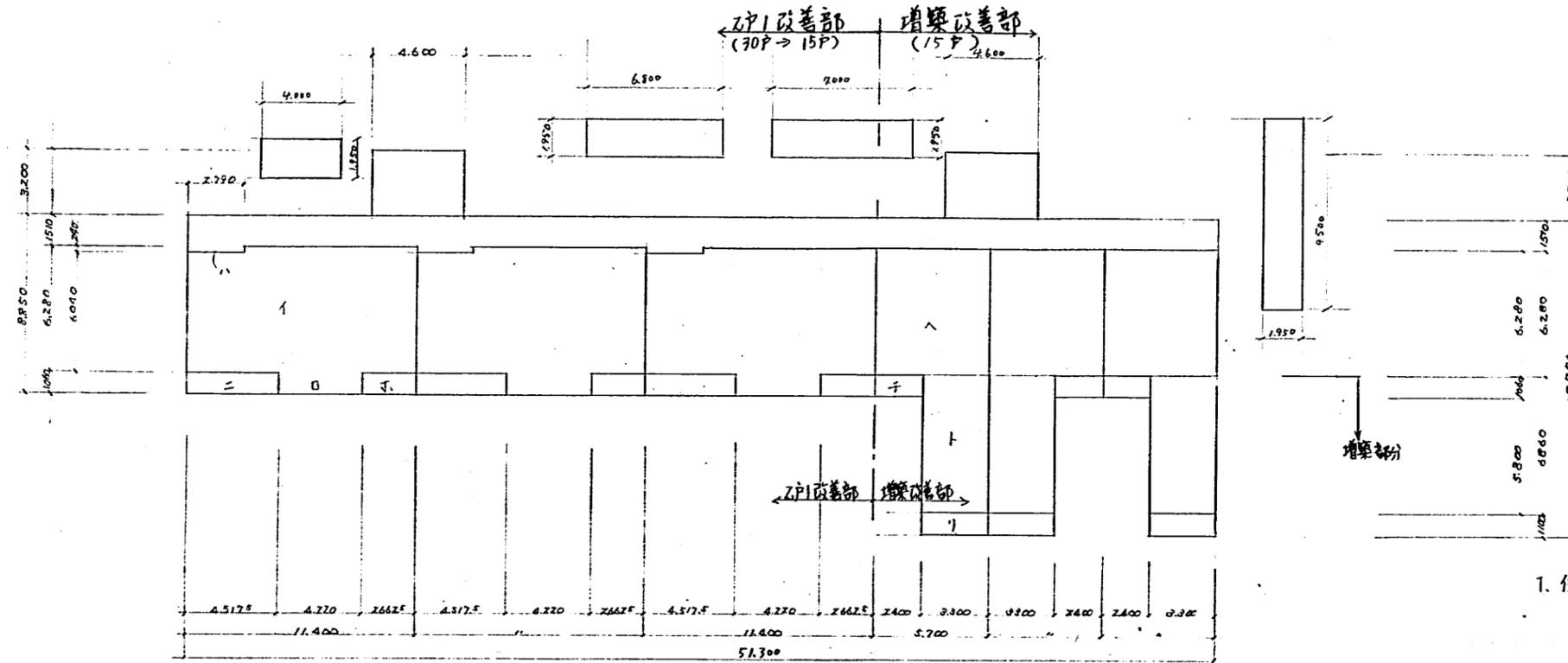
1 断熱材 (2mm厚)	発泡スチロール ②25 省工法
2 断熱材取付石目板 ②29	発泡スチロール取付石目板 (発泡スチロール②25+石目板②4) ②29mm
3 エアフォーム	発泡スチロール取付石目板 ②20. 和室用
4 木下板取付	複合フローリング ②12mm
5 ビニルクロス	JIS A 6421の規格に適合した防火性能の工部部用紙
6 断熱耐火断熱切壁	同壁 断熱耐火断熱切壁 ②24mm厚の断熱材(断熱材厚120mm)(耐火(通)W200)(断熱材厚6mm) 上記断熱材取付石目板②4 外壁 断熱耐火断熱切壁 ②20(断熱材厚6mm)(耐火(通)W200)(断熱材厚6mm) (省工法)

既存部 改修工事概要

- 1 物入(旧部) 床合板取付(2階以下) SOP 塗
- 2 既設天井の工部部 壁補修工事(全面)
- 3 床板 発泡スチロール取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 4 便所 天井断熱 発泡スチロール取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 5 天井 断熱材取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 6 床板 断熱材取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 7 浴室 断熱材取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 8 床板(取付) 発泡スチロール取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 9 床板(取付) クラウドフローリング取付
- 10 床板(取付) 断熱材取付
- 11 バルコニー 断熱材取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 12 スクワクラ取付
- 13 バルコニー 断熱材取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 14 外壁面 断熱材取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 15 断熱材取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 16 IF 断熱材取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 17 断熱材取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 18 断熱材取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 19 断熱材取付(断熱材厚100) ②4mm厚
- 20 壁の表層
- 21 玄関戸枠取付 BL型 仕様2階以下
- 22 既設壁補修
- 23 床板(取付) 複合フローリング取付
- 24 北側廊下側 断熱材取付
- 25 増築部 断熱材取付
- 26 玄関横壁 クロス貼

公営住宅 2年度設計図  
京都市土木建築部 向日台 団地  
課長 主任 係長 調査

府営住宅 2年度設計図 5号棟 型  
団地名 向日台(増築)  
工事区分 建築工事  
設計 京都市土木建築部住宅課  
時期 年月日  
トレス 昭和 年 月 日



1. 住戸専用面積  
 改善前  $5.7 \times 6.28 = 35.8 \text{ m}^2$   
 改善後 (ZPI)  $11.4 \times 6.28 + 4.22 \times 1.06 - 2.79 \times 0.24 = 75.09 \text{ m}^2$   
 " (増築部)  $5.7 \times 6.28 + 3.3 \times 6.86 = 58.44 \text{ m}^2$

X. 収納スペース  
 ZPI

押入  $(2.64 \times 0.9 + 3.54 \times 0.9) \times 1.8 = 10.03 \text{ m}^2$   
 物置  $1.23 \times 1.76 \times 2.3 = 4.98 \text{ m}^2$   
 居室 床間  $(3.17 \times 0.6) \times 2.74 \times 2.3 = 15.01 \text{ m}^2$   
 和室  $(2.4 \times 3.54 \times 4 + 0.9 \times 0.9) \times 2.3 = 80.02 \text{ m}^2$   
 合計  $(2.85 \times 2.74 + 10.9 \times 1.14) \times 2.3 = 20.32 \text{ m}^2$   
 合計  $116.22 \text{ m}^2$

増築

押入  $0.955 \times 0.9 \times 2.0 = 6.74 \text{ m}^2$   
 物置  $1.23 \times 1.76 \times 2.3 = 4.98 \text{ m}^2$   
 居室 和室  $(2.4 \times 3.54 \times 2 + 1.8 \times 2.74 + 3.3 \times 3.75) \times 2.3 = 78.89 \text{ m}^2$   
 合計  $(2.67 \times 2.74 - 0.9 \times 0.9) \times 2.3 = 14.96 \text{ m}^2$   
 合計  $93.85 \text{ m}^2$   
 $93.85 \times 9\% = 8.45 < 11.92 \text{ m}^2$

区分	名称	建築面積	延床面積	公位法床面積	戸当り%
住棟	既設 居室	$(11.4 \times 6.28 + 4.22 \times 1.06 - 2.79 \times 0.24) \times 3 + 5.7 \times 6.28 \times 3 = 333.57$	$333.57 \times 5$	1667.85	1667.85
	既設 廊下	$5.13 \times 1.51 + 2.79 \times 0.24 \times 3$	$79.47 \times 5$	397.35	397.35
	既設 バルコニー	$(4.5175 + 2.6625) \times 1.06 \times 3 + 2.4 \times 1.06 \times 3 = 30.96$			$30.96 \times \frac{1}{2} \times 5$
	既設 階段室	$4.6 \times 3.2 \times 2 = 29.44$	$29.44 \times 5$	147.20	147.20
	既設 小計	472.94	2212.40	2262.17	
増築	居室	$6.86 \times 3.3 \times 3 = 67.91$	$67.91 \times 5$	339.55	339.55
	バルコニー	$3.3 \times 1.1 \times 3 = 10.89$			$10.89 \times \frac{1}{2} \times 5$
	小計	78.80	339.55	357.70	
合計	551.74	2551.95	2620.87		
附属	自転車置場	$1(4 + 6.8 + 7 + 9.5) \times 1.95 = 53.24$	53.24	53.24	
合計		604.98	2605.19	2620.87	

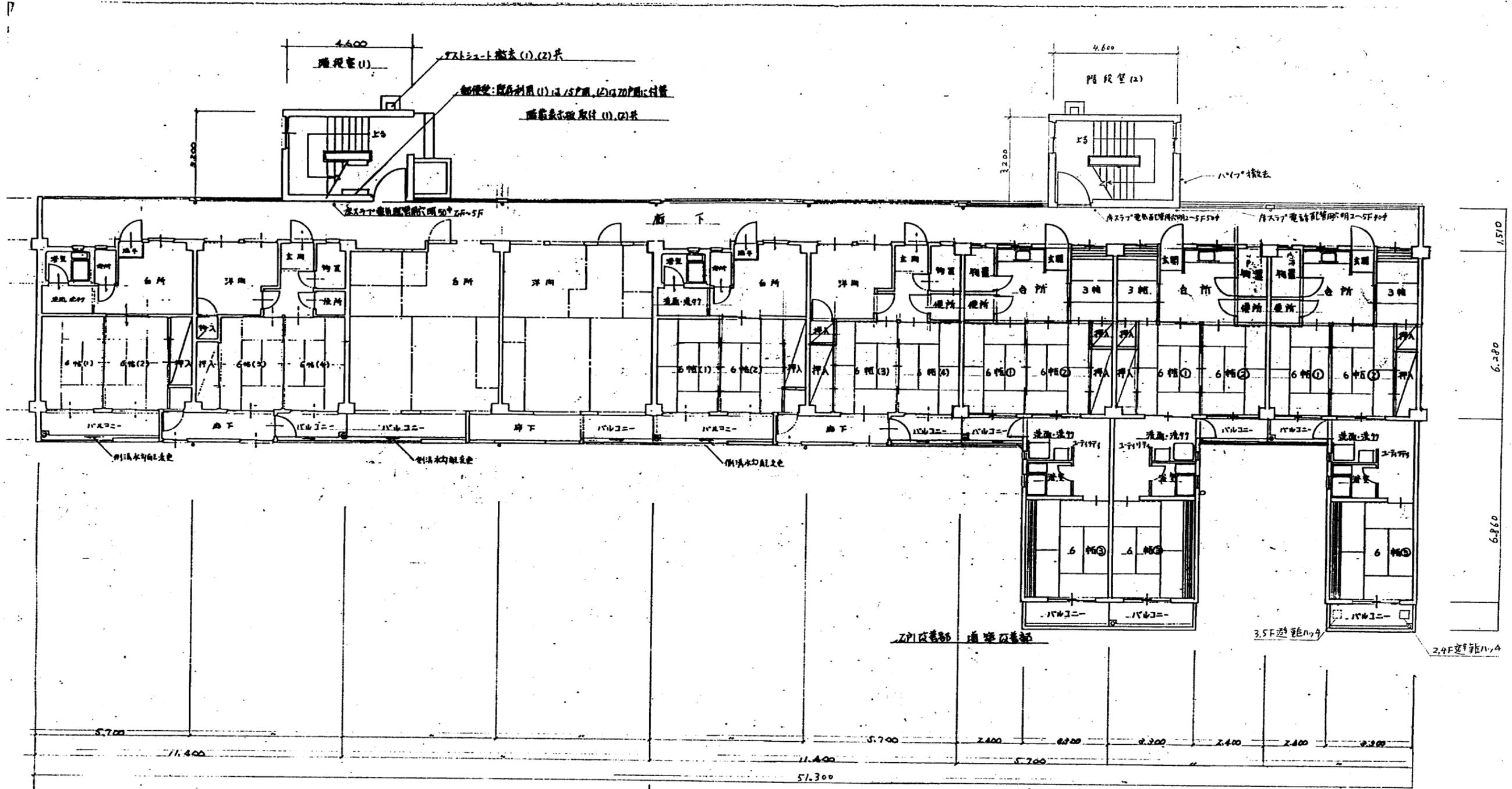
戸当り公位法床面積

ZPI  $11.4 \times 6.28 + 4.22 \times 1.06 - 2.79 \times 0.24 + (4.5175 + 2.6625) \times 1.06 \times \frac{1}{2} + (397.35 + 147.20) \times \frac{1}{30} = 96.08 \text{ m}^2$

増築  $5.7 \times 6.28 + 3.3 \times 6.86 + 2.4 \times 1.06 \times \frac{1}{2} + 3.3 \times 1.1 \times \frac{1}{2} + (397.35 + 147.20) \times \frac{1}{30} = 78.84 \text{ m}^2$

公営住宅 2 年度 設計図  
 東京都土木建築部住宅課 向日台 団地  
 課長 主幹 係長 調査

府営住宅 2 年度設計図  
 団地名 向日台団地5号棟 1F部  
 工事区分 建築工事  
 図名 面積表  
 設計 東京都土木建築部住宅課 課長 主幹 係長 調査 設計  
 トレース 昭和 年 月 日  
 No. 10/51

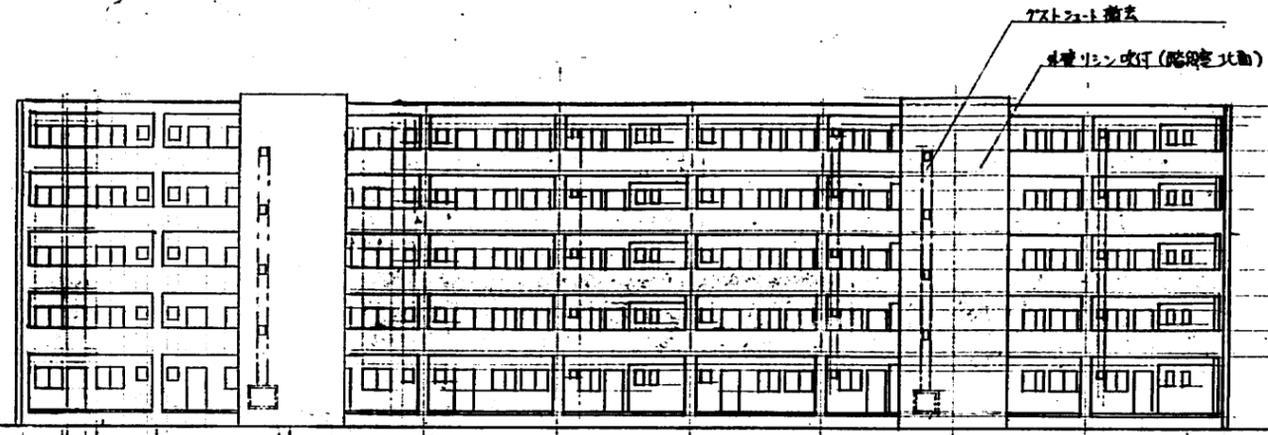


1階 ← 2~5階

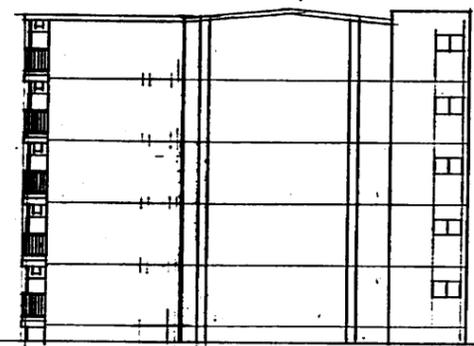
平面図 1/100

公営住宅 2 年度 設計 図			
東京都土木建築部住宅課	向日台(5物)団地		
課長	主任	係長	調査

公営住宅 2 年度 設計 図	
東京都土木建築部住宅課	向日台(5物)団地
課長	主任



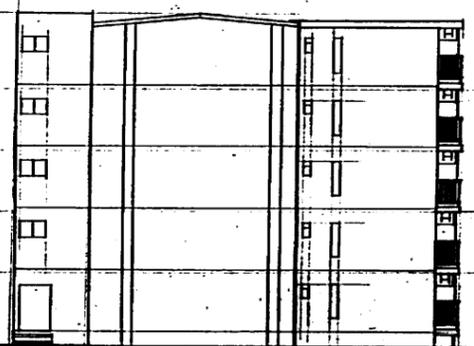
北立面図 1/200



東立面図 1/200



南立面図 1/200

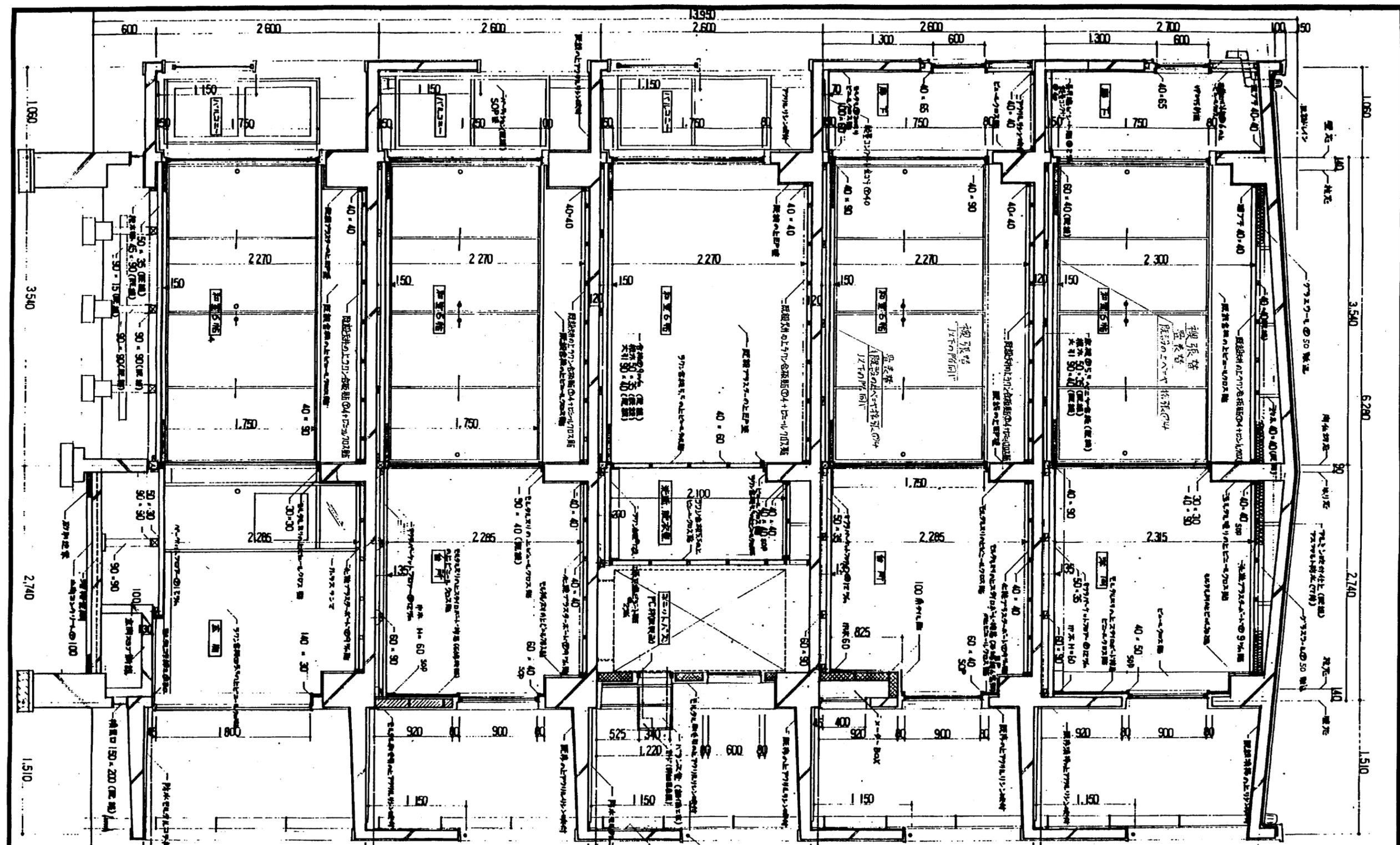


西立面図 1/200

公営住宅 2 年度 設計図			
京都市土木建築部住宅課	向日台	団地	
課長	主任	係長	調査

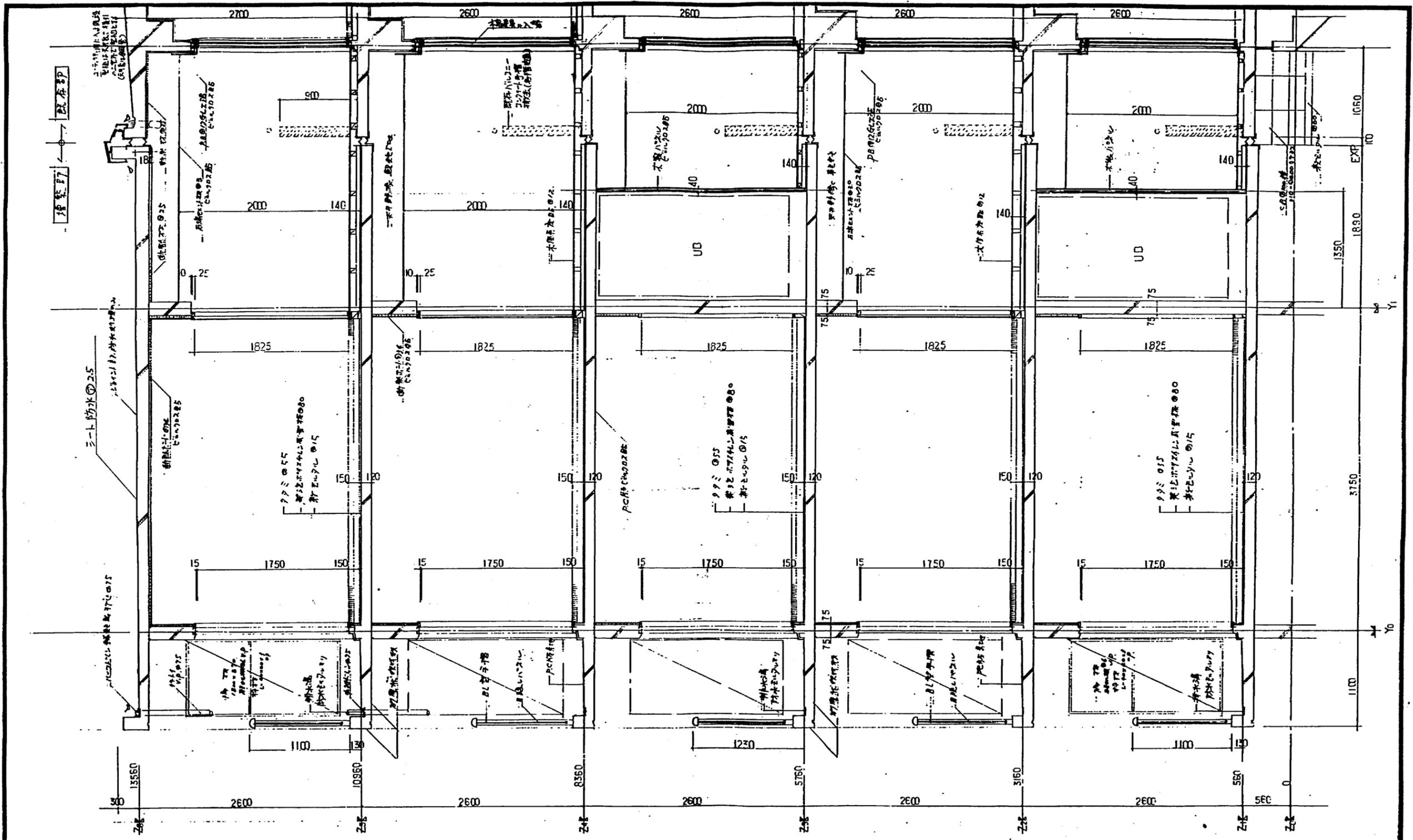
府営住宅 2 年度設計図	向日台	団地	型
団地名	向日台5号棟	17戸	
工事区分	建築場	階数	12/5
図名	立面図	縮尺	
設計	京都市土木建築部住宅課	課長	主任 係長 調査 設計
トレース	昭和 年 月 日		





公営住宅 2 年度 設計図  
 京都市土木建築局住宅課 向日谷 団地  
 課長 主幹 係長 調査

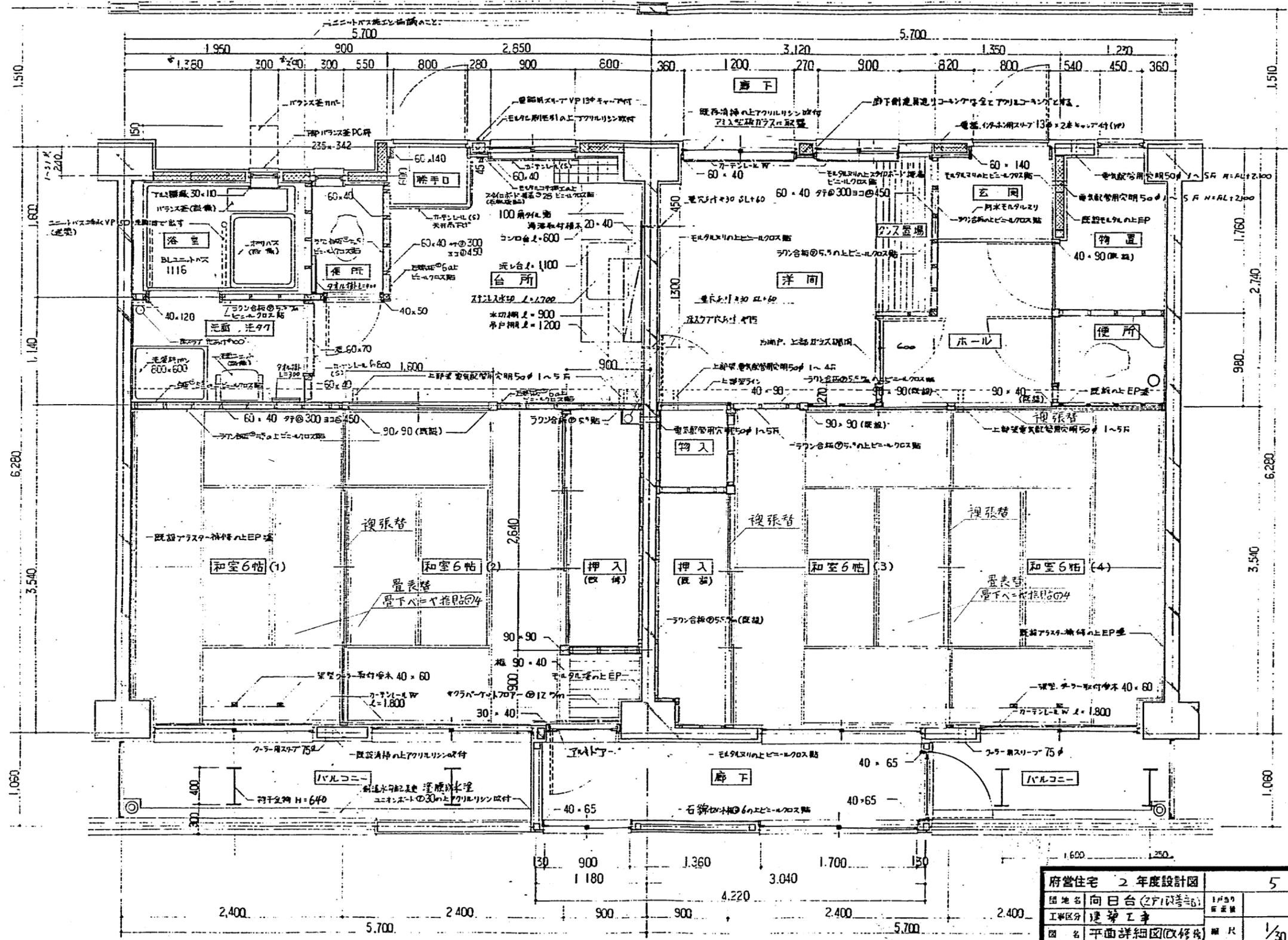
府営住宅 2 年度設計図		5 号棟 型	
図名	向日谷 5 号棟	1/30	AW/ST
工種	建築工事		
設計者	設計図 1	1/30	
設計者	京都市土木建築局住宅課	課長 主幹 係長 調査	
作成	年月日		
チェック	年月日		



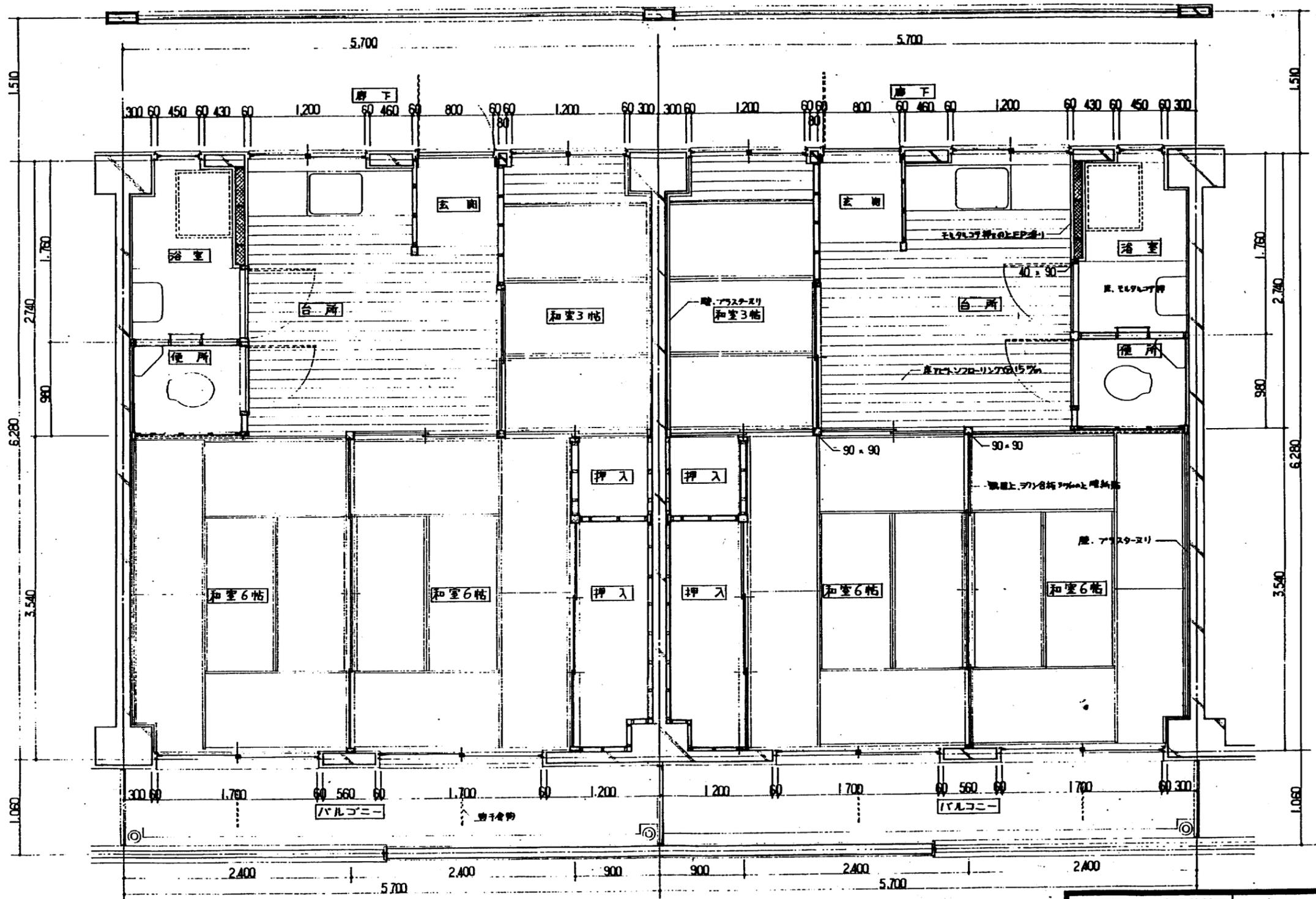
概計図 (増築改善部) 1/30

公営住宅 2 年度設計図			
課長	主幹	係長	調査

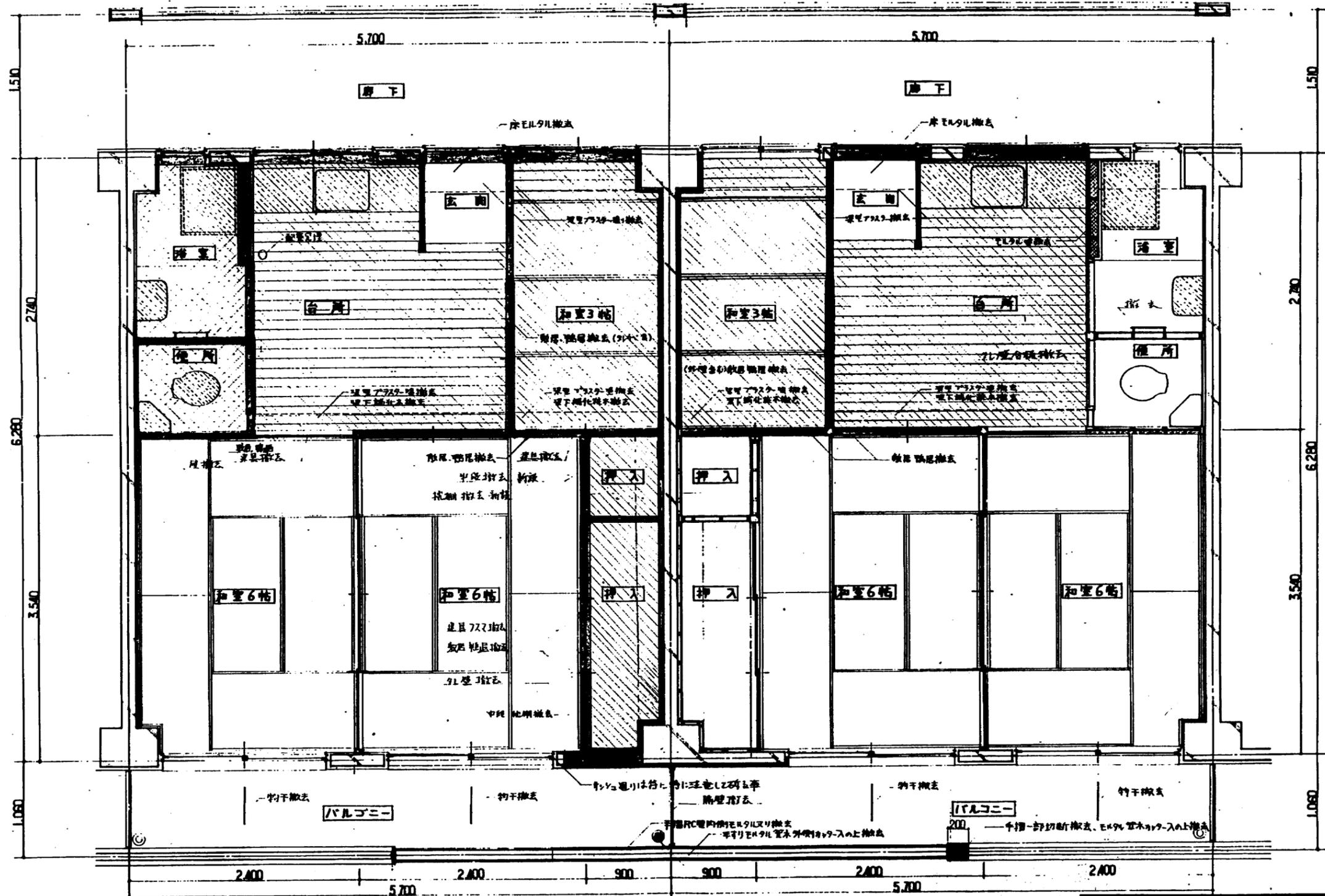
府営住宅 2 年度設計図 5 号棟				型
団地名	向日台 (建設局)	1/1000	原面積	A-15/51
工事区分	建築工事	縮尺	1/30	
図名	概計図 2	設計	京都市土木建築部住宅課	課長 主幹 係長 調査 設計
トレース	昭和 年 月 日			



府営住宅 2年度設計図		5号棟		型
所在地	向日台(2F1号館)	1F50	5号棟	A16/51
工務区分	建築工事			
図名	平面詳細図(改修)	縮尺	1/30	
設計	京都府土木建築部住宅課	課長	主任	課長
トレース	年月日			



府営住宅 2 年度設計図		5号棟 型	
所在地	向日台(21区) 1F 8F	1F 8F	
工事区分	建築工事	1/30	A17/51
図名	平面詳細図(改善前)	縮尺	1/30
設計	京都市土木建築部建築課	調査	主計 検査 調査 設計
トレース	年月日		



- 凡例
- 撤去壁、撤去仕上、撤去内仕切、撤去建具を示す。
  - 床仕上、床組撤去部分を示す。
  - 床仕上、アスファルト防水層撤去部分を示す。
  - 撤去器具を示す。

中継ライン及び階層線は省略。

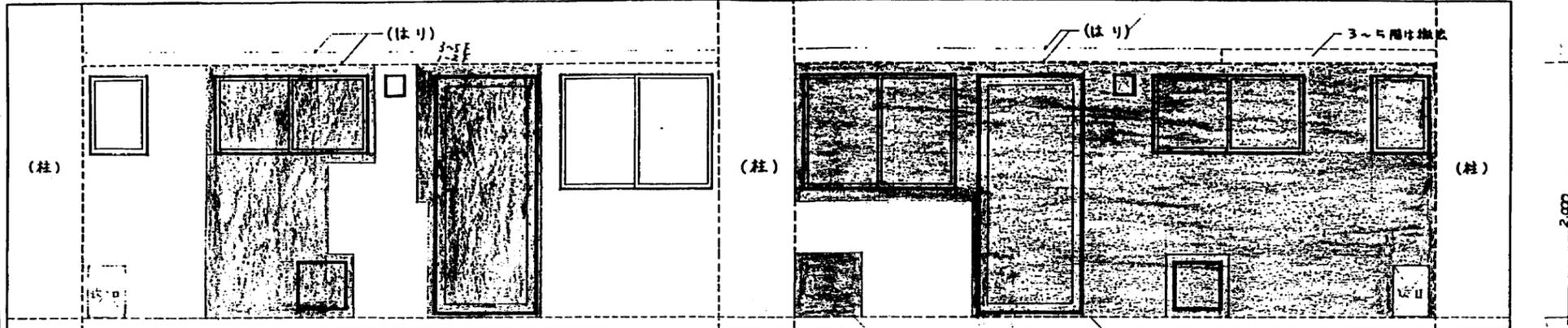
公営住宅 2 年度 設計図			
東京都土木部住宅課	向日台 団地		
課長	主任	係長	調査

府営住宅 2 年度設計図		5 号棟 型	
団地名	向日台(2F改修部)	1F89	1F90
工事区分	建築工事	1F91	1F92
図名	平面詳細図(撤去部)	1F93	1F94
設計	東京都土木部住宅課	1F95	1F96
トレース	年月日	1F97	1F98

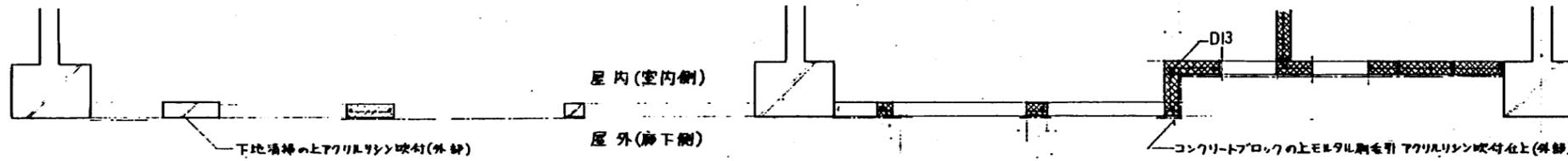
-はりせいは1〜2階と3〜5階では100の違いがあるので注意。

凡例

■ コンクリート、サッシ撤去部分

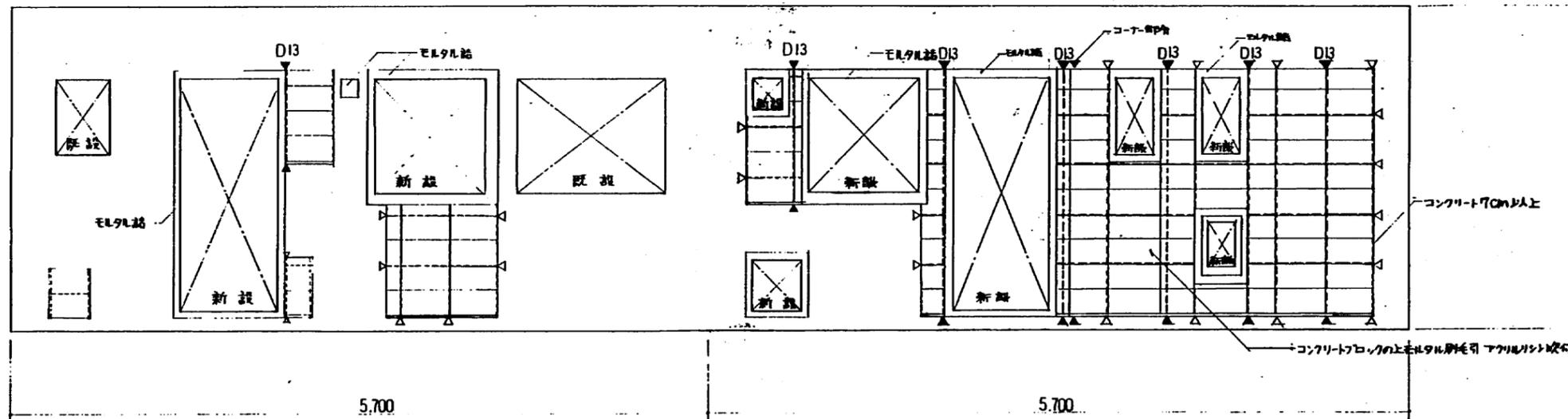


廊下側コンクリート撤去図 1/30



凡例

△ 異型差筋アンカー D10  
 ▲ D13  
 --- 異型鉄筋 D13, D10  
 ■ 構造主体との結合コンクリート (7cm以上)

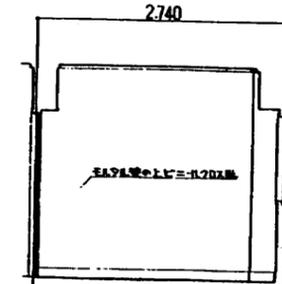
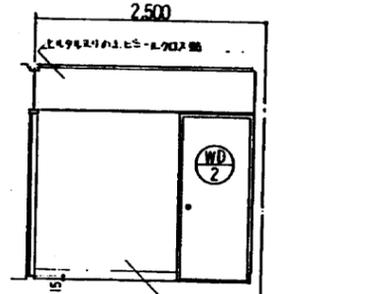
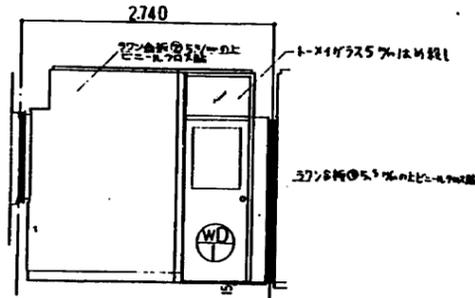
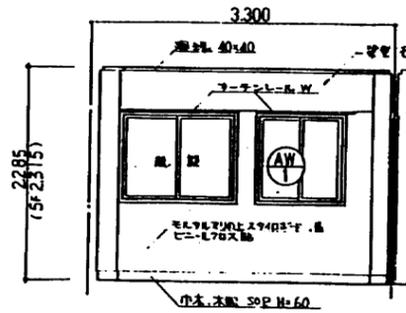


ブロック割り図 1/30

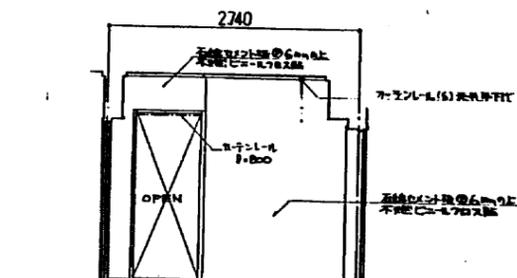
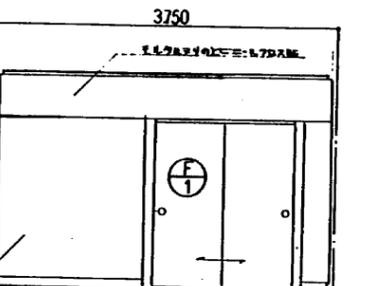
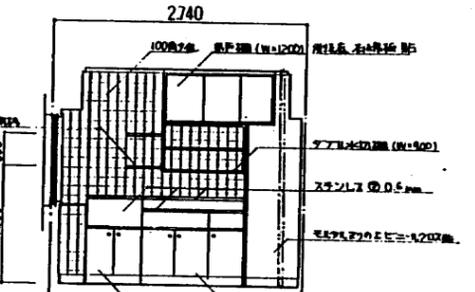
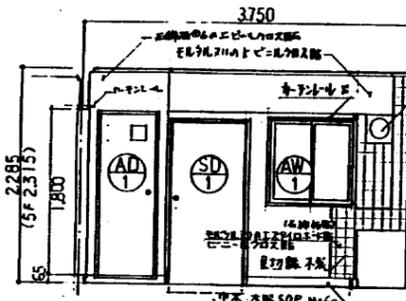
公営住宅 2年度 設計図			
京都市土木建築部住宅課	向日台 団地		
課長	主幹	係長	調査

- コンクリートブロックは JIS A5406 (空明コンクリートブロック) の JIS マーク表示品で B 種ブロックとする。厚サ 12 cm。
- 鉄筋及び横筋のモルタルのふり厚サは 20 mm 以上とし 交差部は結束紐を用いて緊結する。又横筋の端部は全てフックを付けて縦筋に確実にシッカリする。
- 鉄筋の位置、及びすみ角部並みに日地にはモルタルを充てる。縦目地空間部は、鉄筋が入らなくても全てモルタルを埋める。
- 開口部補強筋はアンカー共に D13 の異型鉄筋及異型差筋アンカーとし 密着させる。他は D10 とする。
- コンクリートブロックの上モルタル層を引上は 既存外壁の面に仕上面を統一する事。仕上モルタルの厚サは 20 mm 以上で 3 日塗り以上とする。(室内側はモルタル塗りコテ押とする)
- 柱、梁部分のコンクリート破り部はモルタルにて充てに補修する事。

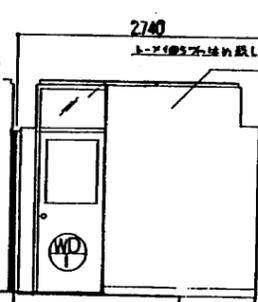
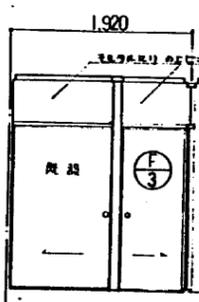
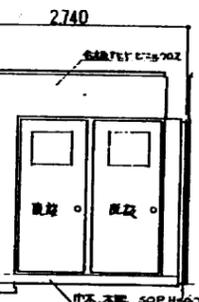
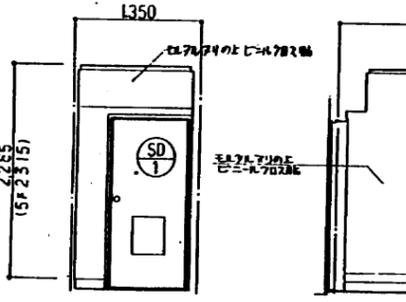
府営住宅 2年度設計図		5号棟 型	
団地名	向日台(2期)団地	1F 8F	A12/51
工事区分	建築工事	棟別	
図名	コンクリート撤去図、ブロック割り図	縮尺	1/30
設計	京都市土木建築部住宅課	原案	松本 隆夫
トレース	年月日		



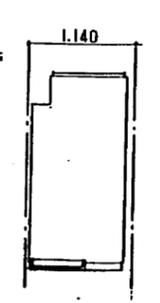
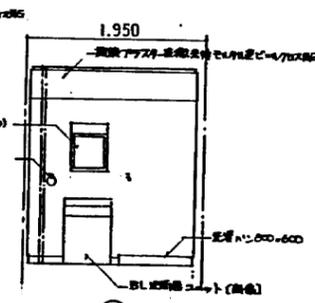
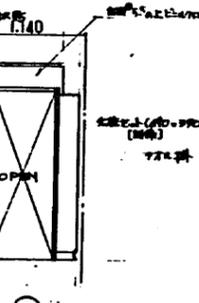
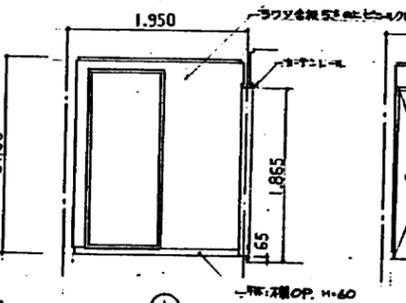
洋風



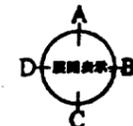
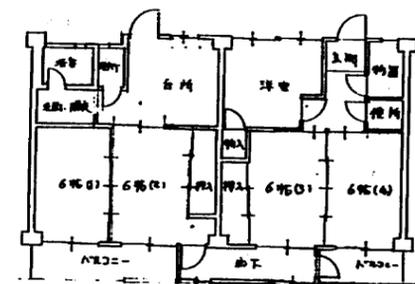
台所 勝手口



主 障

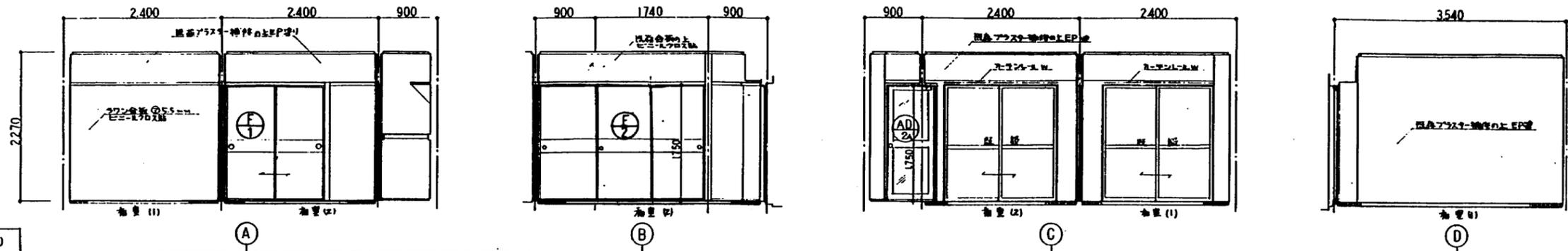


洗面 洗濯

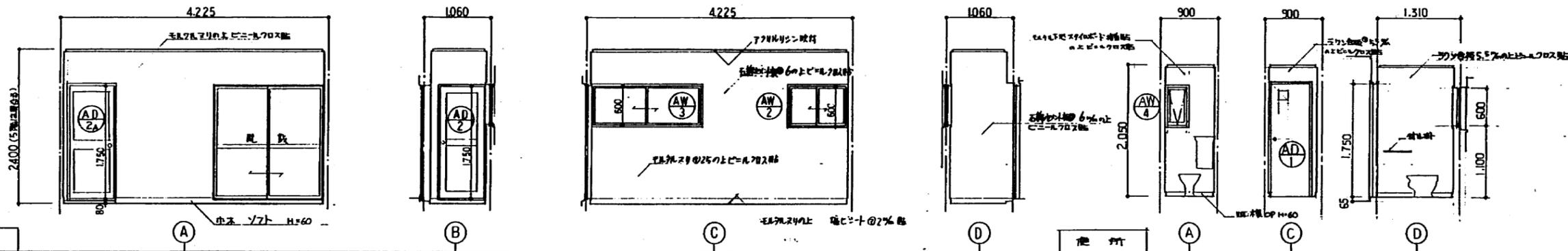


公営住宅 2 年度 設計 図  
 京都府土木建築部住宅課 向日台 団地  
 課長 主幹 係長 調査

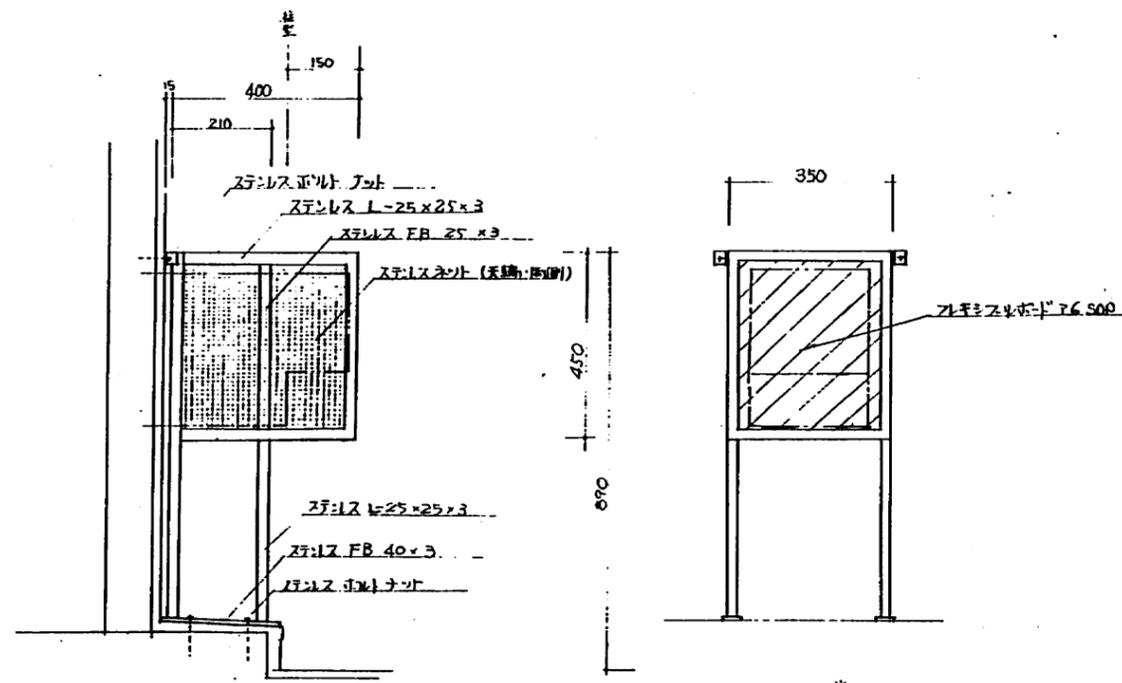
府営住宅 2 年度設計図		5 号棟 型			
団地名	向日台(2P1区画)	1F 2F	3F 4F	5F	6F
工事区分	建築工事	規模	1/50	A20/51	
図名	平面図 No.1	縮尺	1/50		
設計	京都府土木建築部住宅課	課長	主幹	係長	調査
トレース	年月日				



和室6帖(1)(2)

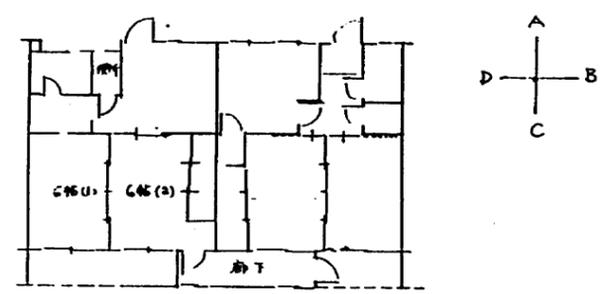


廊下



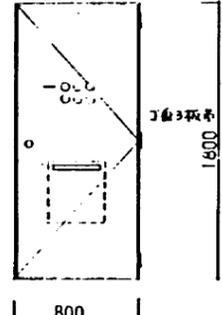
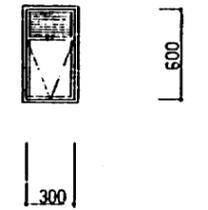
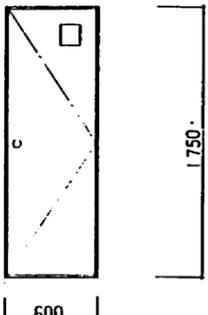
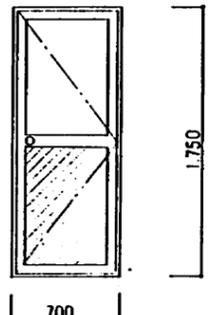
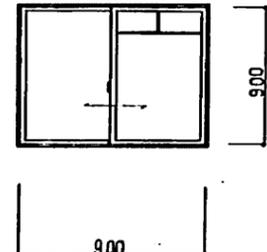
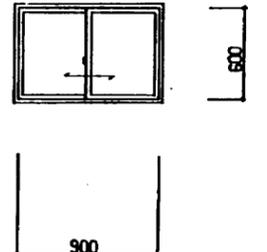
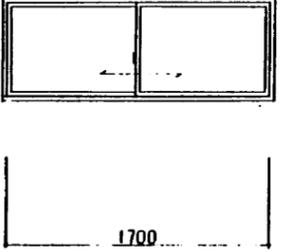
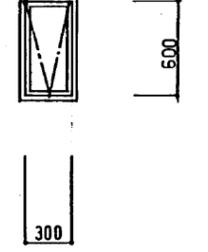
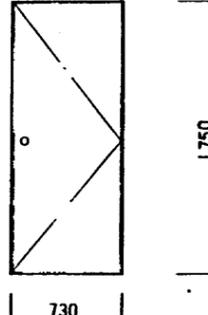
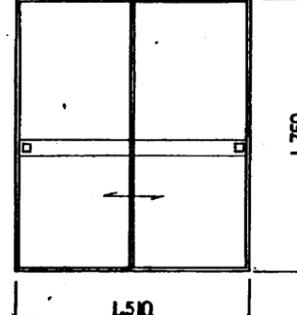
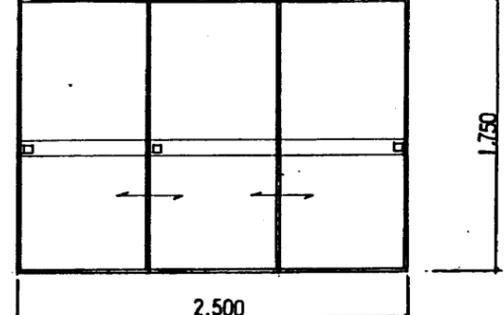
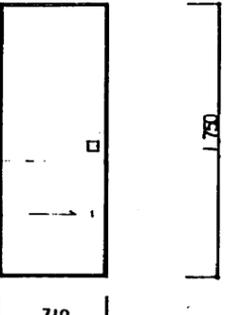
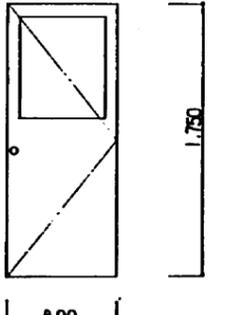
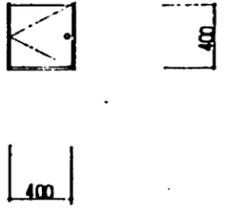
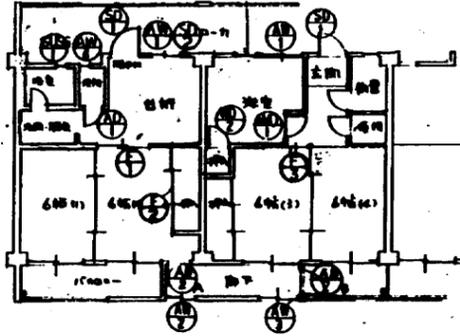
バランス釜 ガード 1/10

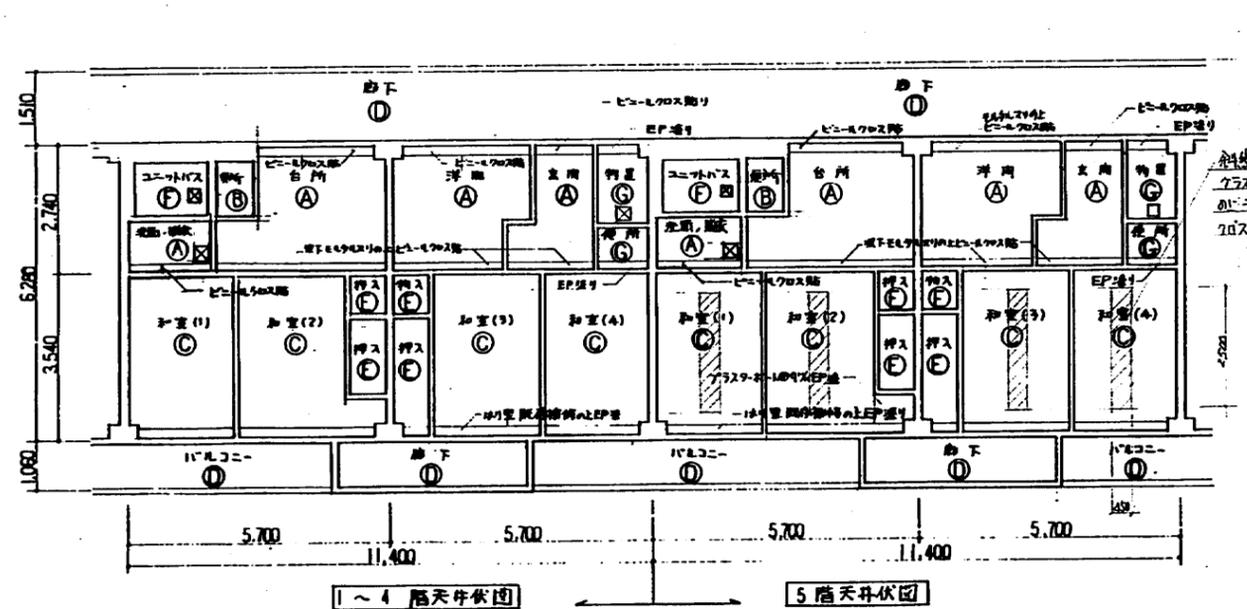
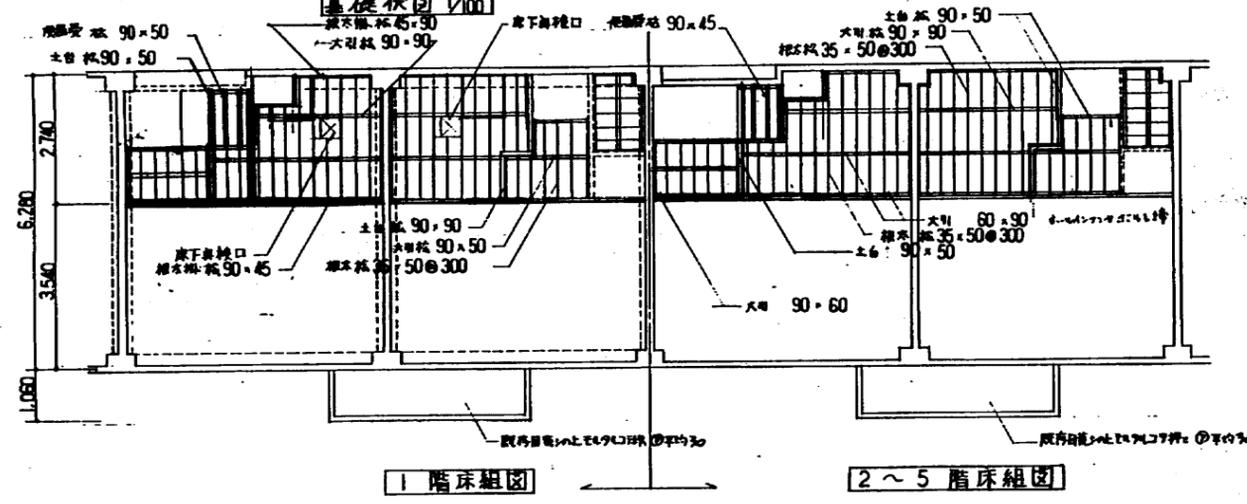
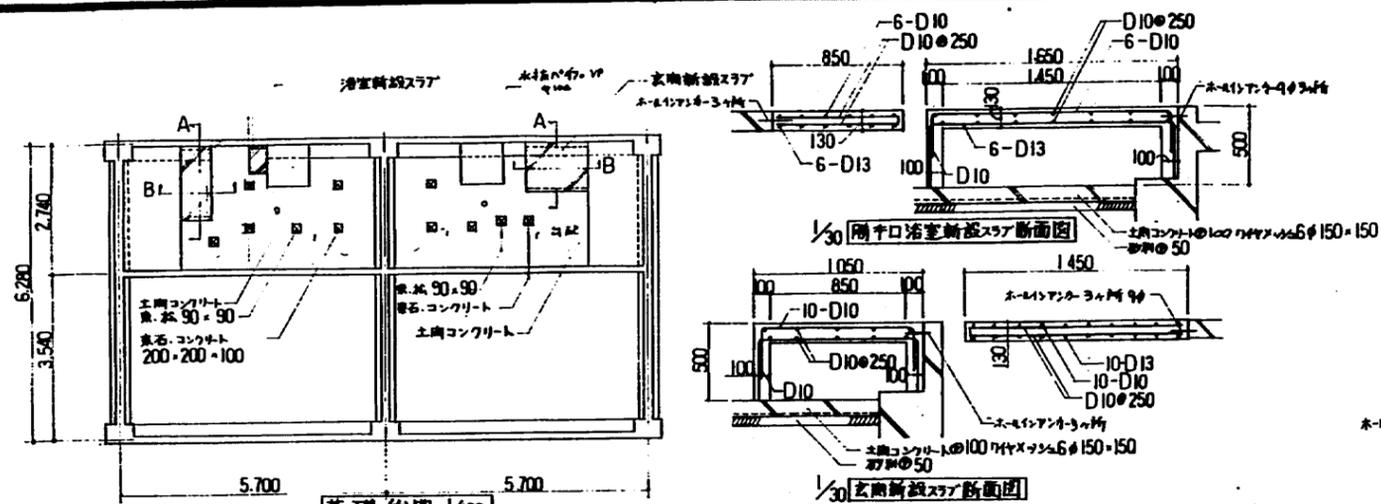
* 各寸法は現場実測と設計を打合せのうえ  
施工のよし



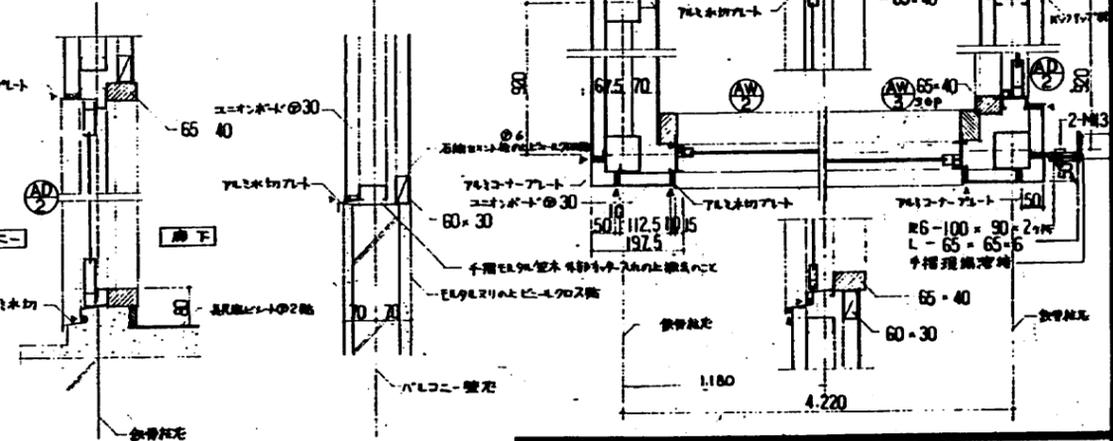
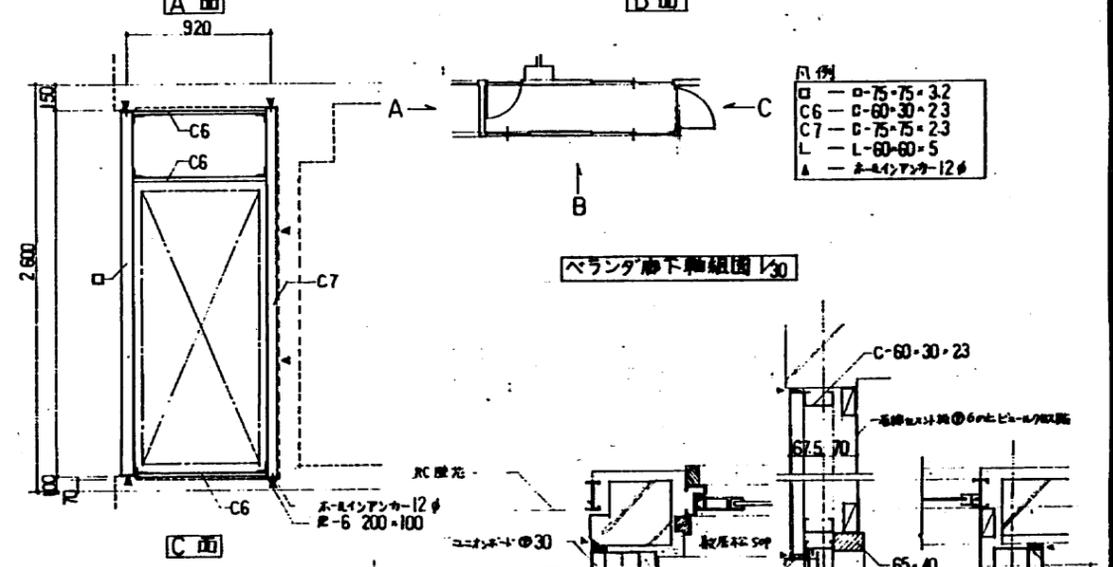
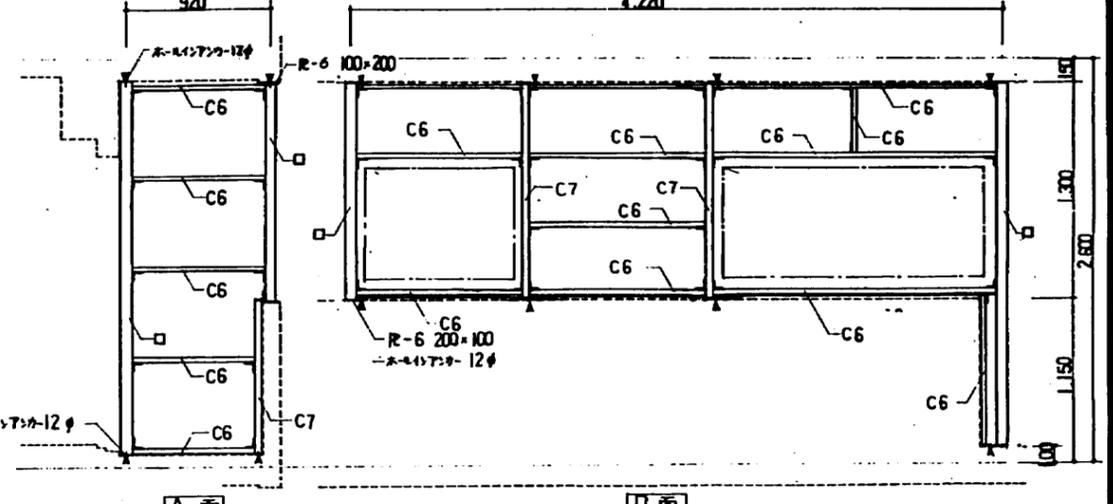
公営住宅 2年度設計図			
京都府土木建築部建築課	向日台 団地		
課長	主幹	係長	調査

府営住宅 2年度設計図		5号棟 型	
所在地	向日台(京都市)	1F89	1/50
工事区分	建築工事	縮尺	1/50
図名	展開図 No.2	設計	京都府土木建築部住宅課
設計	年月日	監製	年月日
トレース	年月日	製図	年月日

<p>部材仕上 附属金物</p> <p>ガラス 備考</p> <p>⑤D ステンレス製片両キフラッシュドア BL-K仕様ニ準じ 見込 枠80% 厚36% 全上 OP塗 カムロック付 錠付錠 (取付用) 両心錠 防犯カシオン錠付 錠付錠 7番 F770-9 防犯錠付 (17M/P)</p> <p>玄関 勝手口、壁面表示記入 ※玄関 勝手口は同一錠付。</p> 	<p>⑤E ステンレス製浴室用窓 (SUSG/10S) BL-K仕様ニ準じ 見込 枠25% 全上 SUS 304 可動ガラス 内側シロップヒンジ 錠付ハンドル 細入型ガラス (17) 6.8% 浴室 アミ付付 (固定) ※アルミ 確縁取付。</p> 	<p>⑤F アルミ製片両キフラッシュドア 見込 枠50% 厚33% ポリエチレン化樹脂板 丸型把手、ガラスロウ付錠付 7番 明り付、YZ 新設取付</p> 	<p>⑤G アルミ製片両戸 (BLK 0775) BL-K仕様ニ準じ 見込 枠60% 厚30% 全上 丸型把手、ガラスロウ付錠付 7番 A型板ガラス (17) 4% 細入型ガラス (17) 4% 防犯シロ付 (17) 3% 防犯錠付 ガラスロウ付</p> 	<p>⑤H アルミ製引違窓 (BLK 0909S) BL-K仕様ニ準じ 見込 枠60% 全上 錠付カシオン 戸身 ハズレハ 可動アミ付用ヒール 小窓 細入型ガラス (17) 4% 台内、洋室 可動アミ付付 (台内のみ) 27M/P</p> 	<p>⑤I アルミ製引違窓 (0906) BL-K仕様ニ準じ 見込 枠60% 全上 カシオン 戸身 ハズレハ 可動アミ付用ヒール (17) のみ 錠付 細入型ガラス (17) 4% ベランダ側ロウ付 可動アミ付付 台内、洋室</p> 																														
<p>部材仕上 附属金物</p> <p>ガラス 備考</p> <p>⑤J アルミ製引違窓 (11706) BL-K仕様ニ準じ 見込 枠60% 全上 カシオン 戸身 ハズレハ 可動アミ付用ヒール (17) のみ 錠付 細入型ガラス (17) 4% ベランダ側ロウ付 可動アミ付付 台内、洋室</p> 	<p>⑤K アルミ製引違窓 (0306) BL-K仕様ニ準じ 見込 枠60% 全上 内側シロップヒンジ 錠付ハンドル 細入型ガラス (17) 6.8% 台内 アミ付付 (固定)</p> 	<p>⑤L 木製フラッシュ戸 (BLF-1A) BL仕様ニ準じ 見込 厚33% 全上 洋室側ヒール付 物入れBL仕様の3.3 7番 レバーストップ付 把手</p> 	<p>⑤M 引違フスマ 公団仕様ニ準じ 見込 21% 和室側: 新島3号 台内側: フスマ紙 (L=4) 引手片面</p> 	<p>⑤N 引違フスマ 公団仕様ニ準じ 見込 21% 新島3号 引手片面</p> 																															
<p>部材仕上 附属金物</p> <p>ガラス 備考</p> <p>⑤O 片引フスマ 公団仕様による 見込 21% 和室側: 新島3号 洋室側: フスマ紙 (L=4) 引手片面</p> 	<p>⑤P 木製片両キフラッシュドア BL仕様による 見込 厚33% 全上 玄関、洋室側ヒール付 7番 モノロウ付錠付 戸あり 要ガラス ④4% 玄関</p> 	<p>⑤Q ステンレス製片両アスト 見込 厚60 S.Q.P.塗 全上 ロウ付錠付 錠付 ステンレス付 ※ガラス ④4% 玄関</p> 	<p>⑤R キープラン</p>  <p>特記 BL-K 取付用金物、錠付用ヒール、錠付用ガラスロウ付錠付は、台内側ロウ付錠付ニ準じ、台内側ロウ付錠付 の作成上、A型ガラスロウ付。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">府営住宅 2年度設計図</td> <td colspan="2">5号棟</td> <td>型</td> </tr> <tr> <td>図地名</td> <td>四国台(中野区)</td> <td>1/20</td> <td>1/20</td> <td>A22/51</td> </tr> <tr> <td>工事区分</td> <td>建築工事</td> <td>縮尺</td> <td>1/20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>図名</td> <td>要図集</td> <td>製図</td> <td>1/20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>京都市土木建築部住宅課</td> <td>製図</td> <td>1/20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トレース</td> <td>年月日</td> <td>製図</td> <td>1/20</td> <td></td> </tr> </table>			府営住宅 2年度設計図		5号棟		型	図地名	四国台(中野区)	1/20	1/20	A22/51	工事区分	建築工事	縮尺	1/20		図名	要図集	製図	1/20		設計	京都市土木建築部住宅課	製図	1/20		トレース	年月日	製図	1/20	
府営住宅 2年度設計図		5号棟		型																															
図地名	四国台(中野区)	1/20	1/20	A22/51																															
工事区分	建築工事	縮尺	1/20																																
図名	要図集	製図	1/20																																
設計	京都市土木建築部住宅課	製図	1/20																																
トレース	年月日	製図	1/20																																

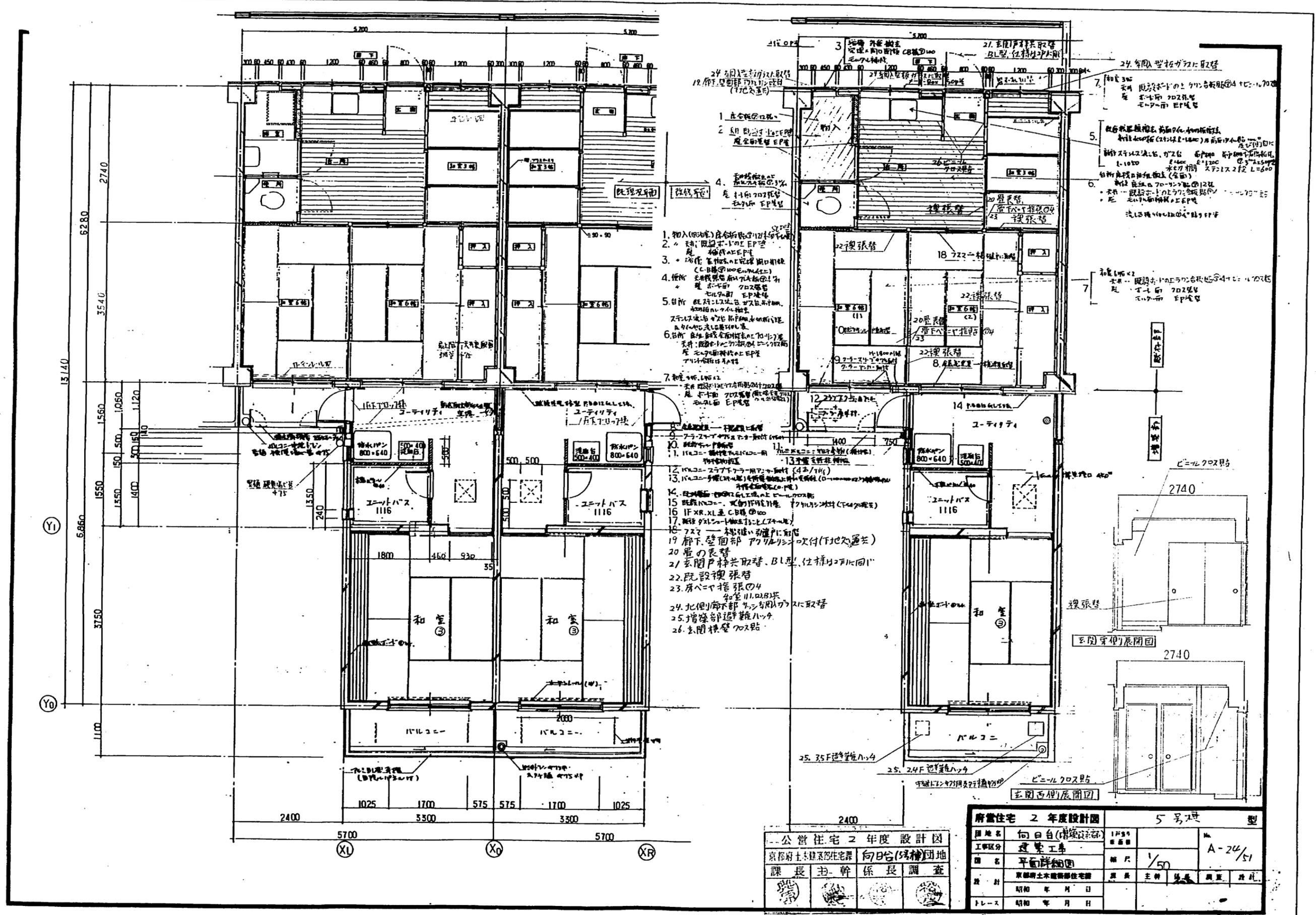


- 凡例
- ① - 化粧アスターボードの9%貼
  - ② - 石膏7.5mmボードの4%貼EP塗り
  - ③ - 既設ものにポリウレタンフォームの4%貼、ビニル70%貼
  - ④ - アクリルリシンコート
  - ⑤ - 既存のまま
  - ⑥ - ユニットバス
  - ⑦ - 両孔7.5mmボードの4%貼 EP塗り
  - ⑧ - 天井金網口(注: 取付位置は設備傳書の指示による)



公営住宅 2 年度 設計図  
 京都市土木建築局 向月台 団地  
 課長 主任 係長 調査

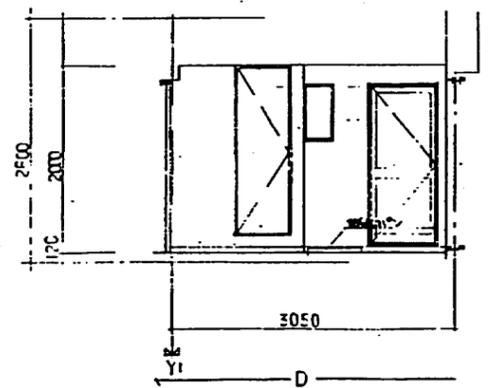
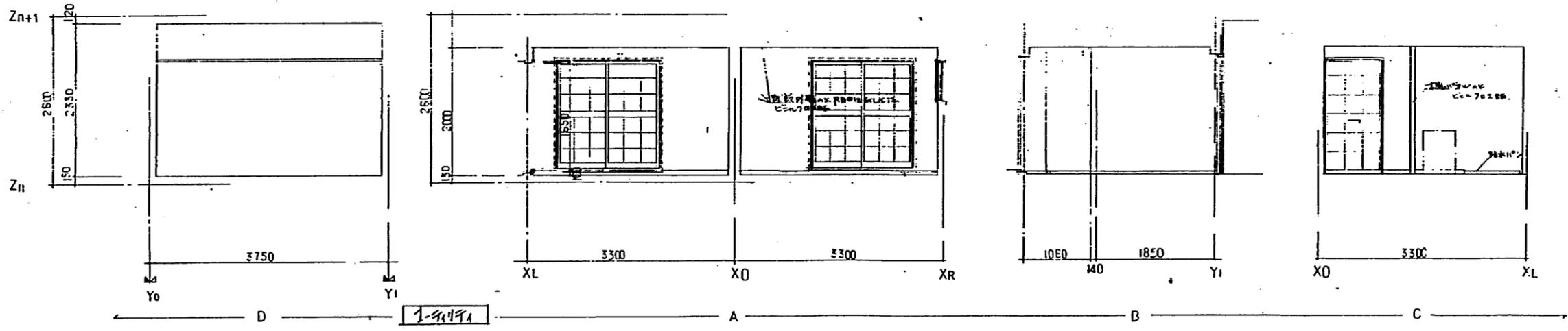
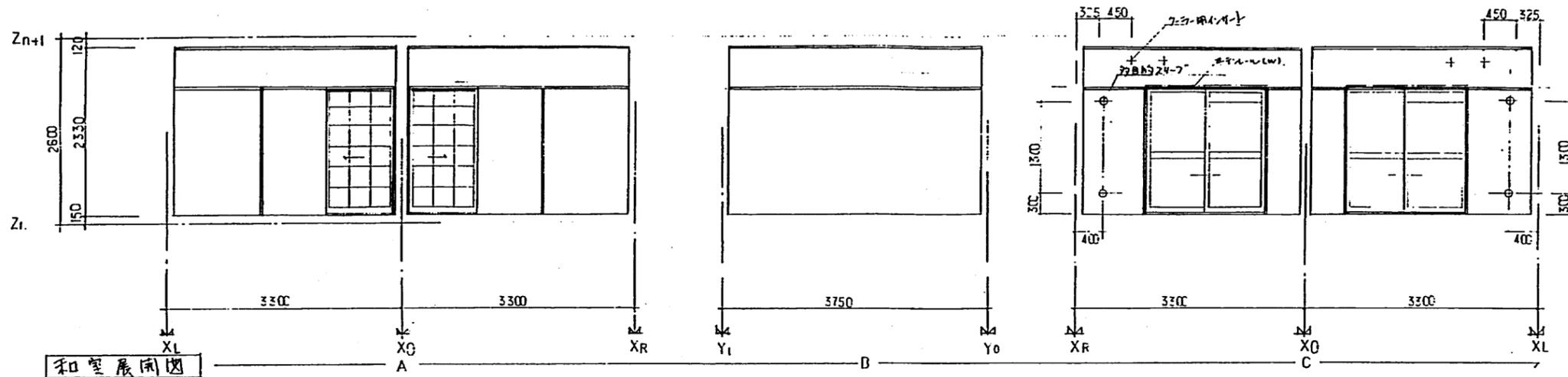
府営住宅 2 年度設計図		5 号棟 型	
団地名	向月台 (27/17 団地)	1F 階	A23/51
工事区分	建築工事	縮尺	
図名	伏図: 詳細図	図長	主幹 係長 調査 設計
設計	京都市土木建築局住宅部	年月日	
トレス	年月日		



1. 在合板の口取
2. 在合板の口取
3. 在合板の口取
4. 在合板の口取
5. 在合板の口取
6. 在合板の口取
7. 在合板の口取

8. 在合板の口取
9. 在合板の口取
10. 在合板の口取
11. 在合板の口取
12. 在合板の口取
13. 在合板の口取
14. 在合板の口取
15. 在合板の口取
16. 在合板の口取
17. 在合板の口取
18. 在合板の口取
19. 在合板の口取
20. 在合板の口取
21. 在合板の口取
22. 在合板の口取
23. 在合板の口取
24. 在合板の口取
25. 在合板の口取

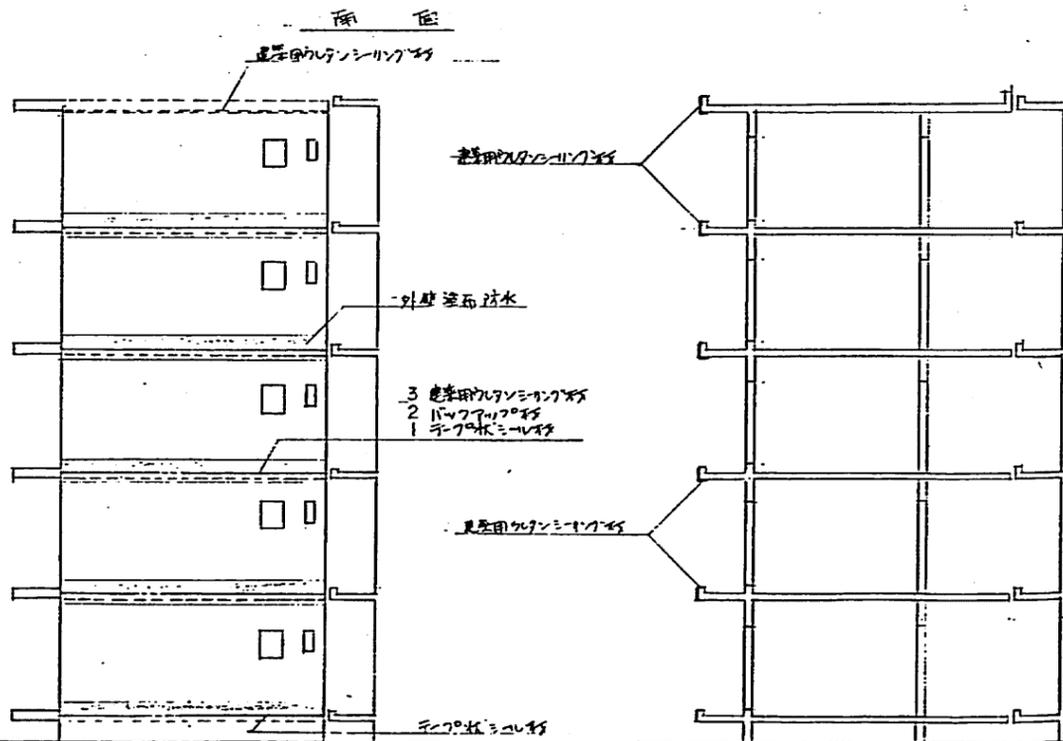
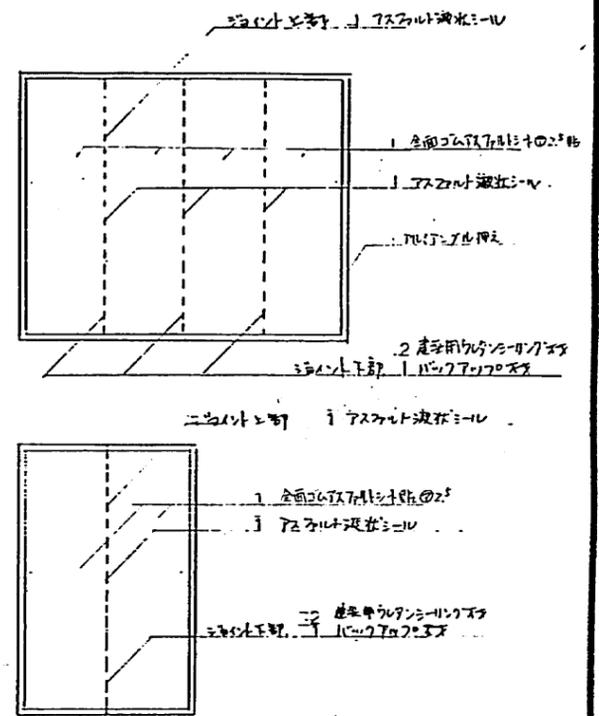
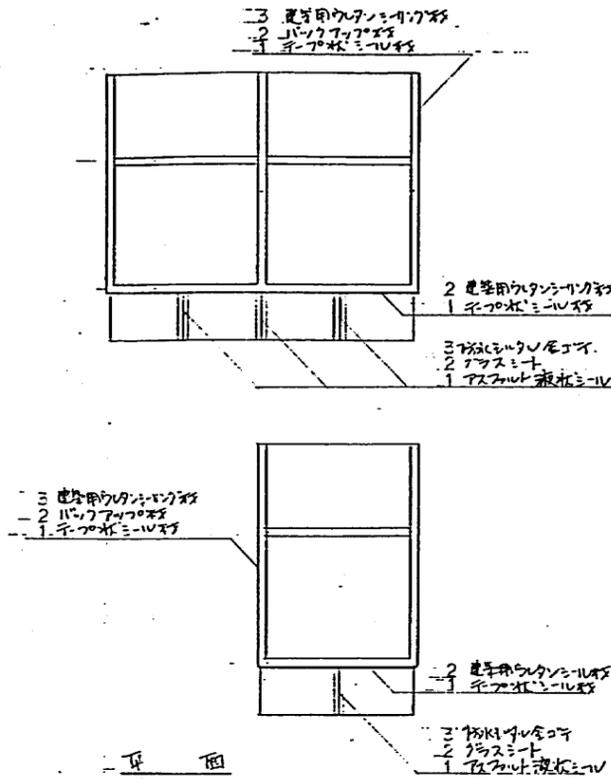
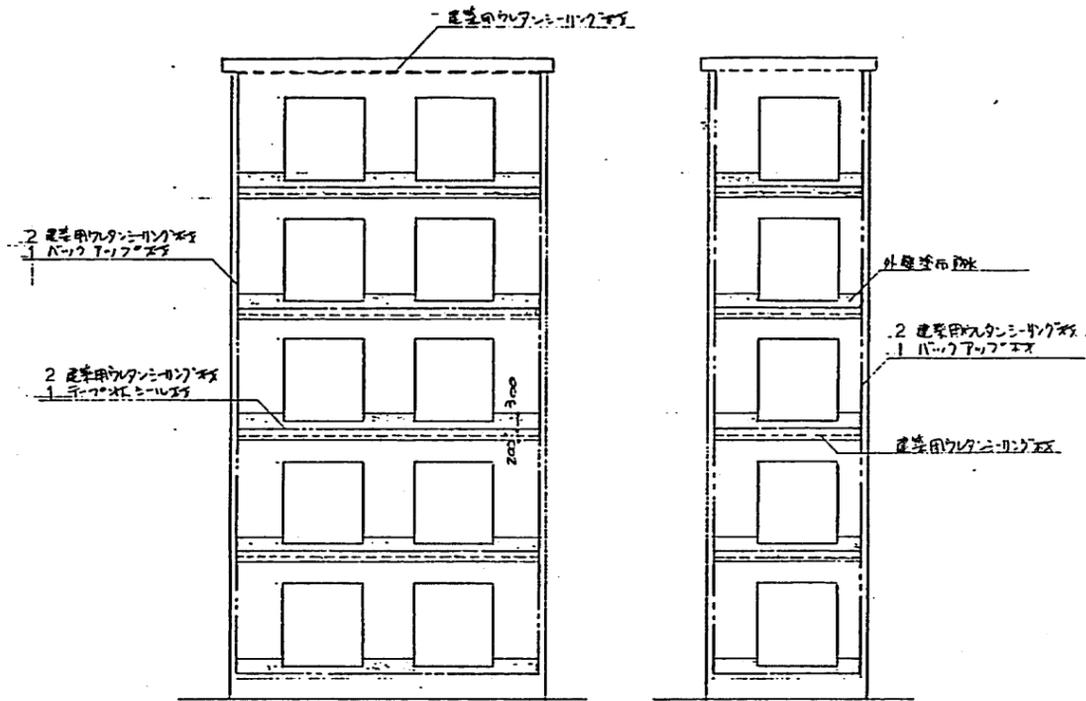
<b>公営住宅 2 年度設計図</b> 京都市土木建築部住宅課 向日台(増築)団地 課長 中 幹 係長 調査		<b>府営住宅 2 年度設計図</b> 5 号 2 型	
団地名 向日台(増築)団地 工事区分 建築工事 図名 平面詳細図 設計 京都市土木建築部住宅課 昭和 年 月 日 トレース 昭和 年 月 日	1/50 A-24/51	主 幹 係長 調査	



公営住宅 2 年度 設計図			
京都市土木建築部	向日台 団地		
課長	主幹	係長	調査

公営住宅 1 年度 設計図			
京都市土木建築部	向日台 団地		
課長	主幹	係長	調査

公営住宅 2 年度 設計図		5 号 種		型
団地名	向日台(標準)	1F 5号		種
工事区分	足場工事			A-25/1
図名	展開図	原尺		
設計	京都市土木建築部住宅課	原尺	主幹	係長
トレース	昭和 年 月 日			



部 位	材 質	材 料	備 考
屋 根	根一枚コンクリート	1. アスベスト	B型防水シロウ(1.5mm厚)
	下地	1. 平ワケシロウ	
バルコニー	根一枚コンクリート	1. アスベスト	(1.5mm厚)
	下地	1. 平ワケシロウ	
	手摺	建築用ケレンシロウ	
外 壁	根一枚	1. 平ワケシロウ	外壁面防水 2.0mm厚
	根一枚(厚板)	建築用ケレンシロウ	
	・ (厚 - 厚)	1. 平ワケシロウ	
	・ (厚 - 薄)	1. 平ワケシロウ	
	・ (薄 - 薄)	1. 平ワケシロウ	
コーキング	防水シロウ	建築用ケレンシロウ	

1. アスベストシロウ : 70シロウと同等以上の性能を有する品を使用。  
 2. 平ワケシロウ : 厚さ1.5mm以上のコンクリート製とし、1.5mm厚の防水シロウを貼る。  
 3. 建築用ケレンシロウ : 2液硬化型を使用する。  
 4. 平ワケシロウ : 丸目木板の裏面に貼付し、5年以内の劣化を防止する。  
 5. アスベストシロウ : 70シロウと同等以上の性能を有する品を使用。

府営住宅 2 年度設計図				型	
団地名	向日台5号棟	1/100		A-26/51	
工事区分	建築工事				
図名	防水図	縮尺	1/100		
設計	京都府土木建築部住宅課	課長	主幹	係長	調査
トレス	昭和 年 月 日				

公営住宅 2 年度設計図  
 京都府土木建築部住宅課 向日台 団地  
 課長 主幹 係長 調査



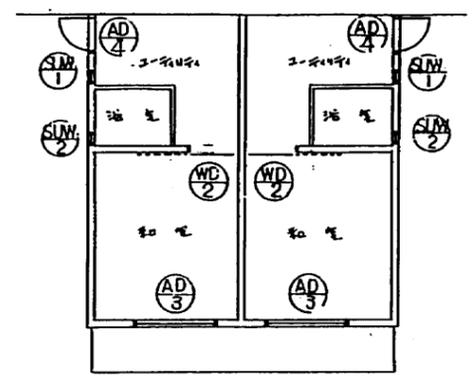




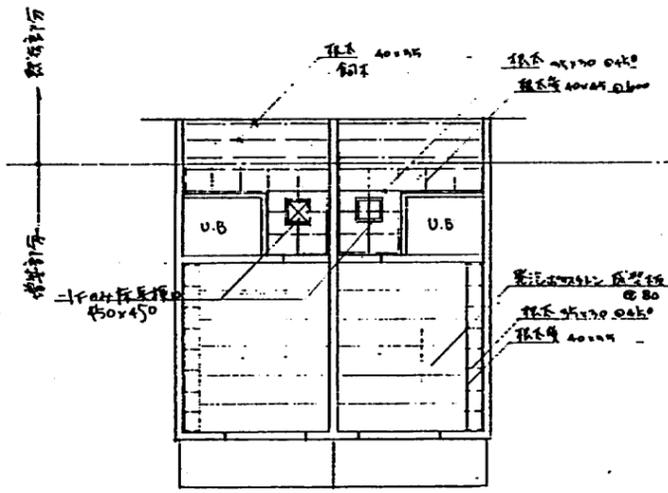
建築リスト 1/50

符号・種類・記号	AD3 引込戸 60%	AD4 片開戸 60%	SUM1 上部開戸付押入れ 25%	SUM2 押入れ用窓 (兼物置窓) 30%	WD2 片開戸 30%
断面					
場所・旧数	和室	コナリヤ	1-211和	浴室	和室
材料・仕工	AL型材 BL仕掛入り	全 在	AL型材 BL仕掛入り	全 在	木製 CL
硝子	上端1×12× 下端電線4% 処理なしのガラス仕掛入り	型硝子4% 網入り硝子3.0	型硝子4% 網附	網入り型硝子 6.5% 網附	770L硝子板φ2.0 (乳白電)
附属物・備考	附属金物一式 下付網入り硝子 1700mm 縦行2×2寸硝子 網附	附属金物一式 網入り硝子 硝子可電線処理なしの硝子(4.7-7-1行)	附属金物一式	附属金物一式	硝子板厚み別子 L40 硝子 硝子板厚み別子 L40 硝子 硝子板厚み別子 L40 硝子

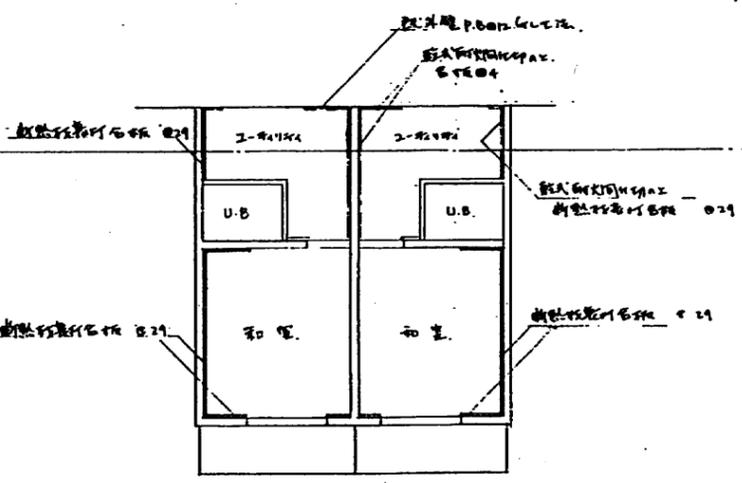
(註) 硝子工事床見付図は別図参照



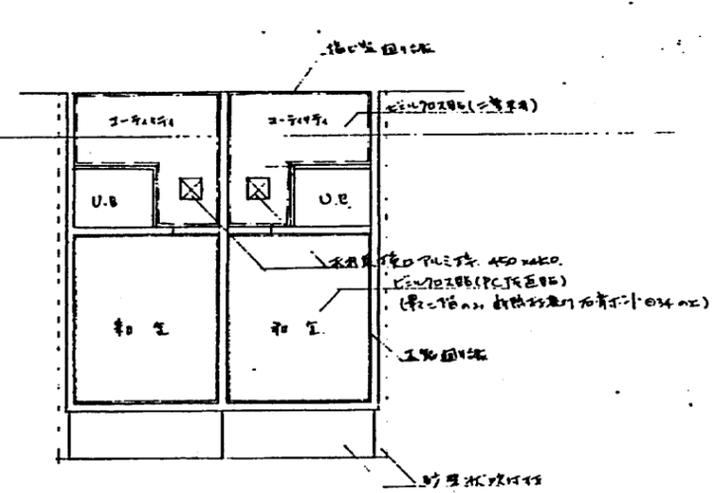
建築仕掛図 1/100



採光図 1/100



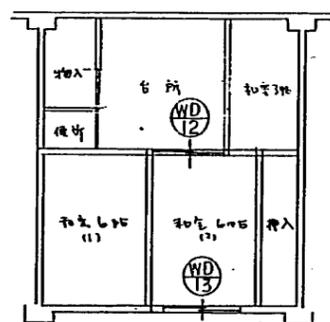
断取図 1/100



天井取図 1/100

公営住宅 2 年度 設計図			
東京都土木建築部住宅課	向日台 団地		
課長	主幹	係長	調査

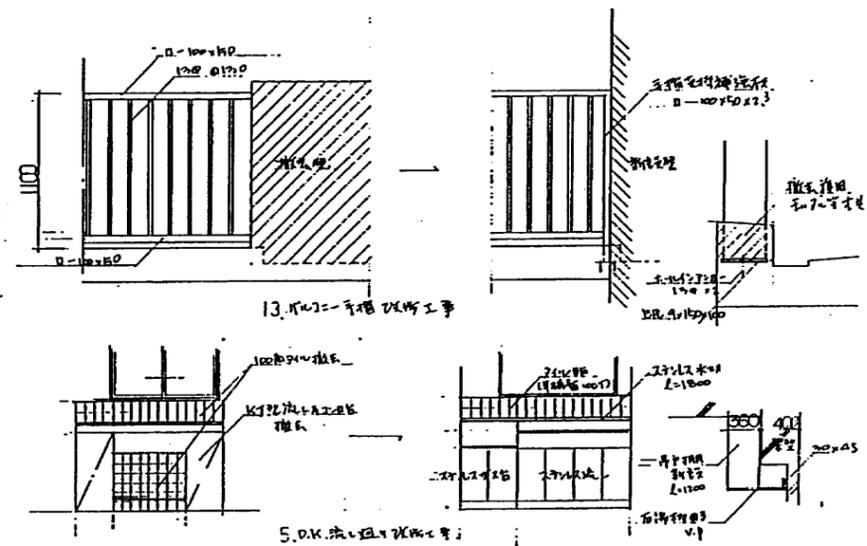
府営住宅 2 年度設計図	5 号棟		型
団地名	向日台(港側)	1F 部	A-30/51
工事区分	建築工事	床面積	
図名	建築仕掛仕掛各仕掛	縮尺	1/50, 1/100
設計	東京都土木建築部住宅課	原案	主幹・係長 調査 設計
トレス	昭和 年 月 日		



既存改修部器具位置 1/100

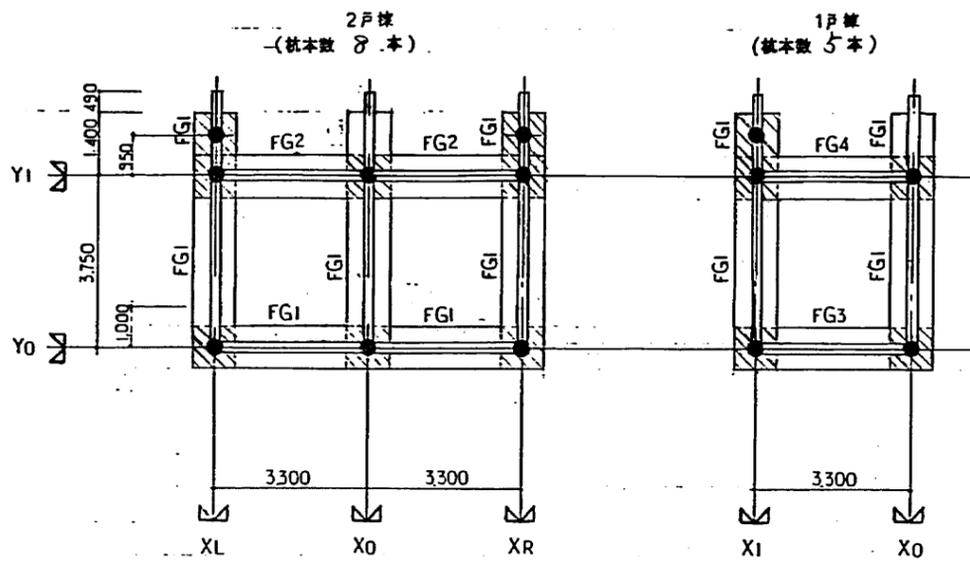
既存改修部器具位置 1/50 窓枠改修部器具位置 1/50 窓枠改修部器具位置 1/50

	WD12 引造り 硝子扉 30%	WD13 引造り 硝子扉 30%
幅	1590	1650
高さ	1750	1725
場所	和室L45 (1)	和室L45 (1)
材料仕上	木製 C.L.	木製 C.L.
硝子	7mm 硝子 (乳白色)	S 硝子
付帯設備	和室L45 (1) 硝子扉 和室L45 (1) 硝子扉	S 硝子



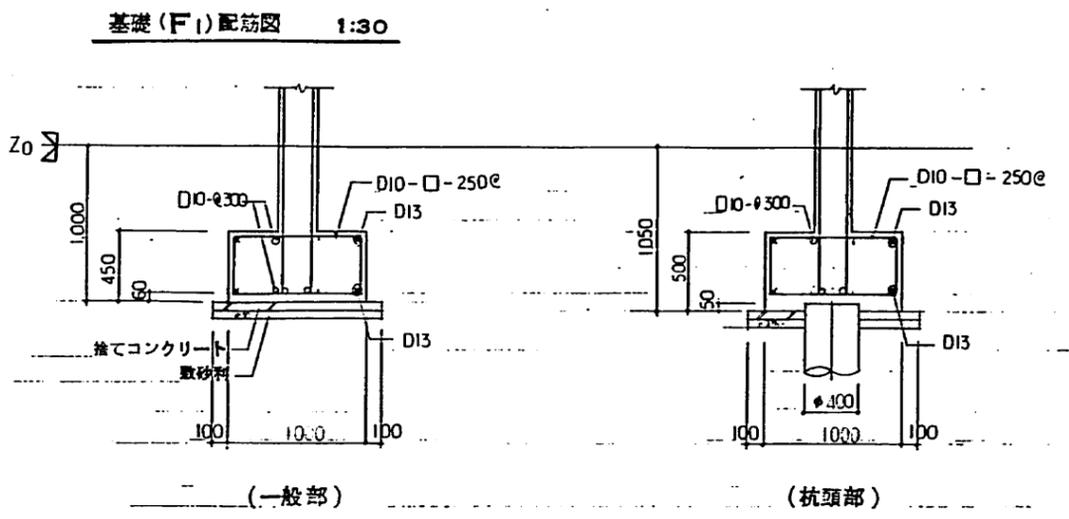
公営住宅 2 年度 設計図			
京都府土木建築部住宅課	向日台 団地		
課長	主幹	係長	調査

府営住宅 2 年度設計図		5 号棟		型	
団地名	向日台 (南東公団)	1F 509		No. A-31/51	
工事区分	改修工事	階数			
図名	既存改修部器具位置	図尺			
設計	京都府土木建築部住宅課	調査	主幹	調査	設計
トレース	昭和 年 月 日				



杭・基礎伏図 1:100

特記なき限り基礎符号 F1 とする

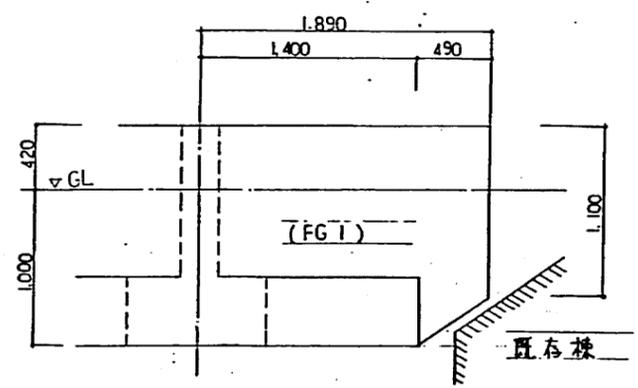


(一般部) (杭頭部)

基礎梁リスト 1:30 中止筋 D10-750e

符号	FG1	FG2	FG3	FG4
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面				
上端筋	2 - D16	4 - D19	2 - D19	4 - D19
下端筋	2 - D16	4 - D19	2 - D19	4 - D19
腹筋	8 - D10	8 - D10	8 - D10	8 - D10
スタップ	D10 - □ - 250e	D10 - □ - 250e	D10 - □ - 250e	D10 - □ - 200e

- (共通事項)
- ・基礎底 Z₀-1000
  - ・杭径 φ400
  - ・杭耐力 60t/本
  - ・杭種 PHC杭 (B種5本, C種8本)
  - ・杭長 L=9.0m (杭先端) Z₀-10.0
  - ・杭工法 T-スチール併用カセツキ工法



既存棟~道等棟取合図 1:30

公営住宅 2 年度設計図

京都府土木建築住宅課 向日台 団地

課長 主幹 係長 調査

府営住宅 2 年度設計図

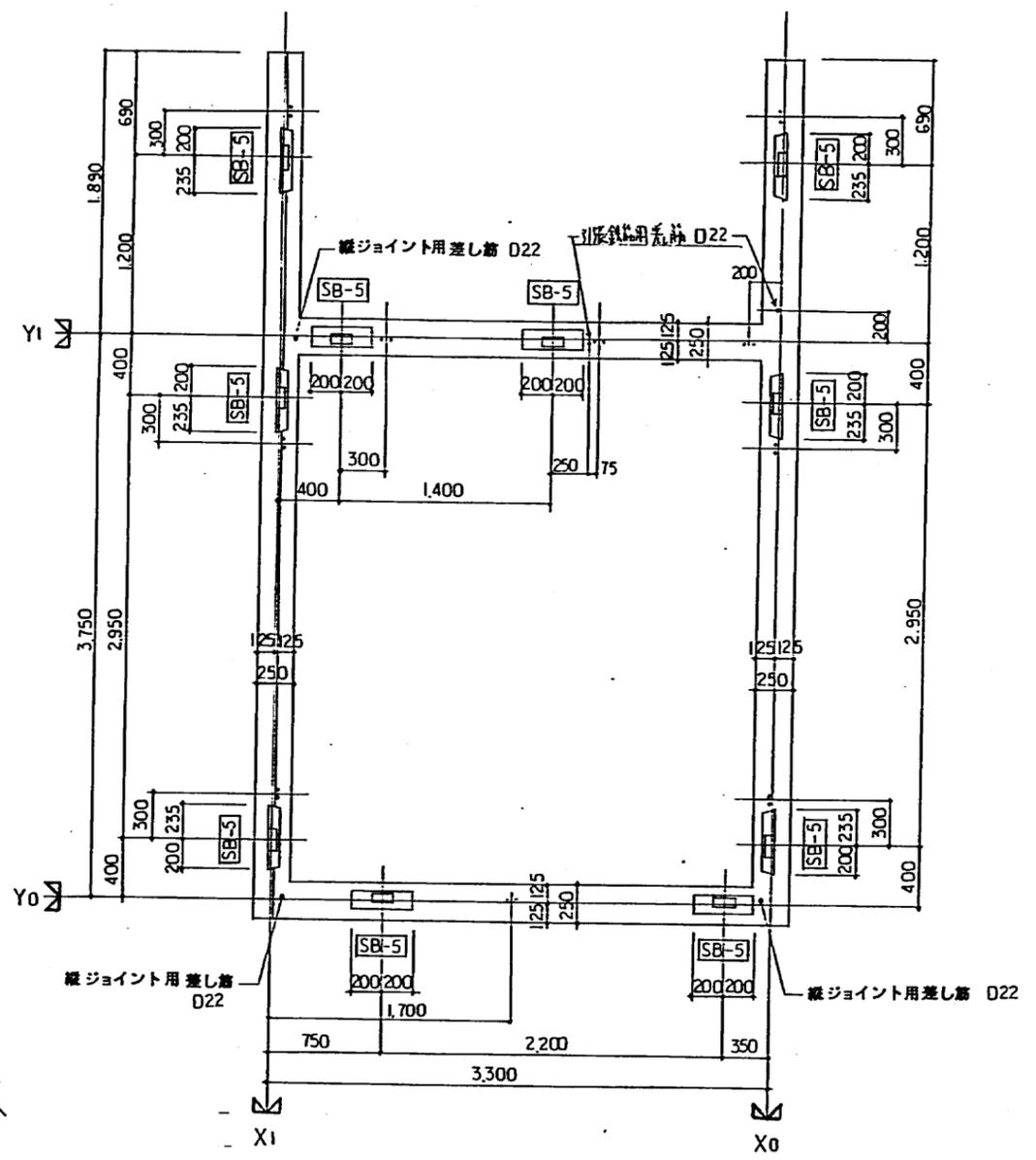
団地名 向日台5号棟 1戸30 床面積

工事区分 建築工事

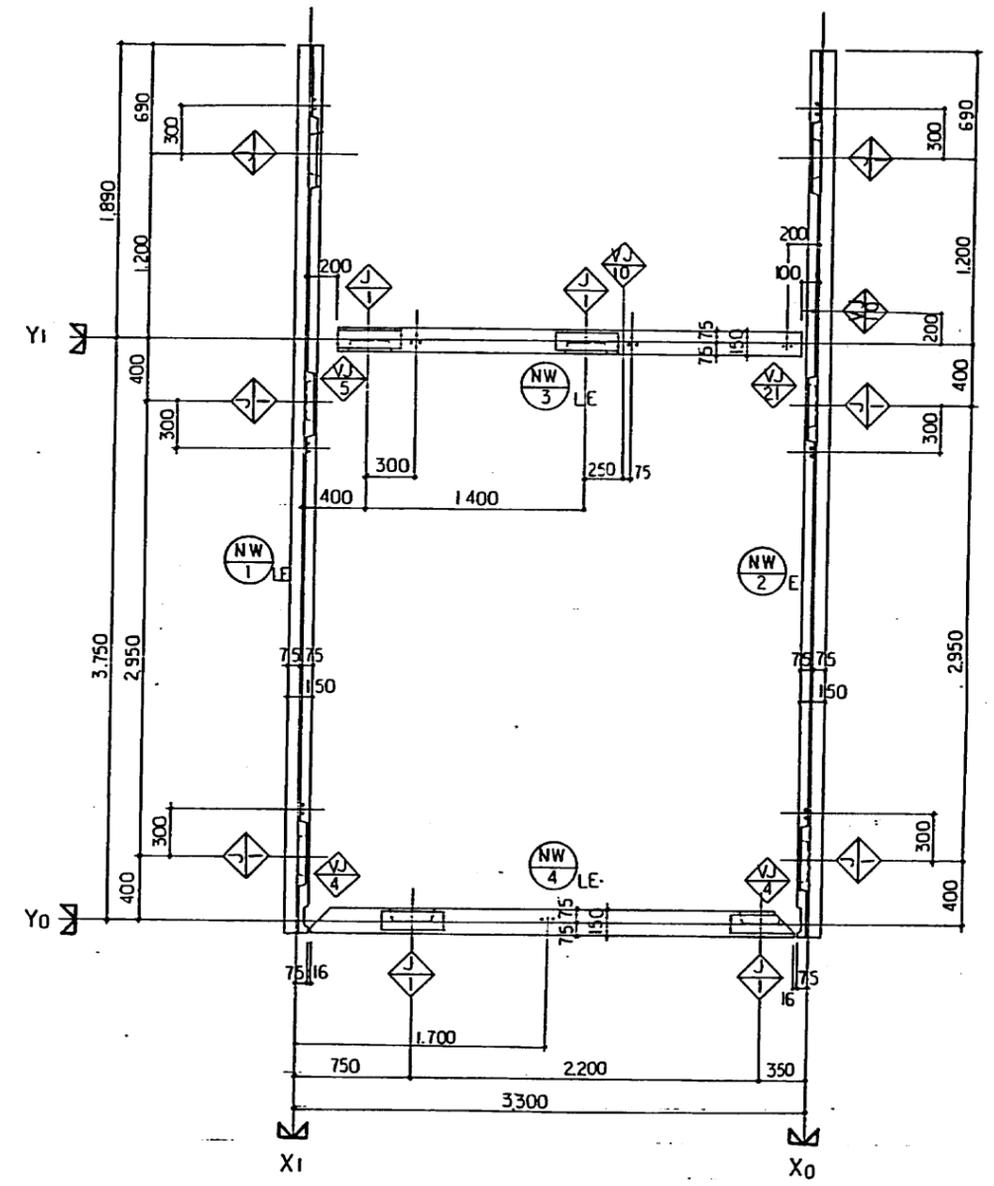
図名 杭基礎伏図, 基礎梁リスト 版尺 1:30 No. A-32/51

設計 京都府土木建築住宅課 課長 主幹 係長 調査 設計

トレス 昭和 年 月 日



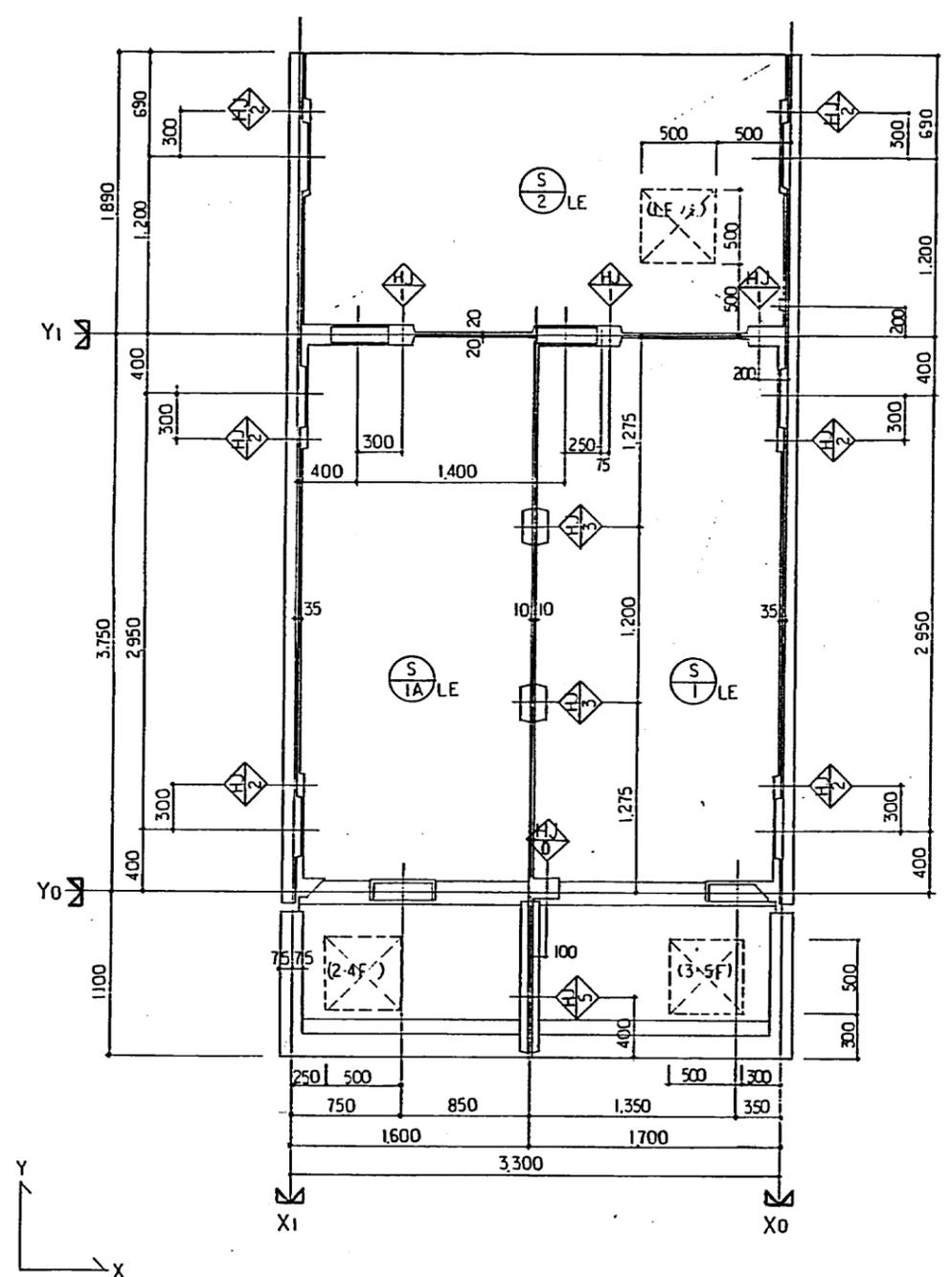
基礎組立図 1:30



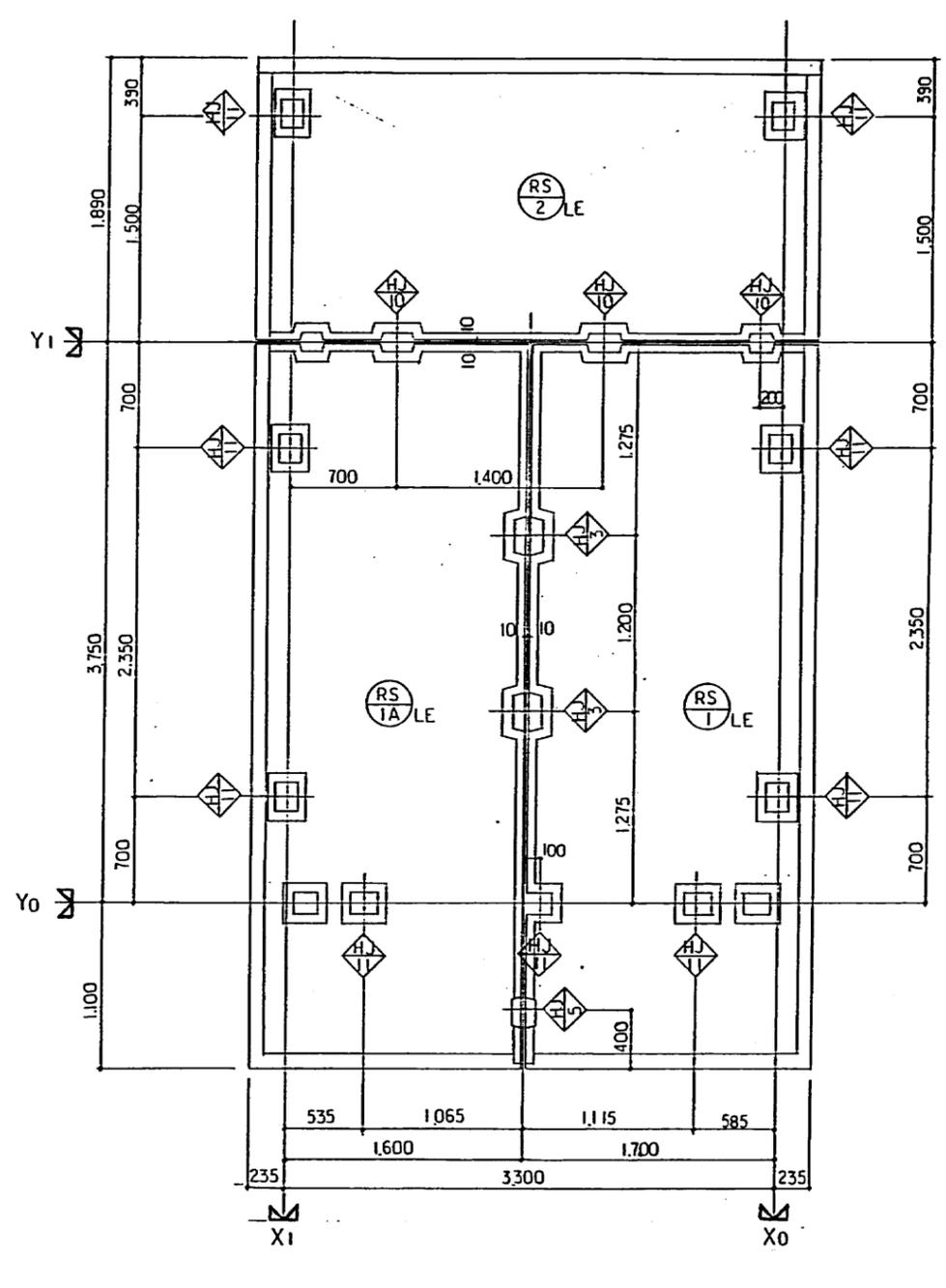
壁板組立図 1:30

公営住宅 2 年度 設計図			
京都府土木建築部住宅課	向日台 団地		
課長	主幹	係長	調査

府営住宅 2 年度設計図				型	
団地名	向日台 5号棟	1F 4F 床面積		No. A-33/51	
工事区分	基礎工事	縮尺	1:30		
図名	基礎・壁板組立図	課長	主幹	係長	調査
設計	昭和 年 月 日				
トレース	昭和 年 月 日				



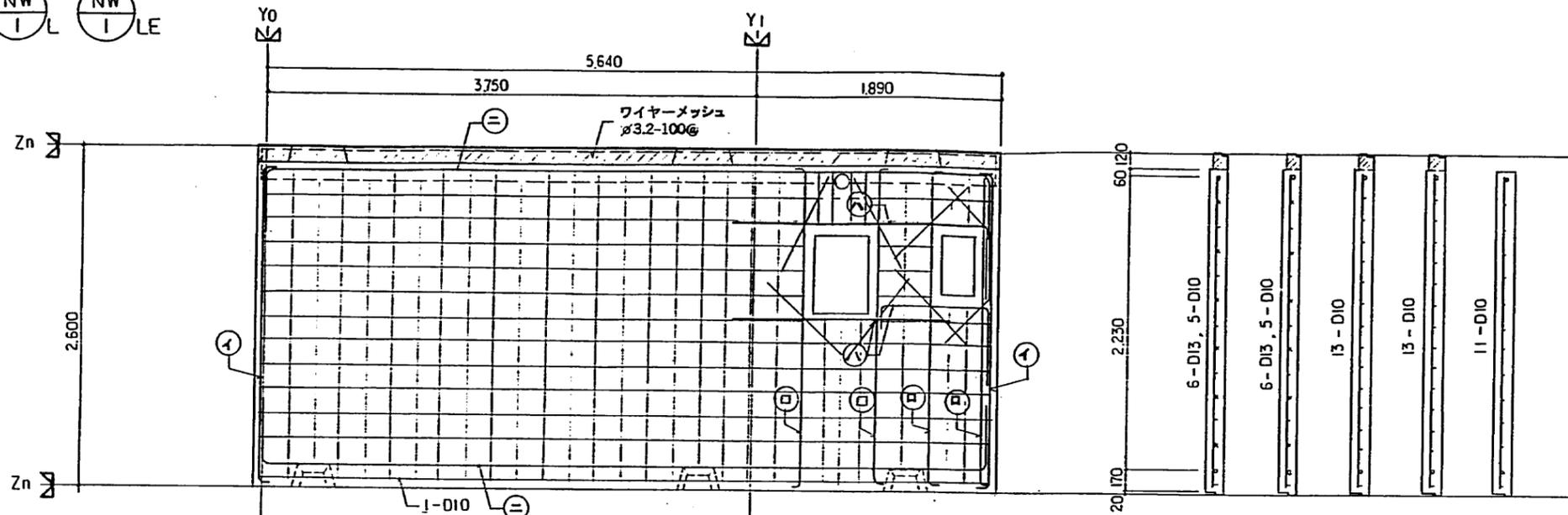
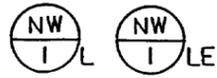
床板組立図 1:30



屋根板組立図 1:30

公営住宅 2 年度 設計図			
京都府土木建築部住宅課	向日台 団地		
課長 主幹	係長 調査		

府営住宅 2 年度設計図			型
団地名	向日台 5号棟	1戸50 年面積	No. A-34/51
工事区分	建築工事	縮尺	
図名	床板・屋根板組立図	課長	主幹
設計	京都府土木建築部住宅課	係長	調査
シレース	昭和 年 月 日		



階	補強筋	配筋
5階	4.162	20-D10
4階	90 450 90 333 90 250 40	2-D13 2-D10 1-D10 2-D10
3階		2-D13 2-D10 1-D10 2-D10
2階		10-D13, 10-D10 4-D13 1-D13 1-D13, 1-D10
1階		10-D13, 10-D10 4-D13 1-D13 1-D13, 1-D10

配筋表 (開口部斜め補強筋 D10, 2=800)

階	補強筋				配筋 (注・横・共)	セッティングベース 埋込み金物
	イ	ロ	ハ	ニ		
5階					D10 φ200 (シングル)	SB-3
4階					D10 φ170 (シングル)	
3階	1-D16	1-D16	1-D16	1-D16		
2階					D10, D13@200 (シングル)	
1階						SB-2

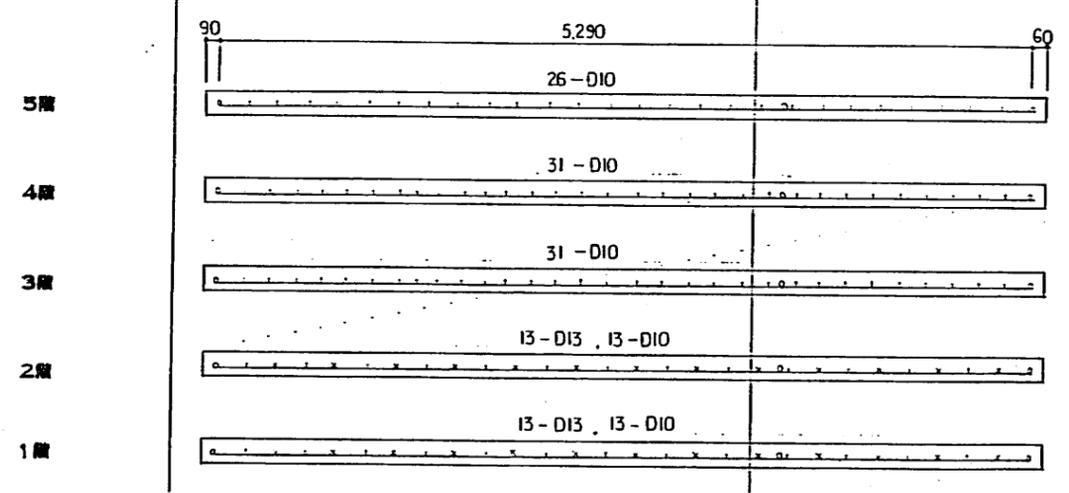
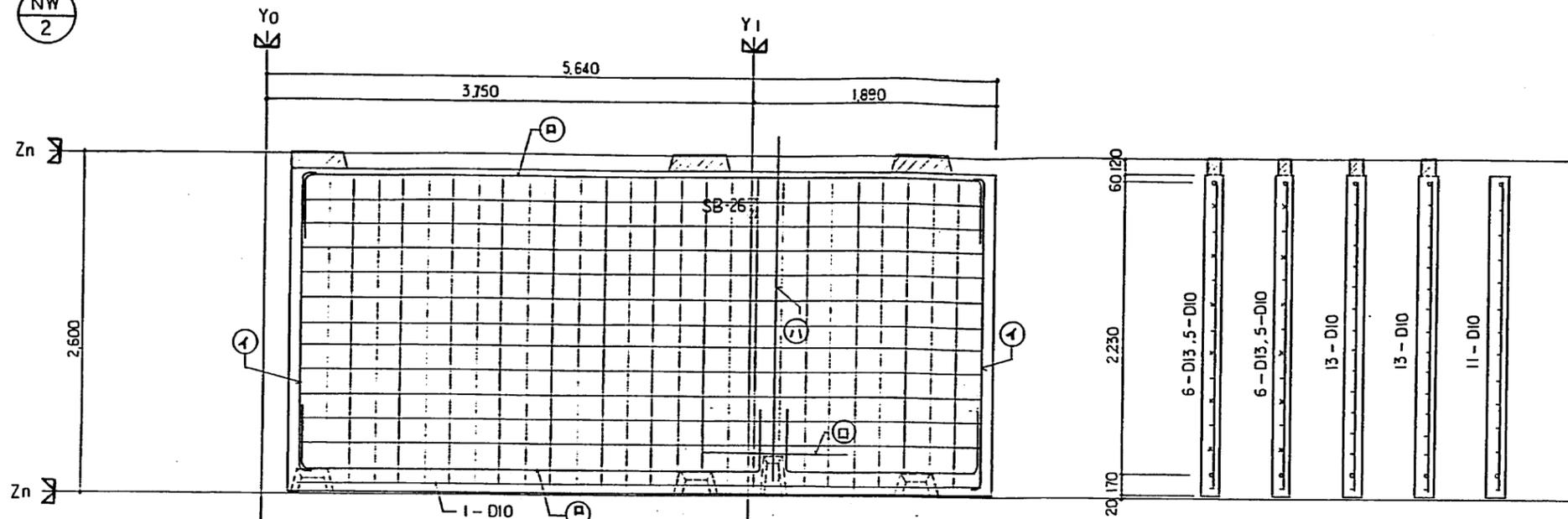
公営住宅 2 年度設計図

京都市土木建築局住宅課	向日台 団地		
課長	主任	係長	調査

府営住宅 2 年度設計図

団地名	向日台 5号棟	1戸50 室面積	No.	A-35/51
工事区分	建築工事	縮尺	1:30	
図名	配筋設計図	課長	主任	係長
設計	京都市土木建築局住宅課	調査	設計	
シース	昭和 年 月 日			

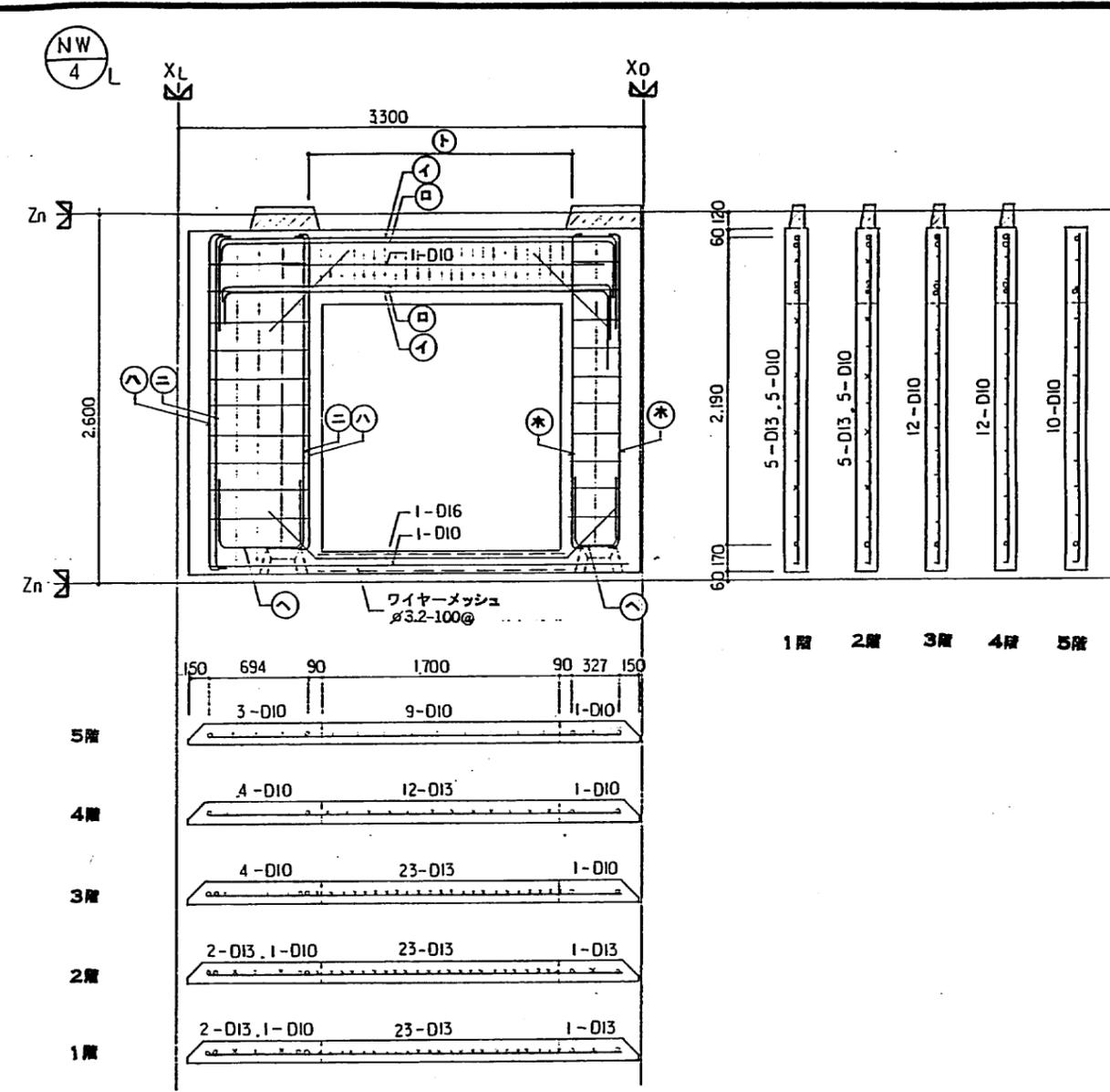
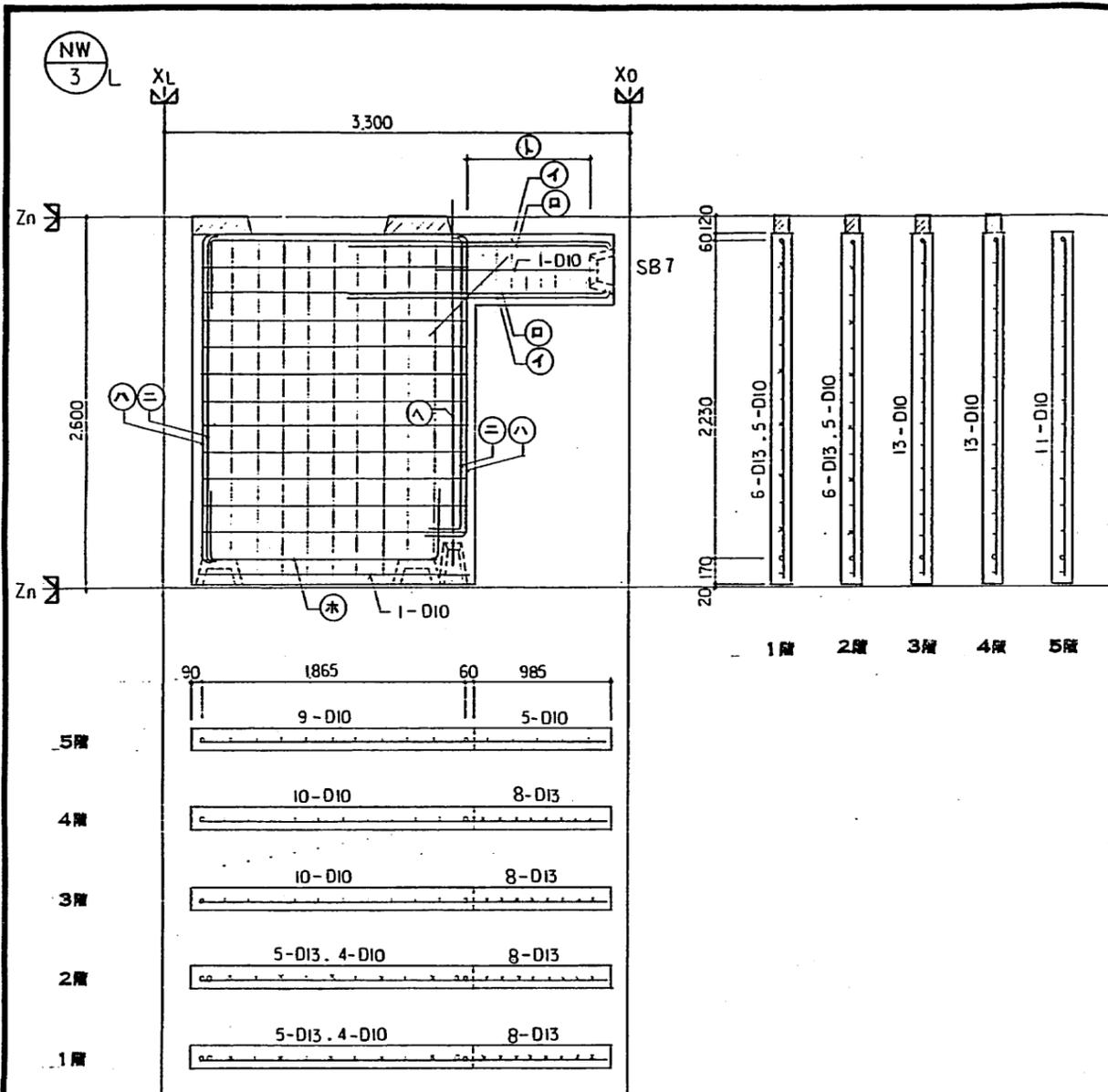
NW  
2



層	柱筋 (イ)	補強筋 (ロ)	引張筋 (ハ)	配筋 (縦・横・共)	セッティングベース 埋込み金物
5層			1-D16	D10 @ 200 (シヤ)	SB-3
4層				D10 @ 170 (シヤ)	
3層	1-D16	1-D16			SB-2
2層			1-D22	D10, D13 @ 200 (シヤ)	
1層					

京都府土木建築住宅課	向日台 団地
課長	主任係長 調査

団地名	向日台 5号棟	1F5F 配筋図	No.	A-36/51
工事区分	建築工事	縮尺	1:30	
図名	配筋図 2	課長	主任係長	調査 設計
設計	昭和 年 月 日			
トレース	昭和 年 月 日			



配筋表 (開口部斜め補強筋 D10, ℓ=800)

階	梁筋		柱筋				補強筋	引張筋	引張り筋	壁筋 (縦・横・共)	セッティングベース 埋込み金物
	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ					
5階	1-D16	1-D16					1-D16	D10-φ200	D10 φ200 (シングル)	SB-3	
4階									D10 φ170 (シングル)		
3階	1-D22	1-D19	1-D22		1-D16				D10 φ170 (シングル)		
2階				1-D16		1-D22	D13-φ150		D10, D13 φ200 (シングル)		
1階				1-D22					D10, D13 φ200 (シングル)		SB-2

配筋表 (開口部斜め補強筋 D10, ℓ=800)

階	梁筋		柱筋				補強筋	スターラップ	壁筋 縦・横・共	セッティングベース 埋込み金物
	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ				
5階							D10 φ200	D10 φ200 (シングル)	SB-3	
4階	1-D19	1-D16					D13 φ150	D10 φ170 (シングル)		
3階			1-D16	1-D16	1-D16	1-D16		D10 φ170 (シングル)		
2階	1-D22	1-D19					D13 φ80	D10, D13 φ200 (シングル)		
1階								D10, D13 φ200 (シングル)		SB-2

公営住宅 2 年度 設計図

京都府土木建築部住宅課 向日台 団地

課長 主幹 係長 調査

府営住宅 2 年度設計図

団地名 向日台 5号棟

工事区分 建築工事

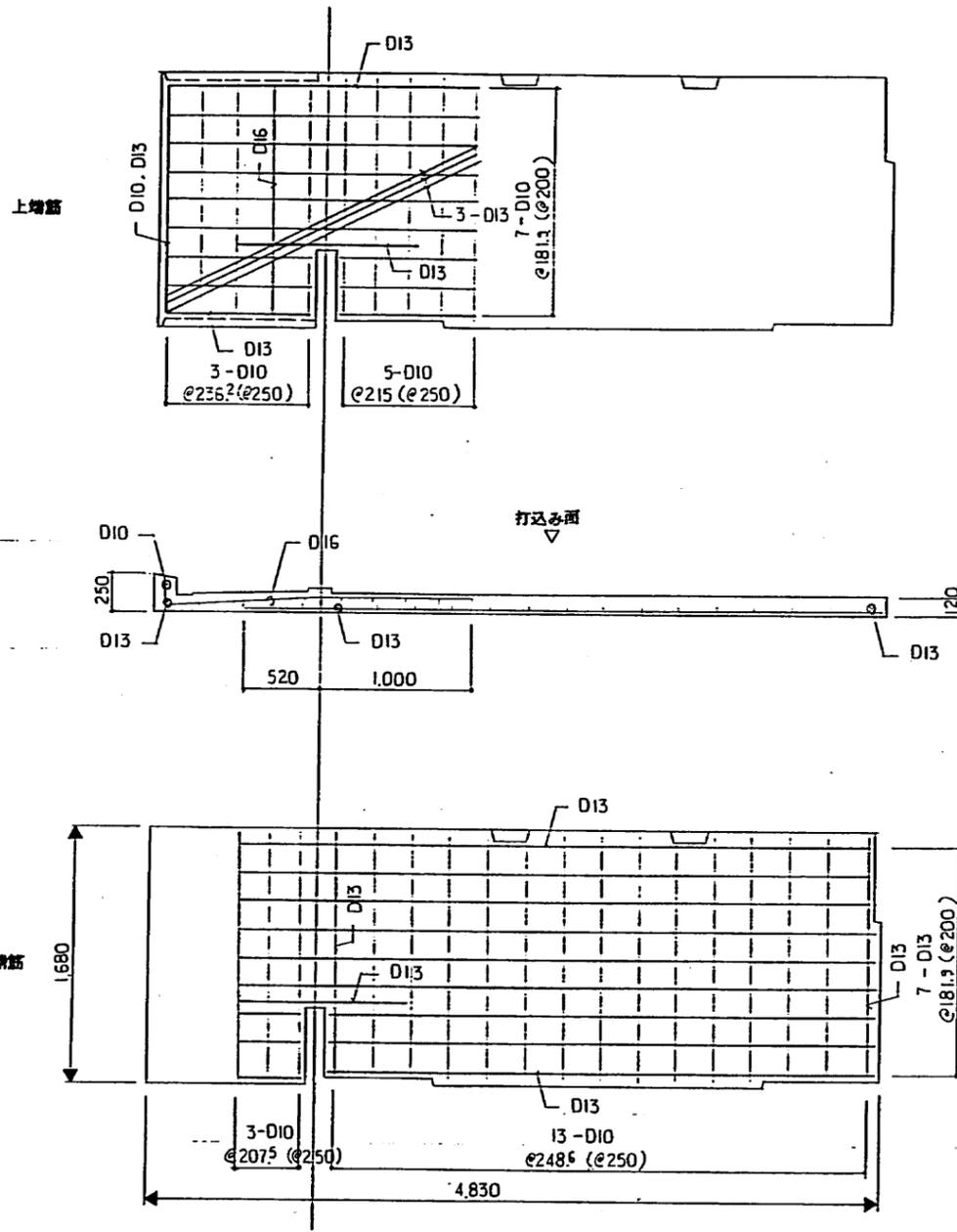
図名 配筋図 3

設計 京都府土木建築部住宅課

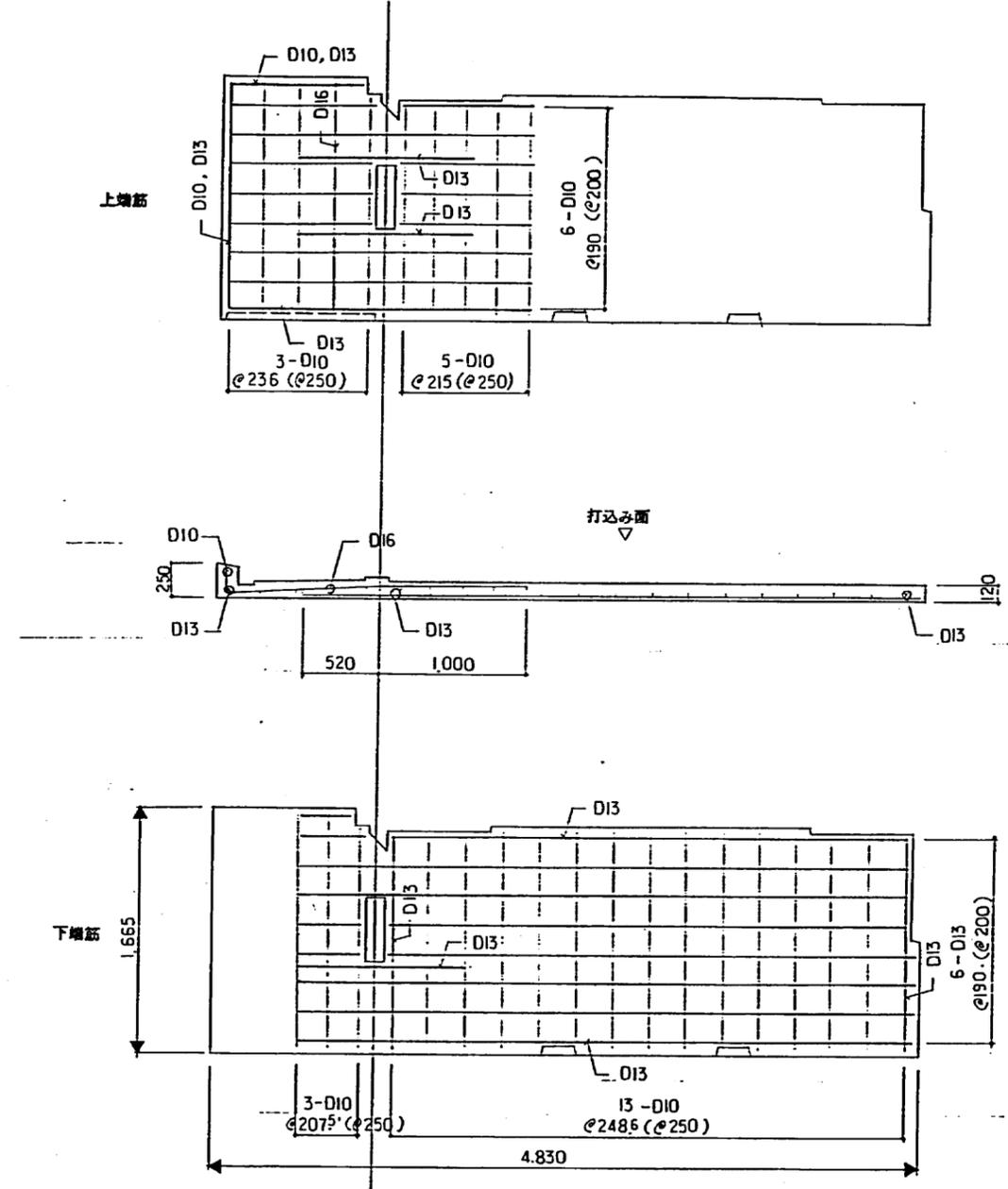
図尺 1:30

No. A-37/51

昭和 年 月 日



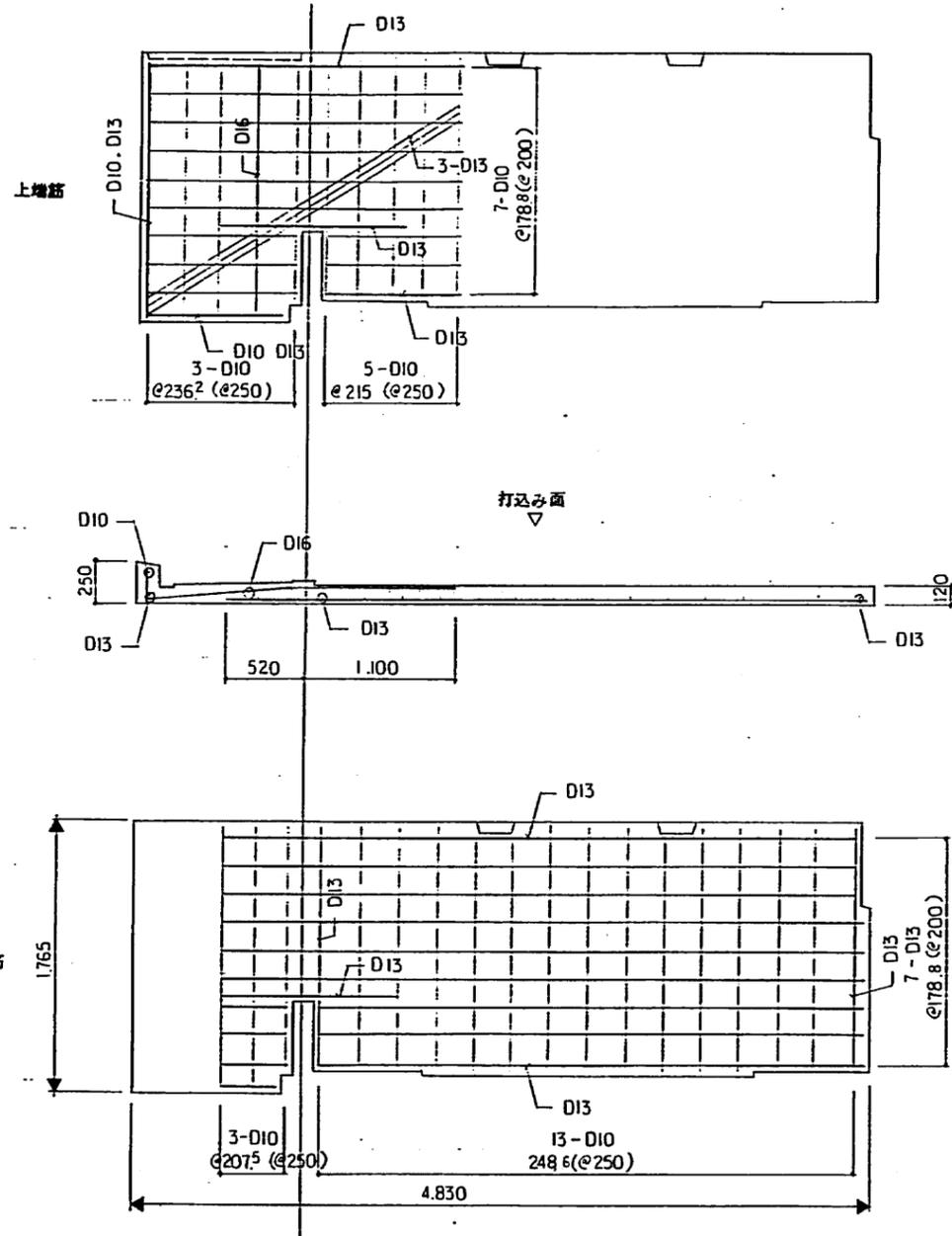
LE (1, 3, 5 F)



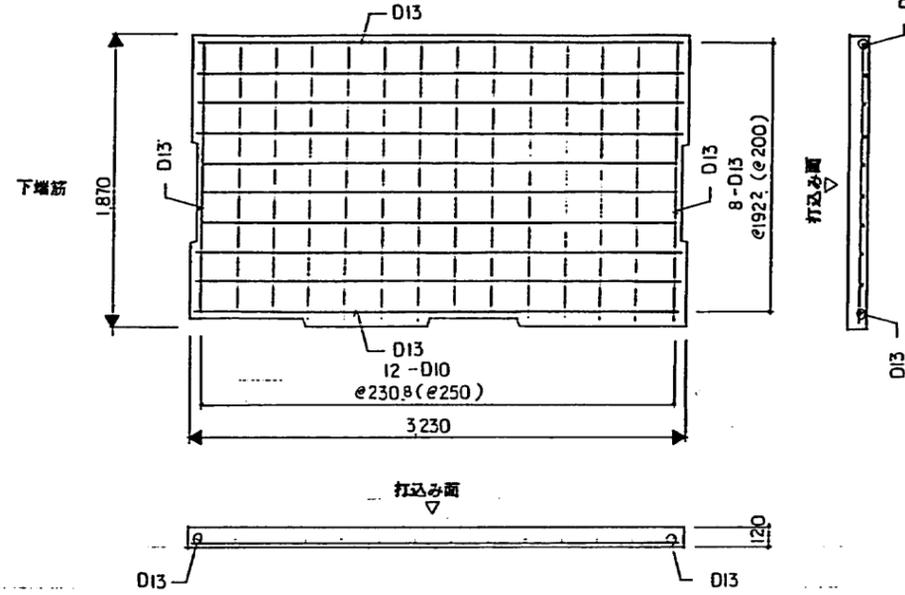
公営住宅 2 年度設計図			
課長	主任	係長	調査

府営住宅 2 年度設計図		型	
団地名	向日台 5号棟	1F 5F	No.
工事区分	修繕工事	縮尺	1:30
図名	床板配筋図 (1)	課長	主任
設計	京都府土木建築部住宅課	係長	調査
トレース	昭和 年 月 日	設計	

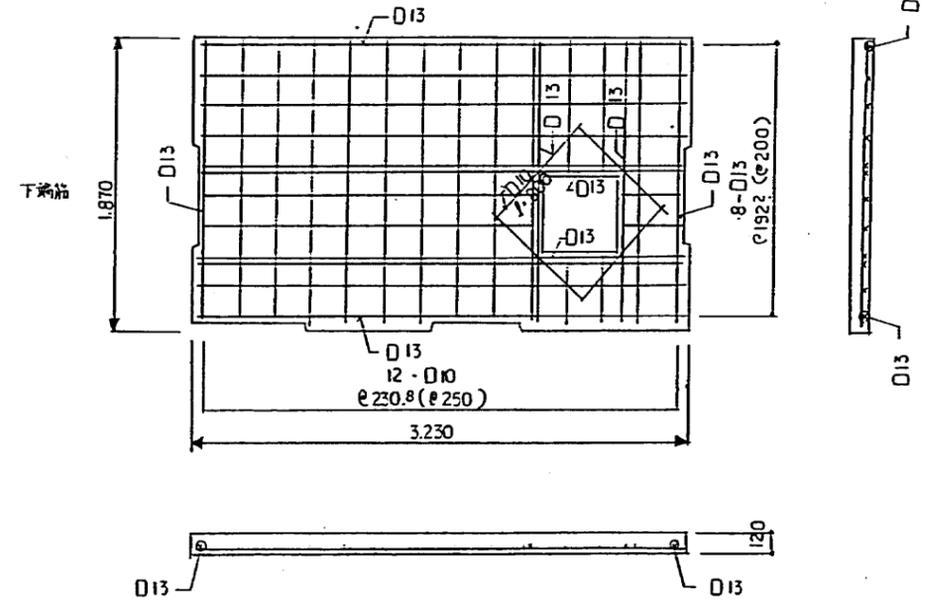
⊙  
S  
I  
LE (1,2,4F)



⊙  
S  
2  
L  
⊙  
S  
2  
LE (2~5F)



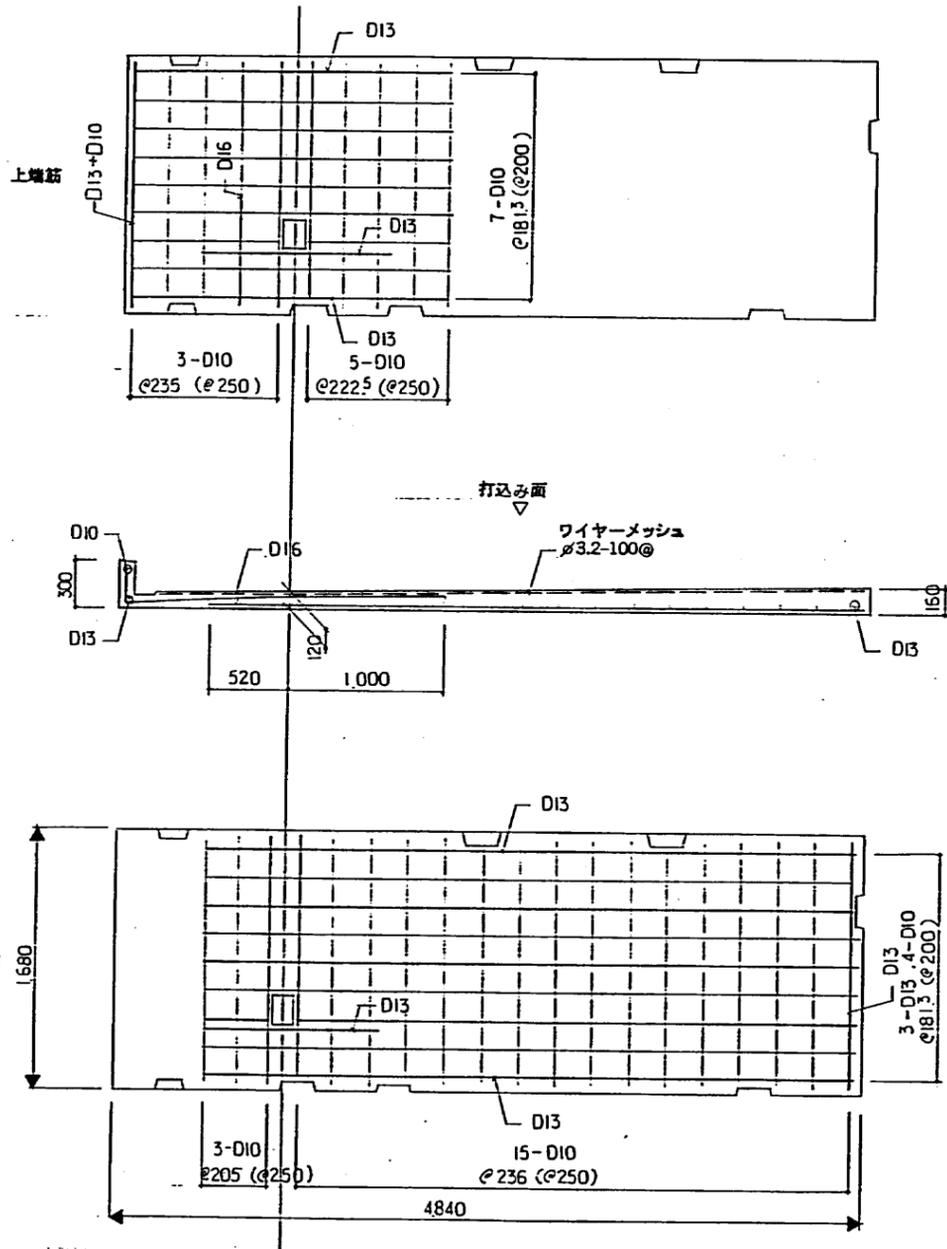
⊙  
S  
2  
L  
⊙  
S  
2  
LE (1F)



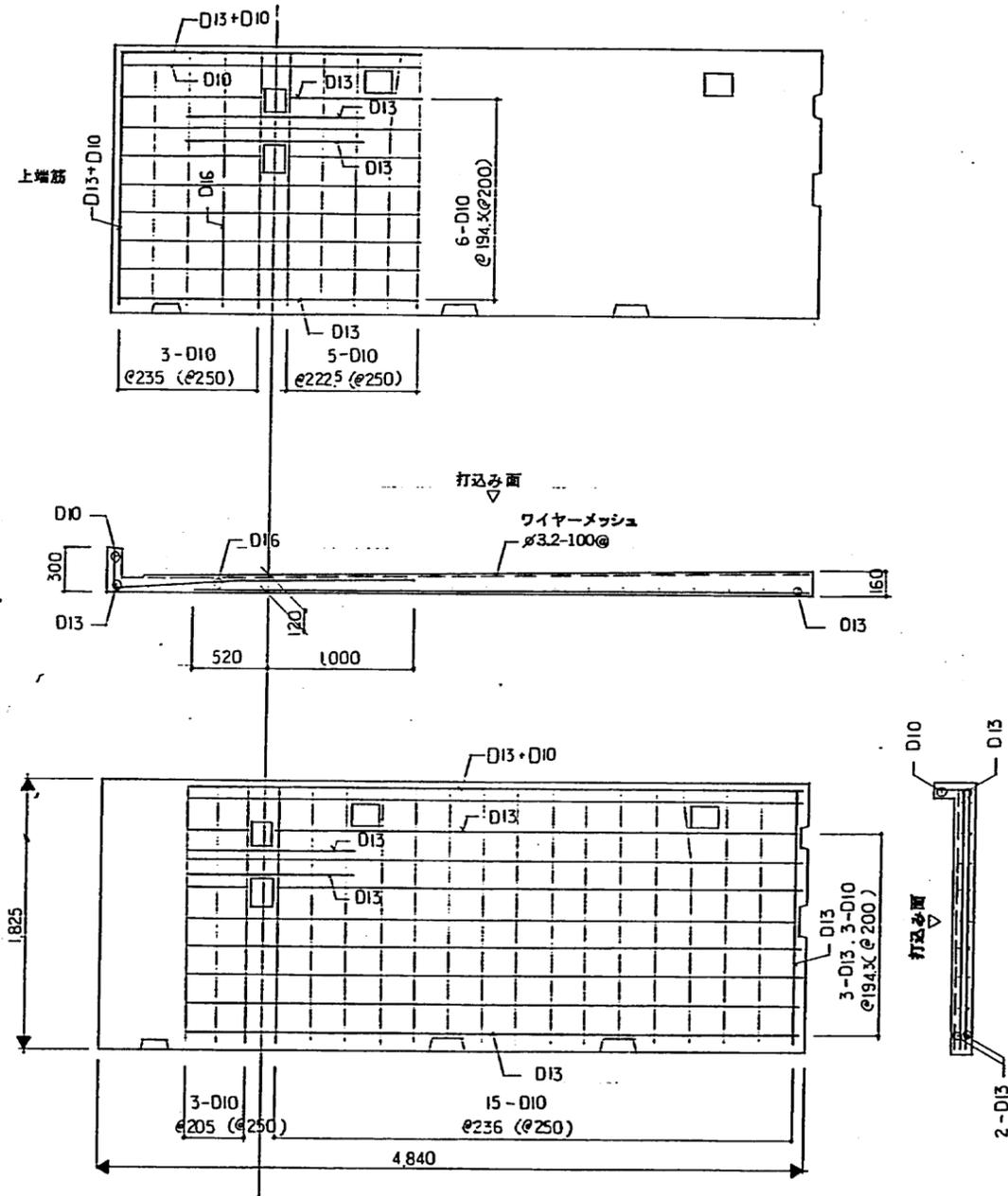
公営住宅 2 年度 設計図			
京都府土木建築部住宅課	向日台 団地		
課長	主幹	係長	調査

府営住宅 2 年度設計図			型
団地名	向日台 5号棟	1F 2F 3F 4F 5F	No. A-39/51
工事区分	東塔 7号	縮尺	
図名	家屋配置図 2	課長	主幹
設計	京都府土木建築部住宅課	係長	調査
トレス	昭和 年 月 日		

RS  
I L



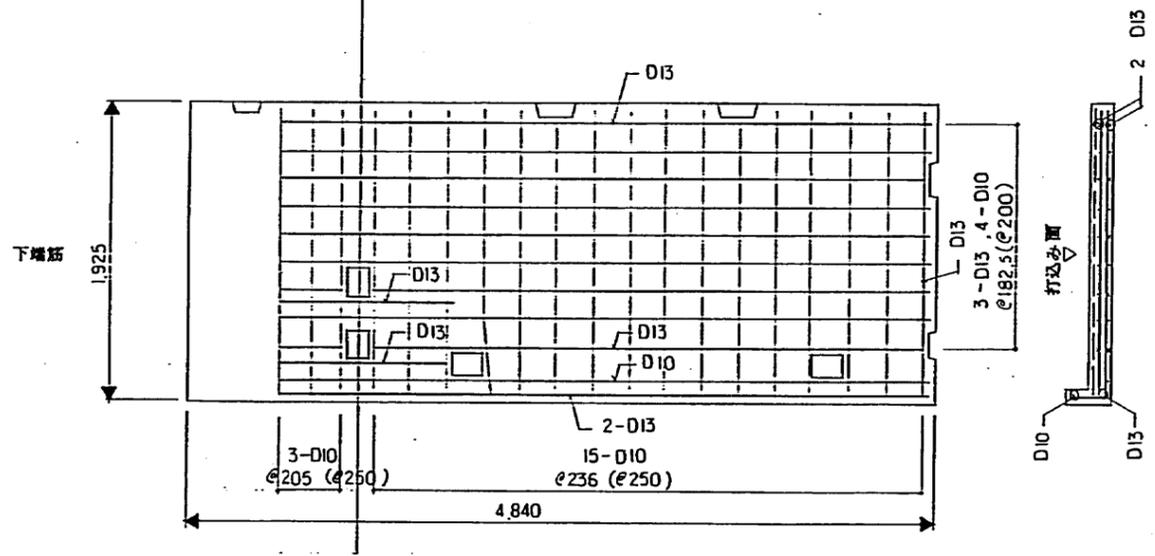
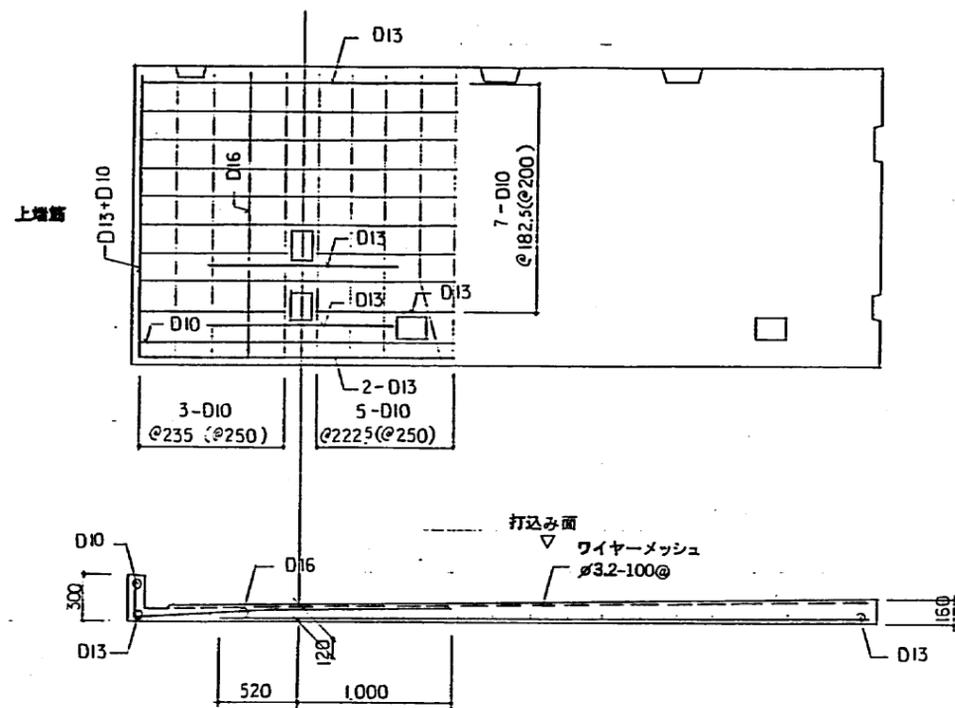
RS IA L RS IA LE



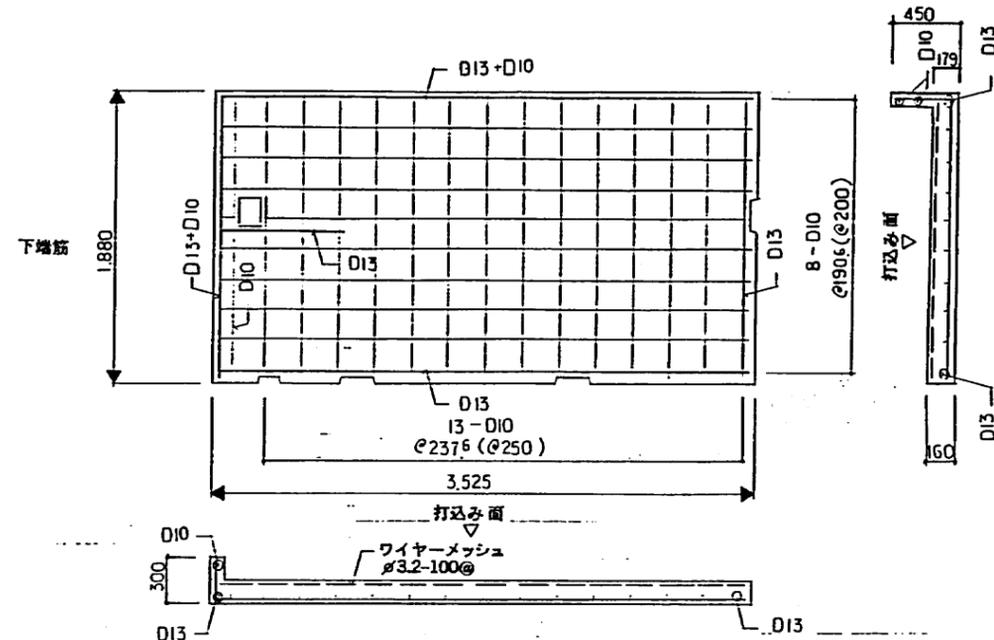
公営住宅 2 年度 設計図			
京都市土木建築局	向日台 団地		
課長	主任	係長	調査

府営住宅 2 年度 設計図				型
団地名	向日台 5号棟	1F3F 床面積		
工事区分	増築工事	縮尺	1:30	A:4/51
図名	基礎配筋図	設計	調査	
設計	京都市土木建築局住宅課	課長	主任	係長
トレース	昭和 年 月 日			

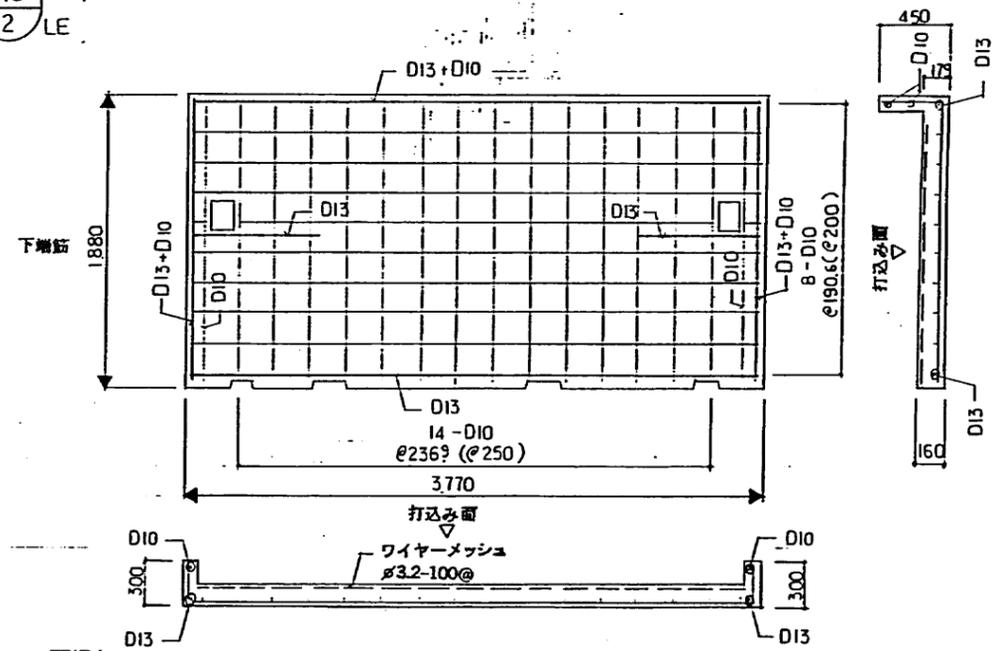
RS  
1 LE



RS  
2 L



RS  
2 LE

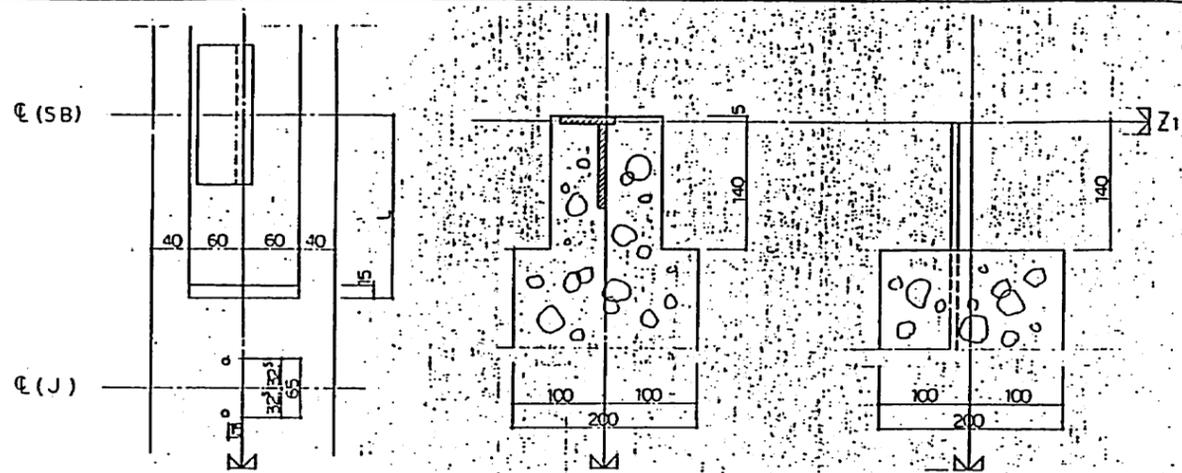


公営住宅 2 年度 設計図			
京都市土木建築部	向日台 団地		
課長 主幹	係長	調査	

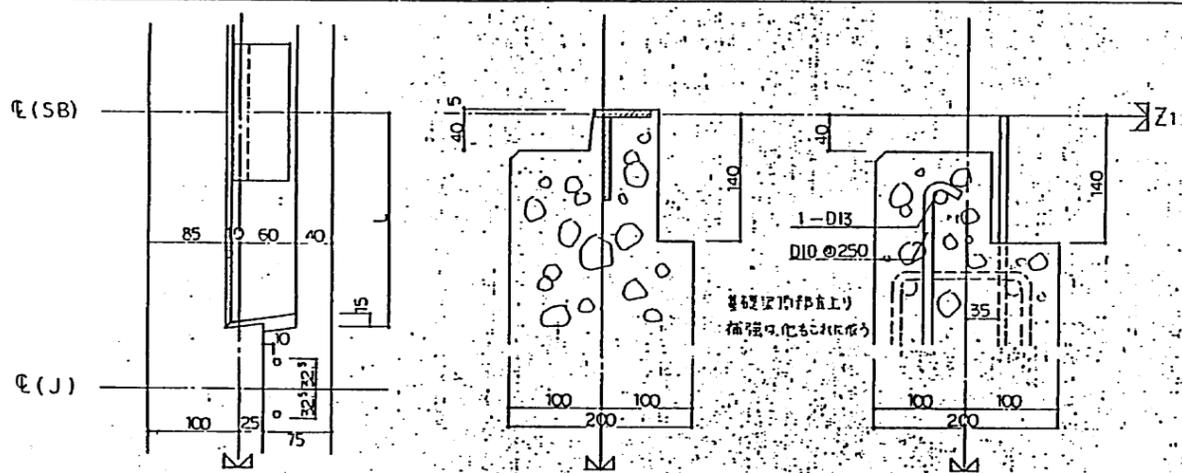
府営住宅 2 年度設計図				型
団地名	向日台5号棟	戸数		A-4/51
工事区分	基礎工事	縮尺	1:30	
図名	基礎配筋図 2	課長	主幹	係長
設計	京都市土木建築部住宅課	調査	設計	
トレス	昭和 年 月 日			



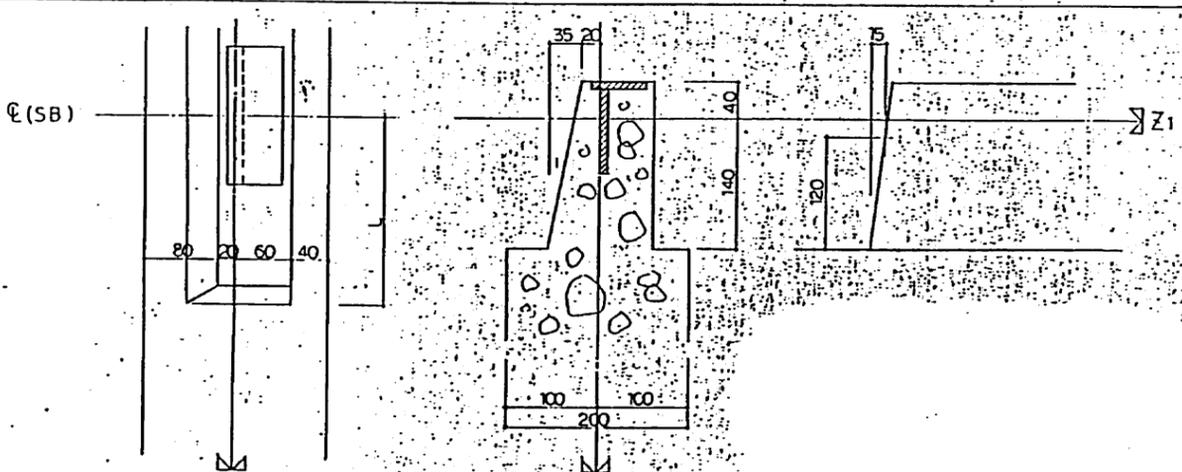
内 部 1 : 5



外 部 1 : 5



バルコニー部 1 : 5



註記 シロ基礎組立図に依る。水平ジョイント用差し筋は全て9φとする。

公営住宅 2 年度 設計図			
京都市建設局	向日台 団地		
課長	主任	係長	調査

府営住宅 2 年度 設計図				型
団地名	向日台 5号棟	1F 5号棟		A-43/51
工事区分	標準型	階尺		
図名	5号棟 2号室	課長	主任	係長
設計	京都市土木建築部住宅課			
日付	昭和 年 月 日			
トレース	昭和 年 月 日			

**A** 鉄筋溶接詳細図

溶接脚長は、下記の通りとする。(単位mm)

径	9φ D10	13φ D13	16φ D16	19φ D19	22φ D22	注
A	3★	3.5★	4	4.5	5	★印片面5d その他の片面5dの溶接長とする。
B	8	9	10	11	12	溶接長は、図面による。
C	5	5.5	6	7	8	全上

**C** プレート溶接詳細図

1:3  
1:1

図面指示の溶接長は必ず確保する

2~5Fの場合      1Fの場合      A部分詳細図 1:1

(1) ★印は、プレート面1.0%のときと同様と示す。

**B** 縦ジョイント鉄筋溶接方法

1:5

図面指示の溶接長は必ず確保する

縦筋溶接詳細

縦筋溶接詳細

D16の時      D19の時

D22の時      D25の時

(1) 縦筋1本おきに始末線にて縦筋に結束する。

(2) 1. 縦筋の異なる鉄筋を接する場合は、溶接長は、細い径にて決定する。  
2. d = 2/30 ~ 10

**D** 縦ジョイント立面図

1:100

鉄筋径を値Dに、Zn+1000を標準とする。

公営住宅2年度設計図

京都府土木建築課	向日台 団地
課長 主幹 係長 調査	

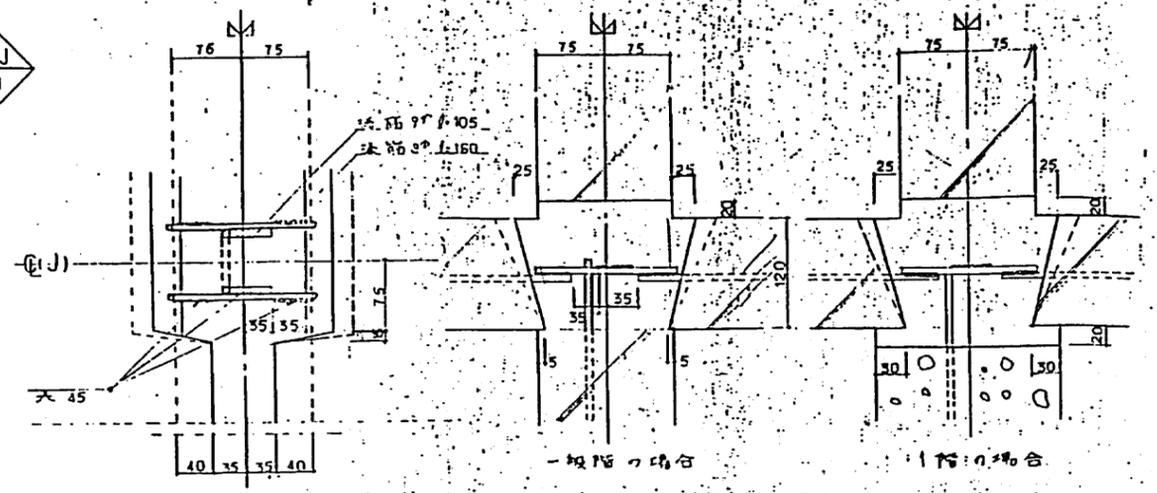
府営住宅2年度設計図

団地名	向日台5号棟	1957年度設計	№	A-44/51
工務区分	建築	縮尺		
図名	鉄筋溶接詳細図	課長	主幹	係長
設計	昭和 年 月 日			
入札	昭和 年 月 日			

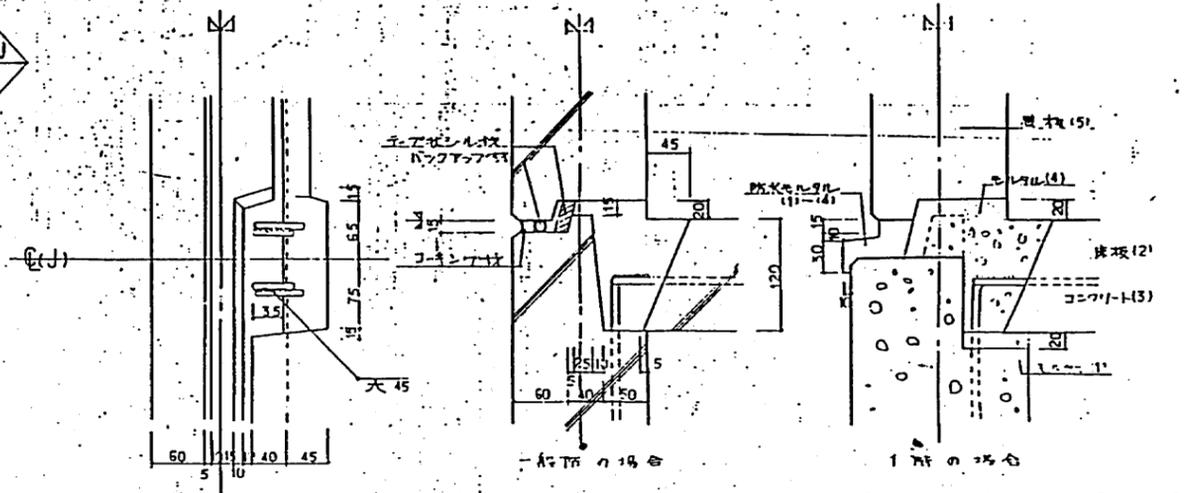




HJ 1

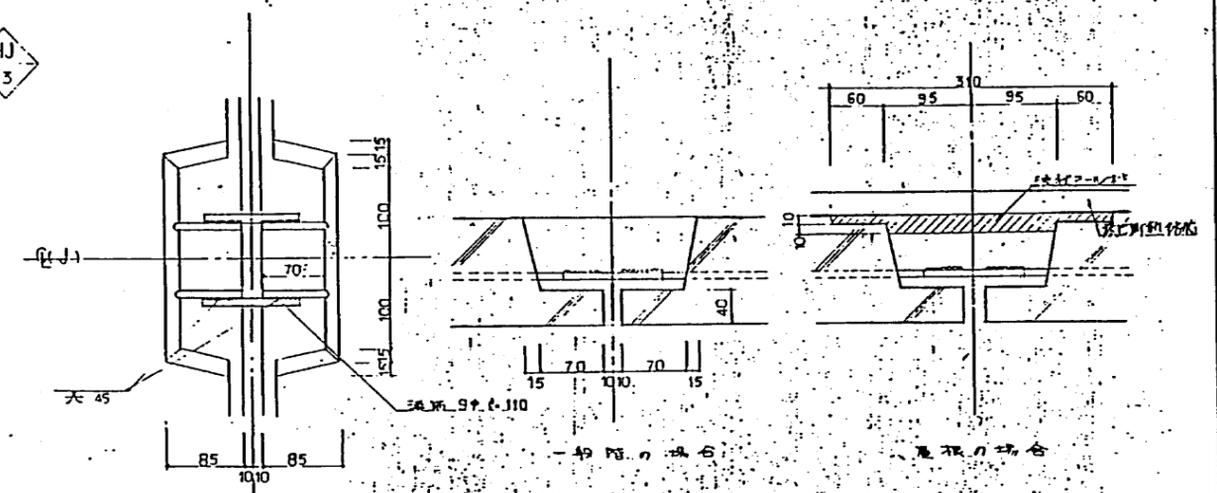


HJ 2

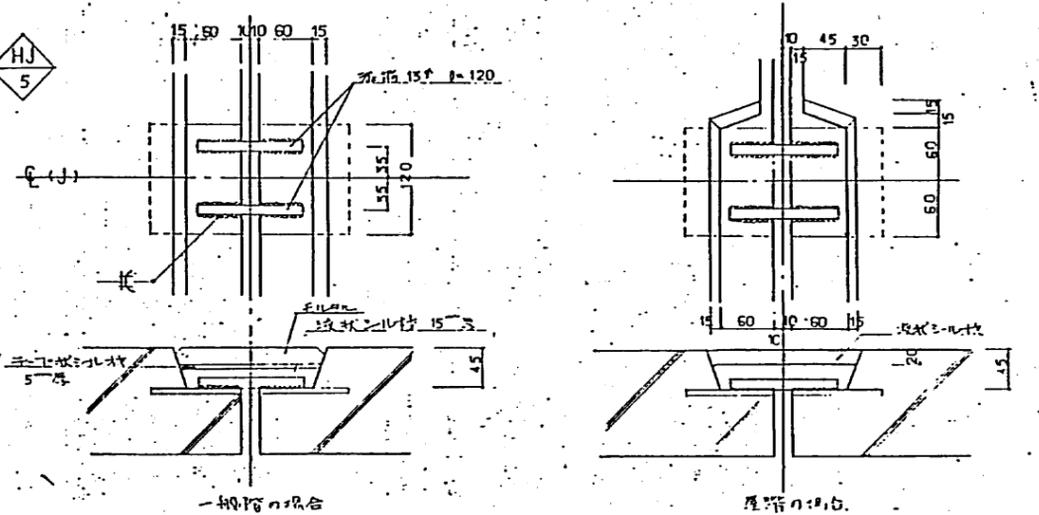


( )内寸法はあくまで目安にしてください

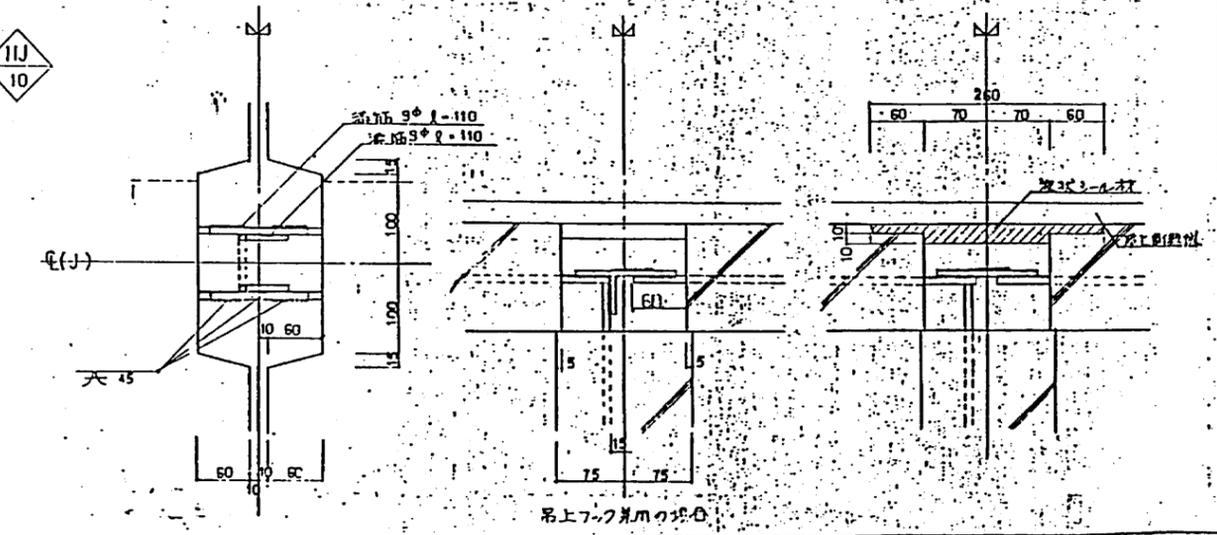
HJ 3



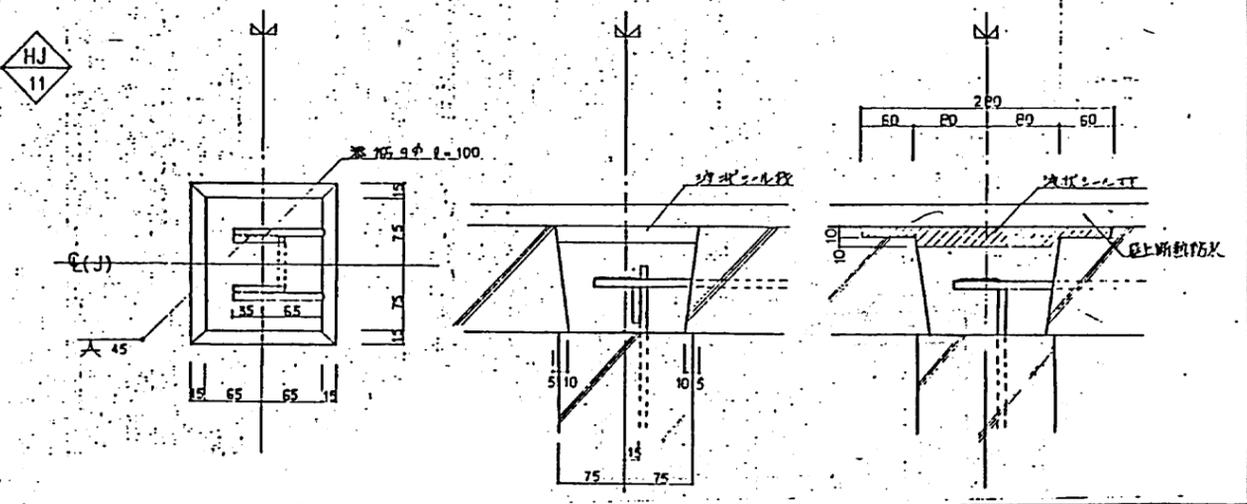
HJ 5



HJ 10



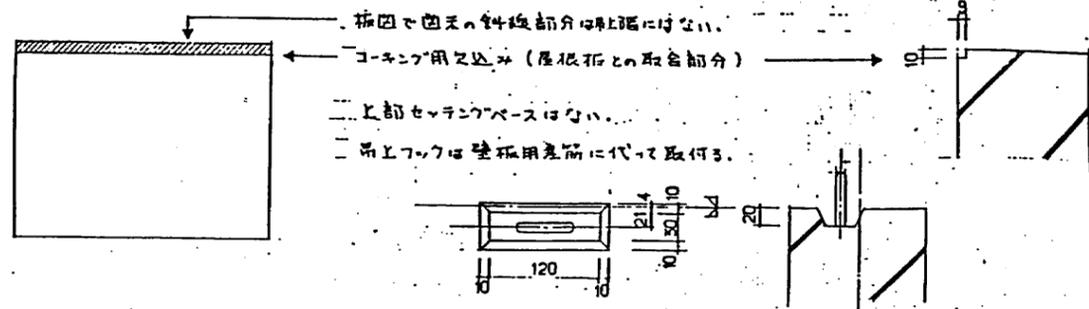
HJ 11



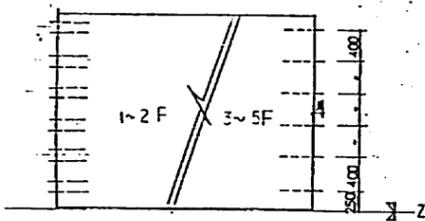
公営住宅 2 年度 設計図			
京都市土木建築局	向日台 団地		
課長	主任	係長	調査

府営住宅 2 年度 設計図			
団地名	向日台 5号棟	1155	1155
工事区分	建築		
図名	階段		
設計	京都市土木建築局	設計	設計
校閲	京都市土木建築局	校閲	校閲
承認	京都市土木建築局	承認	承認
作成	京都市土木建築局	作成	作成
年月日	昭和 年 月 日		
年月日	昭和 年 月 日		

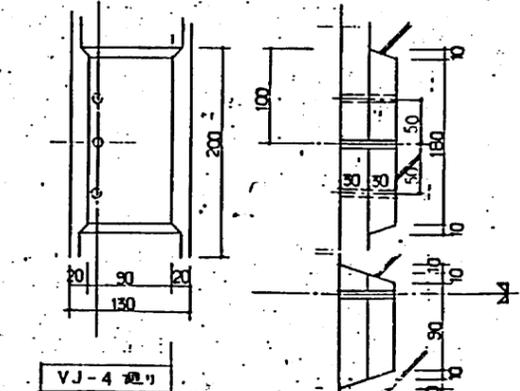
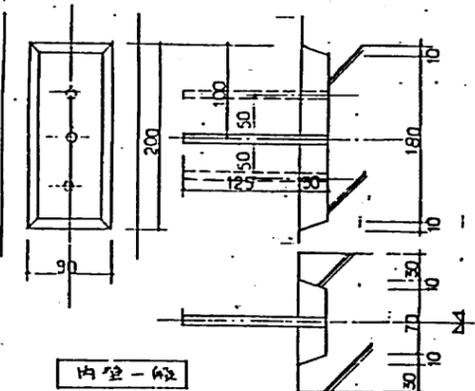
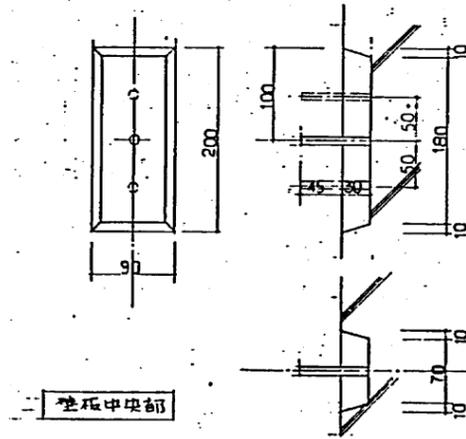
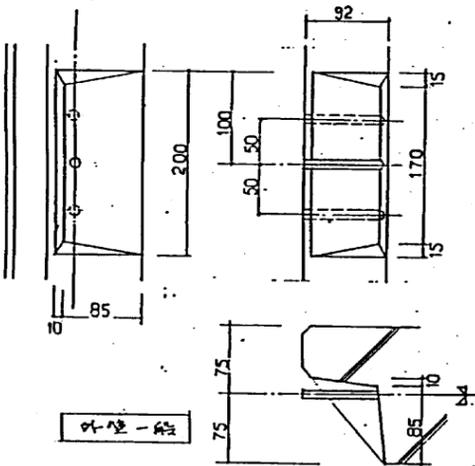
1. 5階壁板天直事項



2. 壁ジョイント(壁-壁)コーナー詳細及びジョイント用差筋について



- 位置訂正は左図及び下図に依る。(特別の場合も板面に依る)
- 最上段のみ13°(透光用兼用)とし、他は9°とする。
- 差(差し筋の出)は9°の場合と表わし、下図に示す。
- 13°の場合は、45 E 55, 125 E 135, 0 E 10 (VJ-4通りのみ)
- それぞれ嵌み込むものとする。
- 1階差の1階、2階は 12-7°とする。



註) 最上段13°の場合は、差筋の出と板面が10%以上とする。

3. 床板共通事項

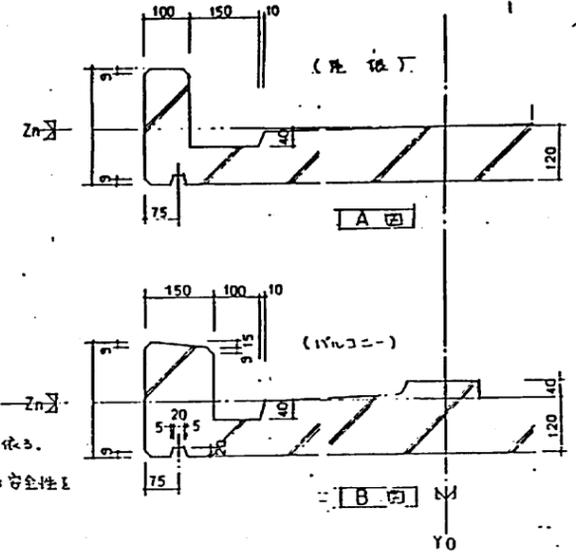
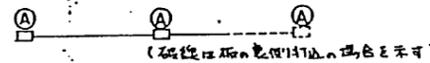
- 板の厚さは120%とし、10%コーン部分についてはB図に依る。
- 階段板、10%コーン部分の形状訂正は生産施設の様式に依る。
- 階段直縁PC板の吊上フックは3点以上とし、位置訂正は安全性を考慮して生産施設の様式に依る。

4. 屋根板共通事項

- 屋根板は上端端上の高さにはワイヤメッシュを打込む。(屋根板のうらから半分全面に入れ、厚さは100以上とする)
- 板の厚さは、Y0 以上で120%。
- 屋根板のボア-立上りの出筋の面形状訂正は生産施設の様式に依る。階高の形状はA図に依る。

5. 電気設備用ボックス、配管について

- 表元式法
- アルファベットで表わされるボックスの詳細は電気設備図に依る。
- 配管はすべて硬質塩化ビニル電線管(VE管)とする。
- ボックスと配管との間隙は15%以上とする。
- 電気用(A)ボックスが板の上端について配管と当たる箇所は適宜位置を調整する。



種類	寸法	板の大きさ
若狭金細	5.2mm	幅100mm

埋込ボックス表			
記号	名称	寸法	訂正
(A)	スイッチボックス	102 x 56 x 65	
(F)	"	102 x 56 x 50	

6. 電気設備、衛生設備配管用孔について

- PC板面に表元式法は、埋込式とし、1-1-1は1/8を標準とする。
- 埋込前後スリットはすべて硬質ビニル電線管(VE)使用。給排水衛生用スリットは孔のみ。

7. 床板(屋根板)先端防水の取付方法及び、防水について

- 非構造ジョイントの床-床組立詳細図に依る。

公営住宅2年度設計図			
京都府土木建築部	課長	向日台 団地	調査
興	興	興	興

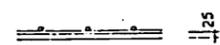
府営住宅2年度設計図				型
団地名	向日台5号棟	1/400	No.	A-48/51
工事区分	建築工事	縮尺		
図名	建築工事 7	課長	主任	設計
設計	昭和 年 月 日			
トレース	昭和 年 月 日			

1 鉄筋の表示記号

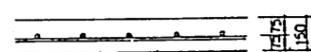
表示記号	鉄筋径
●	9°, D10
×	13°, D13
○	D16
●	D19
⊙	D22
⊚	D25

2 鉄筋の加工厚

1) 床板



2) 耐力壁



3) 非耐力壁

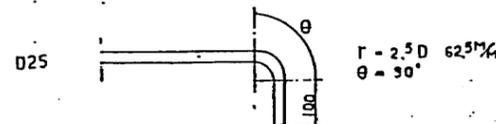
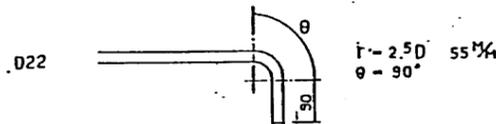
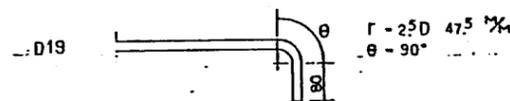
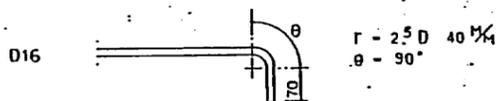
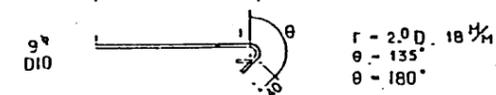


4) 地中埋



3 鉄筋の端部折り曲げ

壁板、床板、屋根板の記号にフックの形状は、下図の様に加工し、端部主筋に巻き込み組立てる。異形鉄筋でフックをつける場所は柱筋、片持梁支端、その他図面に指示してある箇所とする。



使用材料	1	2	3
	PC板の場合に使用可能な材料はSM50A(SS41は折記に依る)	鉄筋 普通鉄筋 SR 24	異形鉄筋 SD 30 (H127) SD 35 (H122) 異形鉄筋はSD 30に依る
			コンクリート 設計基準強度 $f_c = 20 \text{ N/cm}^2$
			ジョイントコンクリート $f_c = 210 \text{ N/cm}^2$

4 板内の配筋位置指定順位

壁板

- 柱軸方向主筋
- 壁主筋
- ジョイントアンカー筋
- 壁筋
- 斜筋
- 吊り上げフック筋
- 差し筋一組

床板

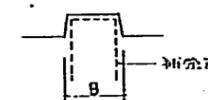
- 主筋
- 配筋
- ジョイントアンカー筋
- 吊り上げフック筋 (鉄筋に用いるは生産施設の方式による)
- 差し筋

上記の順位に基づいて、上位から正確な位置に配筋することと相別とする。

5 床板及び屋根板

床板及び屋根板の周辺の突出部と補強の必要のある場合は下記の要領で補強筋を入れる。

- 補強筋を入れる箇所 板配筋図の中で赤線に表示してあるのが補強筋である。

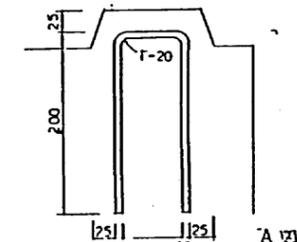
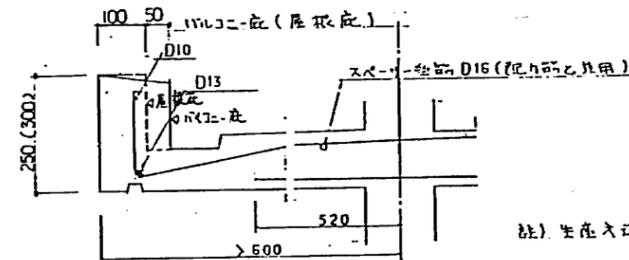


250 > B の突出部に入る。

- 補強筋の径 すべて D10 とする。(フックは不要)

- 補強筋の入れ方 A 四角標準とする。

- バルコニー及び基礎底筋



注) 生産方式に依り、造りかえる場合は、スペーサ筋は不必要。

6 鉄筋の端接

- 端接詳細に依る。

7 配筋の打ち合わせ

VP, VU, VE, SU 表示がある場合は、ハイア打合せを要する。上記以外の場合は、打ち合わせを要しない。

公営住宅 2 年度 設計図			
京都府土木建築部住宅課	向日台 団地		
課長	主任	係長	調査

府営住宅 2 年度設計図				型	
所在地	向日台 5 号棟	1/250	図面	A-49/51	
工事区分	建築一帯	図尺			
図名	京都市土木建築部住宅課	図紙			
設計	昭和 年 月 日	設計			
校閲	昭和 年 月 日	校閲			



